

十勝定住自立圏 共生ビジョン

平成24年度改訂 原案（H24.7.6現在）



平成23年9月
北海道帯広市

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって	1
1 定住自立圏の概要とこれまでの取組	1
2 定住自立圏の名称及び構成市町村	1
3 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
4 定住自立圏共生ビジョンの期間	1
第2章 圏域の概況	2
1 十勝の概況	2
2 人口	9
3 生活機能分野	11
4 結びつきやネットワーク分野	26
5 圏域マネジメント分野	29
第3章 定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像	30
第4章 協定に基づき推進する具体的取組	31
1 取組項目一覧	31
2 生活機能の強化に係る政策分野	32
3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	47
4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	50
附属資料	
1 共生ビジョン策定に当たっての意見 ～共生ビジョン懇談会、パブリックコメント～	52
2 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	63
3 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	64
4 共生ビジョン事業費一覧	65

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって

1 定住自立圏の概要とこれまでの取組

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と周辺町村が、それぞれの魅力を活かしながら、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取り組みです。

帯広市は、平成21年11月から、十勝管内18町村とともに定住自立圏構想の調査・研究を進め、十勝全体での連携を目指すことを全市町村で確認したことから、平成22年12月15日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。

平成23年2月には、十勝圏における定住自立圏構想の推進組織を設置し、具体的な連携協議を進め、同年6月に、定住自立圏の形成に関する協定書を各市町村の議会へ提案し、その議決を経て、平成23年7月7日に帯広市と18町村との間で1対1の協定を締結し、定住自立圏を形成しました。



調印式の写真

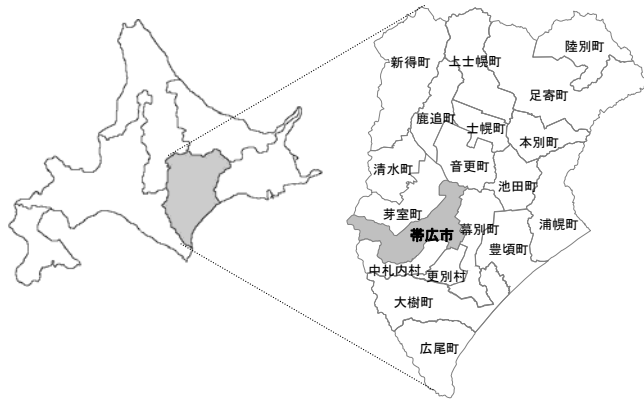
2 定住自立圏の名称及び構成市町村

(1) 定住自立圏の名称

十勝定住自立圏

(2) 定住自立圏の構成市町村

帯広市	音更町	士幌町
上士幌町	鹿追町	新得町
清水町	芽室町	中札内村
更別村	大樹町	広尾町
幕別町	池田町	豊頃町
本別町	足寄町	陸別町
浦幌町		



3 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定により、圏域の将来像や、定住自立圏形成協定に基づき関係市町村が連携して推進する具体的な取り組み内容を明らかにするものです。

4 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの計画期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

第2章 圏域の概況

1 十勝の概況

十勝は、北海道の南東部、北緯 42 度 09 分～43 度 38 分、東経 142 度 40 分～144 度 02 分に位置しています。総面積は、10,831.24k m²で、全道面積の 13%を占めており、全道 14 の総合振興局・振興局の中で一番広く、新潟県や秋田県とほぼ同じ面積を有しています。

周囲を大雪山系、日高山脈、太平洋などに囲まれ、内陸部の平野には扇状地や段丘が広がっています。十勝平野の中央部には大雪山を水源とする十勝川が流れています。

気候は、太平洋側を除き大陸性気候であることが特徴です。夏は、海岸部では海霧が立ちこめ、日中の気温があまり上がりませんが、内陸部では比較的高温が続きます。冬は、大陸性寒冷高気圧により低温が続きますが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく、晴天が続きます。

産業は、農業、林業、漁業などの第 1 次産業が盛んです。特に農業は、年 2,000 時間を超える日照時間や恵まれた土地資源を活かし、近代技術の導入や土地基盤の整備を進めながら発展してきており、農業産出額は全道シェアの 22.8%を占め、カロリーベースでの食料自給率が約 1,100%を誇る我が国を代表する食料生産基地となっています。

十勝の総人口は、352,353 人(住民基本台帳：平成 23 年 3 月 31 日現在)で、全道人口(5,498,916 人)の 6.4%を占めています。帯広市が 168,464 人と管内人口の 47.8%、さらに周辺の音更町、芽室町、幕別町の 3 町を合わせた帯広圏では 260,894 人と管内人口の 74.0%を占め、その割合は増加傾向にあります。1 km²あたりの人口密度は 32.5 人となっており、全道の 65.9 人と比べ低くなっています。

【 十勝 19 市町村の概況 】

出典：人口は住民基本台帳 (H23.3.31 現在)

面積は平成 22 年全国都道府県市区町村別面積調(H22.10.1 現在)



- 人口 168,464 人
- 面積 618.94 km²

■特産品・グルメ

- ばれいしょ・ながいも ○スイーツ ○豚丼
- ハム・ソーセージ ○十勝おびひろ枝豆サラダ麺

■観光名所

- ばんえい競馬 ○とちむら ○北の屋台
- 愛国・幸福駅 ○八千代牧場
- 紫竹ガーデン ○真鍋庭園 ○緑ヶ丘公園
- 明治北海道十勝オーバル(屋内スピードスケート場)

帯広市は、豊かな自然環境と快適な都市機能が共存し、自然の豊かさと暮らしやすさをともに実感できる道東の中核都市です。広大な大地や豊富な農畜産物など、地域の強みを活かしながら、「フードバレーとちむら」を旗印に、誰もが夢と希望をもつことができるまちづくりを進めています。

また、市民とともに「帯広の森」づくりを進めているほか、「環境モデル都市」として、低炭素社会の実現に向けた先駆的な取り組みを進めています。



世界で唯一！
「ばんえい競馬」

音更町

●人口 45,600人
●面積 466.09 km²

人口4万5千人を超え、町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。

国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょなど、数々の農産物を産み出す豊かな大地と、北海道遺産にも選定された世界でも珍しい「モール（植物性）温泉」が湧き出す十勝川温泉があります。

また、国道241号線沿いには大型ショッピングゾーンが形成され、町内外から多くの買物客が訪れています。

さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めるなど、豊かな自然環境と都市の魅力を活かした「住みよいまち」、「住み続けたいまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。

■特産品・グルメ

- 音更大袖振大豆 ○人参 ○ブロッコリー
- 煮豆缶 ○チーズ・バター ○すずらん和牛
- なたね油 ○十勝川モール温泉豚
- 十勝川モール温泉顔パック・入浴剤・美容ジェル

■観光名所

- 十勝が丘公園（花時計ハック）○十勝IOP[®]-パーク
- 家畜改良センター十勝牧場展望台・白樺並木



十勝川白鳥まつり
彩凜華（二月～三月）

士幌町

●人口 6,579人
●面積 259.13 km²

清澄な水と空気、そして肥沃な大地。士幌町は自然の恵みに培われた実り豊かな純農村地帯で、じゃがいも、小麦、豆類、てん菜、スイートコーンなどの農産物が生産されています。

また、肉用牛や乳用牛の飼育なども盛んです。士幌町では、地域の特性や資源を活かした真に豊かな農村づくりを目指し「協働でつくる生き生きしほろ」をテーマにまちづくりを進めています。

■特産品・グルメ

- ミニトマト ○しほろ牛肉
- じゃがいも加工品（ポテトチップス、コロッケ、片栗粉など）
- 乳製品（チーズ、ヨーグルト、アイスクリームなど）

■観光名所

- 士幌高原又ブカの里
- 道の駅ピア21しほろ○道の駅しほろ温泉



士幌高原又ブカの里

上士幌町

●人口 5,171人
●面積 694.09 km²

上士幌町は、十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約76%が森林地帯と自然豊かなまちです。

産業は、畑作、酪農などの農業や林業などの第一次産業と源泉かけ流し温泉であるぬかびら源泉郷、日本一の広さを誇るナイトハイ高原牧場、北海道遺産旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光業も盛んです。

上士幌町は、「健康・環境・観光」を柱としたイムノリゾート構想を進め「健康と癒し」「都市と農村の交流と対流」のまちづくりに力を入れています。

■特産品・グルメ

- 十勝ナイトハイ和牛 ○十勝ハーブ牛
- 鹿肉 ○ハチミツ ○ミルクジャム
- 豆缶 ○十勝石工芸品 ○木工品

■観光名所

- ナイトハイ高原牧場 ○三国峠
- 糠平湖 ○ぬかびら源泉郷
- 旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群



ナイトハイ高原牧場



鹿追町

- 人口 5,646 人
- 面積 402.86 km²

大雪山国立公園唯一の自然湖“然別湖”を擁し、夏は“白蛇姫まつり”・冬は結氷した湖上で“しかりべつ湖コタン”が開かれます。アウトドア体験や農業体験など滞在型観光を推進、また、「花と芝生のまちづくり」により年間70万人を超える観光客を町じゅうの花が出迎えます。

教育では小中高一貫教育として「カナダ学」(英語)・「地球学」(環境)に取り組み、鹿追高校1年生全員を対象に姉妹都市カナダ・ストニブレイン町へ派遣しています。

また、国内最大級のバイオガスプラントを有し、環境に配慮した地域循環型農業を推進しています。

■特産品・グルメ

- 鹿追そば ○鹿追焼き(陶芸品) ○チーズ
- アイスクリーム ○豚肉 ○オショロコマ

■観光名所

- 然別湖 ○然別峡 ○神田日勝記念美術館
- 福原記念美術館
- 鹿追町ライディングパーク



しかりべつ湖コタン



新得町

- 人口 6,628 人
- 面積 1063.79 km²

北海道のだ真ん中！美しく雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれた自然豊かなまちです。

道東と道央を結ぶ鉄道の要衝でもあるほか、農業を中心に林業や観光業が主要産業であります。

四季折々の風景が見られ、自然の中で育まれた旬の食材、ラフティングやカヌー、乗馬、エコトロッコなどのアウトドア体験も堪能でき、また、ファームインや農業・酪農体験、そば打ち体験など農山村の良さも味わえるまちです。

2009年に『開拓110周年』を迎えました。

■特産品・グルメ

- 新得そば ○新得地鶏 ○エゾ鹿肉
- サホロ焼酎 ○十勝漬 ○チーズ
- 原木しいたけ

■観光名所

- 狩勝峠 ○トムラウシ温泉 ○旧狩勝線跡
- サホロリゾート ○ベアマウンテン



十勝川ラフティング



清水町

- 人口 10,232 人
- 面積 402.18 km²

十勝平野の西部、日勝峠の麓に位置する道東の玄関口・清水町は、日高山脈に抱かれた豊かな大地と清らかな水の恵みを受け、小麦・豆类・てん菜や生乳などの生産が盛んな町です。それらを加工する工場も多く、戦前から続く農産加工の町でもあります。また、地元産の牛肉・鶏卵を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」も誕生しました。

町民の文化・スポーツ活動も盛んで、アイスホッケーの町として知られるほか、町民合唱団による「第九」の合唱も30年にわたって続けられています。昨年には「歓喜のみちしるべ」をテーマに、7回目となる第九交響曲演奏会が開催されました。

町民の手で作り上げた第5期清水町総合計画は、まちの将来像「みんなで生き生き 豊かさ育むまち とかししみず」の実現に向けて、今年度からスタートします。

■特産品・グルメ

- 十勝清水牛玉ステーキ丼 ○グリーンめん
- 第九のまちしみず(クッキー) ○豚丼名人
- 大平原ハーモニーエッグ○飲むヨーグルト
- 牛とろフレーク ○十勝清水ようかん
- ほくろ大福 ○生そば ○第九のしずく

■観光名所

- 清水公園○日勝峠第1展望台○円山展望台
- 美蔓パノラマパーク ○十勝千年の森



美蔓パノラマパーク



芽室町

- 人口 19,369人
- 面積 513.91 km²

「日本の食料基地」と言われる十勝平野の中央に位置しており、肥沃な大地と気候条件に恵まれた農業を基幹産業とし、農畜産・林業関連企業を中心とした約230社を有する東工業団地の躍進や、東芽室地区などの宅地開発による人口増加により、さらなる発展をとげています。

芽室町は、「町民と行政の協働によるまちづくり」を掲げ、氷灯夜やイリスフェスタに代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新しいグルメの創造など、町民の主体的な地域活動が原動力となって進められています。

2009年に『開町110周年』を迎え、さらなる飛躍の「芽室2世紀」にするため、第4期総合計画の将来像である「みどりの中で子どもにやさしく思いやりと活力に満ちた協働のまち」実現に向けたまちづくりが進められています。

■特産品・グルメ

- スイートコーン ○じゃがいも
- ビートオリゴ糖 ○ニジマス加工品
- 十勝芽室コーン炒飯

■観光名所

- 新嵐山スカイパーク
- 芽室公園



新嵐山展望台



中札内村

- 人口 4,041人
- 面積 292.69 km²

日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に広がる村です。その清流を集め豪快に流れ落ちる「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策することができます。園内にあるキッチンカフェ「ぴよる」では地場産の農畜産品を使ったランチを楽しむことができます。

このほか、柏林に囲まれる「中札内美術村」には相原求一朗美術館や小泉淳作美術館などがあり、一日中芸術に親しむことができます。また「道の駅なかさつない」は、レストランや屋外物産販売所において、新鮮な地元食材の提供を行っており、観光客の憩いの場となっています。

また、夏に開催される「花フェスタ」では様々な庭が一般開放され、見事なオープンガーデンが楽しめます。

■特産品・グルメ

- そのままえだ豆 ○スモークチキン
- 中札内田舎どり ○カマンベールチーズ
- 思いやり生乳

■観光名所

- 札内川園地ピョウタンの滝 ○六花の森
- 中札内美術村 ○花畑牧場
- 中札内農村休暇村フェリエンドルフ



相原求一朗美術館



更別村

- 人口 3,418人
- 面積 176.45 km²

雄大な日高山脈が一望でき、緑の大地と十勝晴れの澄んだ青空がよく似合う広大な十勝平野の真ん中にある村です。

基幹産業は、機械化が進んだ国内最大規模の大型農業。7月にはこの特色を活かし「国際トラクターBAMBA」（トラクターが重量級のソリを引き速さを競う）という迫力溢れる日本唯一のイベントを開催しています。

また54ホールの公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」などの施設や、冬には幻想的な「霧氷」が出現する美しいポイントがあり、全国から多くのカメラマンが訪れています。

■特産品・グルメ

- つぶつぶでんぷん ○ポテトチップス
- ビーフカレー ○金時甘納豆

■観光名所

- さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場）
- どんぐり公園プラムカントリー（パークゴルフ場）
- 十勝スピードウェイ
- 道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」



霧氷



大樹町

- 人口 6,040 人
- 面積 816.38 km²

清流日本一に過去7度選ばれ、砂金掘りが楽しめることから宝の川と称される「歴舟川」が町内を流れています。町の東側太平洋沿岸には”海が見えるヨードの温泉～「晩成温泉」があり、その周辺では夏は原生花園が広がり、冬はワカサギ釣りが楽しめます。カムイコタン公園周辺にはオートキャンプ場が整備されており、坂下仙境をはじめ景勝地が広がっています。

また、美成に整備されている「大樹町多目的航空公園」では航空宇宙関連実験が数多く行われており、「宇宙への玄関”大樹町”」を目指しています。

■特産品・グルメ

- ナチュラルチーズ ○ホエー豚
- 大樹納豆 ○じゅんさい
- 秋鮭 ○ししゃも ○毛がに

■観光名所

- カムイコタン ○ホロカヤントー周辺
- 晩成温泉 ○崩和山森林公園
- コスモスガーデン ○晩成社史跡



航空公園



広尾町

- 人口 8,043 人
- 面積 596.16 km²

豊かな自然環境に囲まれた十勝最南端のまち広尾町は、漁獲量日本一を誇る「シシャモ」を筆頭に種類豊富な漁業資源に恵まれ、1年を通して新鮮な魚介を味わうことができます。ノルウェー・オスロ市から認定された「サンタランド」のまちとしても有名で、サンタメール事業など様々な活動を行っています。シンボルゾーンの「サンタの山」には、イルミネーションが点灯される10月からクリスマスにかけて大勢の観光客が訪れます。

また、十勝の海の玄関口である重要港湾「十勝港」は、「農業を支える港・アグリポート」として、これからも重要な役割を担っていきます。

■特産品・グルメ

- シシャモ ○毛がに ○鮭
- イクラ ○昆布

■観光名所

- サンタの山（大丸山森林公園）〈つつじ〉
- サンタの家 ○フンベの滝（黄金道路）
- シーサイドパーク広尾〈カバナイルリカ〉
- 十勝神社（本通公園）〈桜〉



アグリポート
「十勝港」



幕別町

- 人口 27,461 人
- 面積 478.00 km²

パークゴルフの発祥の地として知られる幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併し、ナウマン象の化石骨が発掘された地という魅力を加え、新たな一步を踏み出しました。十勝平野の中央部に位置し、その肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中、基幹産業でもある農業を中心に、今後も各産業がバランスよく発展する可能性と魅力に溢れるまちでもあります。

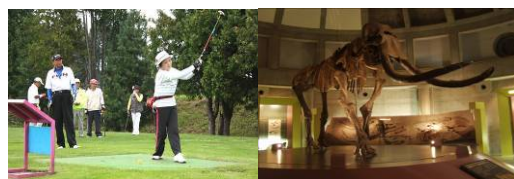
将来にわたり美しく豊かな、心の通うまちを目指すとともに住民と行政の協働によるまちづくりを实践し、「まくべつの躍進」に向けて取り組んでいます。

■特産品・グルメ

- 十勝美豆（とかちビーンズ、大豆缶詰）
- 十勝大福 ○黒豆きなこ ○食用ゆり根
- 和稔じょ ○インカのめざめ ○焼酎

■観光名所

- 忠類ナウマン象記念館 ○シーニックカフェ
- ピラ・リ（明野ヶ丘公園） ○丸山展望台
- 道の駅（忠類） ○新田牧場 ○十勝ヒルズ
- 千代田新水路魚道観察室（ととろ〜ど）



パークゴルフ

忠類ナウマン象記念館



池田町

- 人口 7,690 人
- 面積 371.91 km²

ブドウ栽培からこだわる「十勝ワイン」。ワインを中心とした町づくりを行う池田町は「音・味・香るまちづくり」を展開する魅力あふれるまちです。小高い丘に建つワイン城では、優しく、分かりやすく、ワインの知識を提供するため「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。

また、ワイン城の敷地内には「DCTgarden IKEDA」があります。ドリームズ・カム・トゥルーの吉田美和さんが「ふるさとに貢献したい」という思いを込めた施設で、コンサート衣装や資料、シアタースペースなどが設けられています。

■特産品・グルメ

- 十勝ワイン ○十勝ブランデー
- いしがい焼き ○いけだ牛

■観光名所

- ワイン城 ○まきはの家
- DCTgarden IKEDA
- 清見ヶ丘公園 ○千代田えん堤



ワイン城と
地下熟成室



豊頃町

- 人口 3,558 人
- 面積 536.52 km²

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。二宮尊徳の孫の尊親が伝えた報徳のおしえを受け継ぐまちです。

まちの総合計画では、報徳のおしえ「至誠・勤労・分度・推譲」の四綱領を実践し、人と自然が調和した安らぎと温もりのあるまちづくりを進めています。また、産業では「十勝だいこん」「大津産秋鮭」をはじめ、収益性の高い魅力ある農林水産業を目指しています。

まちのシンボル樹齢 140 年の「はるにれ」は、2 本の木が仲睦まじく支えあった美しい姿が魅力で、年間を通し観光に訪れる方が多い人気のスポットです。

また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを大いに堪能できます。

■特産品・グルメ

- 大津産秋鮭 ○わかさぎの佃煮
- 十勝だいこん ○なたね油「エコリーナ」

■観光名所

- はるにれの木（十勝川河川敷）
- 長節湖 ○湧洞湖
- 茂岩山自然公園キャンプ場
- 茂岩山パークゴルフ場



はるにれの木



本別町

- 人口 8,264 人
- 面積 391.99 km²

十勝の東北部に位置し、利別川が街の中心を緩やかに流れる本別町は、十勝特有の大陸性気候で、夏と冬の寒暖差が大きく、一年を通じて降水量が比較的少ないのが特徴です。

この肥沃な大地と、恵まれた気候の中で育まれた特産品の豆は、良質・安全・安心な食材として出荷され、豆腐、みそ、しょうゆ、納豆などの加工品や健康食品としても注目されている黒豆は、「キレイマメ」のブランド名で全国に発信されています。

また、北海道横断自動車道の帯広・釧路・北見を結ぶジャンクションとなることから、高速道路を利活用したまちづくりの振興が期待されます。

■特産品・グルメ

- キレイマメ（豆製品ブランド） ○生豆
- 豆加工品 ○スイーツ ○舞茸 ○砂糖 ○乳製品

■観光名所

- 義経の里 本別公園・幽仙峡
- 愛のかけ橋（ライトアップ） ○ひまわり迷路
- 本別大坂(国道274号)から望む夜景
- 道の駅「ステラ★ほんべつ」



本別公園

足寄町

●人口 7,762 人
●面積 1,408.09 km²

足寄町は十勝の東北部に位置し、1,408.09km²の広い面積を有しています。この広大な大地では、東京ドーム約 270 個分の面積を持つ大規模草地育成牧場や、独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトー、高さ2～3mにもなる螺湾ブキなど、豊かな自然が育まれています。

また、平成 20 年には開町 100 年という節目を迎えました。先人から継承した緑豊かな大地という貴重な財産を後世に継承しながら、町民全てが心穏やかな毎日を過ごせるよう、人と自然にやさしい地域社会を考えて様々な事業が推進され、活力ある町の基盤が整えられています。子どもも大人も、そしてお年寄りも、全ての人々が「この町に住んでいてよかった」「この町に生まれてよかった」と思える、ふれあいのあるまちづくりが進められています。

■特産品・グルメ

○螺湾(らわん)ブキ ○ナチュラルチーズ
○馬肉 ○豆類 ○木質ペレット

■観光名所

○オンネトー ○雌阿寒岳
○足寄動物化石博物館
○あしよろ銀河ホール21(道の駅)
○エーデルケーゼ館(道の駅足寄湖)



オンネトー

陸別町

●人口 2,720 人
●面積 608.81 km²

陸別町は豊かな自然に恵まれた林業と酪農の街です。また、「寒さ」「星」をテーマとしたまちづくりに力を入れております。

日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関する特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、平成 18 年に廃線となったふるさと銀河線を体験鉄道公園として復活させた「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として注目を集めています。

■特産品・グルメ

○山菜(山ぶき、うど、ぎょうじゃんにく他)

■観光名所

○ふるさと銀河線りくべつ鉄道
○銀河の森天文台
○銀河の森コテージ村 ○かぶとの里



ふるさと銀河線りくべつ鉄道

浦幌町

●人口 5,667 人
●面積 729.64 km²

十勝管内の最東端に位置し、729.64 km²と広大な面積を有し、その 74.2%が森林という雄大な自然と、海産資源豊富な太平洋に面した町です。

平成 23 年 3 月に「うらほろ留真温泉」がリニューアルオープンをしました。浦幌市街より車で約 20 分の静かな山溪に位置し、全国でも希少な PH9.8 の高いアルカリ泉質は、肌がツルツルになる美肌の湯として人気が高く、また、四季折々の景色と自然を体感できる癒しの湯を求め、都市圏からも注目を集めています。

■特産品・グルメ

○ギョウジャンニクドリンク
○ギョウジャンニク入りポークソーセージ
○十勝のフルッコ(山わさびの醤油漬)
○鮭とばスティック ○ラーチ・テーブル

■観光名所

○うらほろ森林公園 ○昆布刈石展望台
○豊北原生花園 ○道の駅「うらほろ」
○うらほろ留真温泉



うらほろ留真温泉

2 人口

(1) 人口の推移

平成22年10月1日時点の十勝の総人口は348,423人で、平成12年の357,858人と比べ2.6%（9,435人）減少しています。平成2年以降の推移をみると、帯広市に隣接する町村の人口は増加もしくは横ばいとなっているものの、それ以外の多くの市町村の人口は減少傾向にあります。

■十勝の総人口の推移

(単位:人) (単位:km²)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	(参考)面積 (H22.10.1)
音更町	33,977 -	37,528 10.5%	39,201 4.5%	42,452 8.3%	45,104 6.2%	466.09
士幌町	7,149 -	7,010 △ 1.9%	6,839 △ 2.4%	6,755 △ 1.2%	6,418 △ 5.0%	259.13
上士幌町	6,380 -	5,936 △ 7.0%	5,634 △ 5.1%	5,229 △ 7.2%	5,078 △ 2.9%	694.09
鹿追町	6,307 -	6,089 △ 3.5%	5,910 △ 2.9%	5,876 △ 0.6%	5,702 △ 3.0%	402.86
新得町	8,412 -	7,822 △ 7.0%	7,657 △ 2.1%	7,243 △ 5.4%	6,642 △ 8.3%	1,063.79
清水町	12,033 -	11,325 △ 5.9%	10,988 △ 3.0%	10,464 △ 4.8%	9,967 △ 4.7%	402.18
芽室町	16,577 -	16,604 0.2%	17,586 5.9%	18,300 4.1%	18,897 3.3%	513.91
中札内村	4,277 -	4,319 1.0%	4,116 △ 4.7%	3,983 △ 3.2%	4,007 0.6%	292.69
更別村	3,433 -	3,350 △ 2.4%	3,291 △ 1.8%	3,326 1.1%	3,393 2.0%	176.45
大樹町	7,483 -	7,075 △ 5.5%	6,711 △ 5.1%	6,407 △ 4.5%	5,982 △ 6.6%	816.38
広尾町	10,346 -	9,593 △ 7.3%	8,975 △ 6.4%	8,325 △ 7.2%	7,884 △ 5.3%	596.16
幕別町 (旧忠類村を含む)	23,408 -	24,240 3.6%	26,080 7.6%	26,868 3.0%	26,542 △ 1.2%	478.00
池田町	9,809 -	9,093 △ 7.3%	8,710 △ 4.2%	8,193 △ 5.9%	7,529 △ 8.1%	371.91
豊頃町	5,050 -	4,519 △ 10.5%	4,164 △ 7.9%	3,732 △ 10.4%	3,394 △ 9.1%	536.52
本別町	11,484 -	10,336 △ 10.0%	10,021 △ 3.0%	9,072 △ 9.5%	8,276 △ 8.8%	391.99
足寄町	10,289 -	9,522 △ 7.5%	8,871 △ 6.8%	8,317 △ 6.2%	7,640 △ 8.1%	1,408.09
陸別町	3,902 -	3,429 △ 12.1%	3,228 △ 5.9%	2,956 △ 8.4%	2,650 △ 10.4%	608.81
浦幌町	8,395 -	7,621 △ 9.2%	6,846 △ 10.2%	6,068 △ 11.4%	5,458 △ 10.1%	729.64
帯広市	167,384 -	171,715 2.6%	173,030 0.8%	170,580 △ 1.4%	167,860 △ 1.6%	618.94
十 勝	356,095 -	357,126 0.3%	357,858 0.2%	354,146 △ 1.0%	348,423 △ 1.6%	10,831.24
北海道	5,643,647 -	5,692,321 0.9%	5,683,062 △ 0.2%	5,627,737 △ 1.0%	5,507,456 △ 2.1%	83,456.87

出典：人口は総務省「国勢調査」（各年10月1日現在 平成22年は速報値）

面積は国土地理院「市区町村別面積調」（平成22年10月1日現在）

注）下段は対前期増減率

(2) 年齢3区分別人口の推移

十勝の年齢3区分別人口構成比は、平成2年以降、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が一貫して減少しているのに対し、老年人口（65歳～）は増加を続け、平成17年10月1日時点で、年少人口14.2%（50,277人）、生産年齢人口63.8%（225,814人）、老年人口22.0%（78,005人）となっており、全道と同様に、十勝においても高齢化が急速に進行しています。

■年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）・老年人口（65歳～）の推移

（単位：人）

		国勢調査（各年10月1日）				住民基本台帳
		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成23年3月31日
十勝	年少人口	69,041 19.4%	61,326 17.2%	55,248 15.5%	50,277 14.2%	46,404 13.2%
	生産年齢人口	243,667 68.5%	241,670 67.7%	236,294 66.1%	225,814 63.8%	218,847 62.1%
	老年人口	43,247 12.1%	54,097 15.1%	66,040 18.5%	78,005 22.0%	87,102 24.7%
北海道	年少人口	1,034,251 18.4%	898,673 15.8%	792,352 14.0%	719,057 12.8%	660,101 12.0%
	生産年齢人口	3,924,717 69.7%	3,942,868 69.3%	3,832,902 67.8%	3,696,064 65.8%	3,485,334 63.4%
	老年人口	674,881 12.0%	844,927 14.9%	1,031,552 18.2%	1,205,692 21.4%	1,353,481 24.6%

出典：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在 年齢不詳人口を除く） 「住民基本台帳」（平成23年3月31日現在）
注）下段は総人口に占める割合

(3) 人口動態の推移

自然動態は、少子高齢化を背景に、死亡数が出生数を上回る状況が続いており、平成22年度の自然増減数（出生数－死亡数）は668人減となっています。

社会動態は、転出数が転入数を上回る転出超過の状況が続いていましたが、平成22年度の社会増減数（転入数－転出数）は772人増とプラスに転じています。

■自然増減数及び社会増減数の推移

（単位：人）

	自然動態			社会動態			増減数
	出生数	死亡数	自然増減数	転入数	転出数	社会増減数	
平成18年度	2,954	3,088	△ 134	17,275	18,573	△ 1,298	△ 1,432
平成19年度	2,972	3,022	△ 50	15,913	17,883	△ 1,970	△ 2,020
平成20年度	2,898	3,278	△ 380	15,482	16,539	△ 1,057	△ 1,437
平成21年度	2,761	3,255	△ 494	14,994	16,154	△ 1,160	△ 1,654
平成22年度	2,797	3,465	△ 668	15,289	14,517	772	104
合計	14,382	16,108	△ 1,726	78,953	83,666	△ 4,713	△ 6,439
平均	2,876	3,222	△ 345	15,791	16,733	△ 943	△ 1,288

出典：北海道「住民基本台帳人口・世帯数及び人口動態」（毎年度4月1日から翌年3月31日までの人口動態）
注）自然増減数＝出生数－死亡数 社会増減数＝転入数－転出数 増減数＝自然増減数＋社会増減数

3 生活機能分野

(1) 医療

帯広市及び周辺3町（音更町・芽室町・幕別町）の人口は十勝全体の約7割を占め、医療機関数についても十勝の約5割、医療従事者数については十勝の約8割がこの地域に集中しています。一方、全国的に医療従事者が不足している状況において、町村部の医師不足は深刻で、特に、小児科、産婦人科医の確保は困難な状態となっています。

また、休日・夜間における軽症患者の増加や、住民の大病院・専門医志向の高まりにより、初期救急の患者が二次・三次救急医療機関を利用している状況にあり、これらの医療機関の負担が増大しています。

このため、重症度、緊急度に応じた医療が提供されるよう、初期から三次救急医療に至る体系的な医療提供体制を確保するとともに、医療機関の適切な利用に対する啓発活動も必要となっています。

■住民10万人あたりの医師数・看護師数・病床数

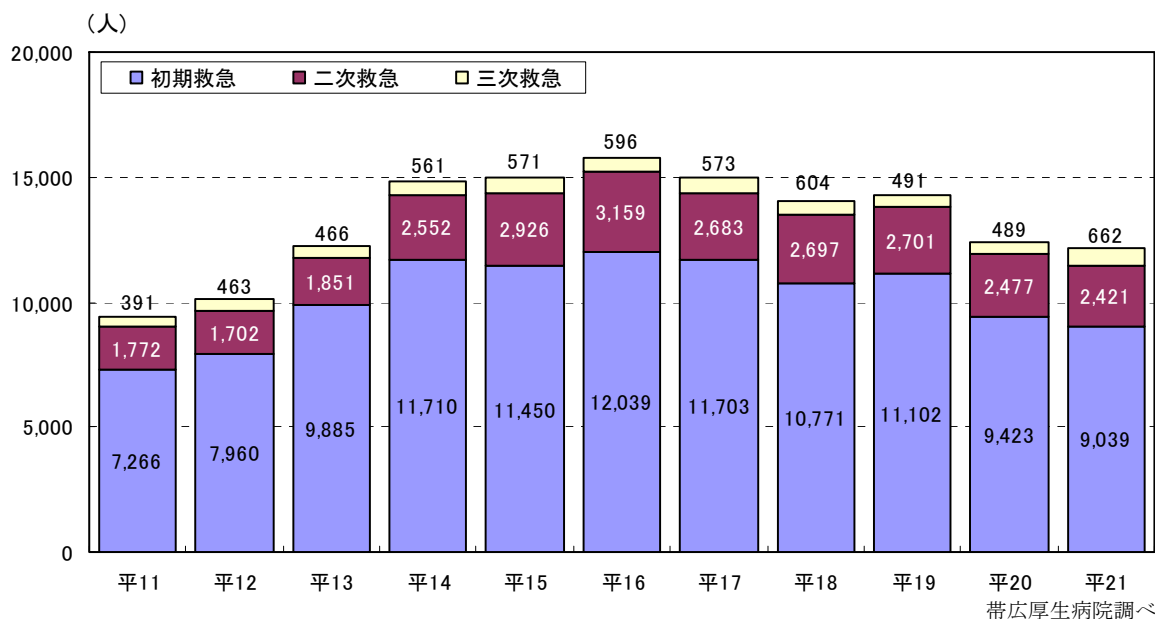
	医師数(人)		正看護師数(人)		准看護師数(人)		病床数(床)	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
十勝	583	167.7	2,361	679.0	1,475	424.2	5,552	1,601.4
北海道	12,447	224.9	46,995	851.8	22,615	409.9	108,346	1,967.4

出典：平成21年北海道保健統計年報（医師、病床数）

平成21年版十勝地域保健情報年報（正看護師数及び准看護師数）

注）医師数、正看護師数及び准看護師数は平成20年12月31日現在
病床数は平成21年10月1日現在

■救命救急センターの受診状況（年度別延べ患者数）



(2) 福祉（障害福祉・児童福祉）

障害者福祉については、障害者自身の地域における自立した生活や社会参加に対する意欲・志向の高まりから、平成18年には障害者自立支援法が施行され、障害者の福祉サービスの一元化、自立支援型システムへの転換、制度の持続可能性の確保の3つの視点から、従来の障害者関連サービスが新たなサービス体系へと再編されています。さらに、現在、国において、障害者制度の改革が進められており、障害者基本法の改正や、障害者自立支援法に替わる新たな法整備が検討されています。

今後も、障害者の地域での自立した生活に対する意欲・志向が、さらに高まると考えられており、福祉的就労や創作活動、レクリエーションなど、日中における活動の場の確保が必要となっています。

児童福祉については、出生数の減少などを背景に、十勝においても人口減少・少子高齢化の一層の進行が予測される中、核家族化の進行や長引く経済不況に加え、道路交通網や情報ネットワークの整備などによる日常生活圏の拡大に伴い、保護者の子育てに対するニーズが多様化してきています。

今後とも様々なニーズに対応するため、広域的な視点も持ちながら、保育所や地域子育て支援センターの利用促進を図るなど、地域全体で子育てを支援していく必要があります。

■地域活動支援センター・保育所・地域子育て支援センターの設置箇所数等

	地域活動支援センター		身体・知的障害者手帳交付状況	保育所			地域子育て支援センター	
	施設数	定員		施設数 (うちへき地保育所)	定員	入所児童数	施設数	利用者数
音更町	1	15	2,579	17 (8)	1,210	1,078	3	19,570
士幌町			529	6 (4)	285	194	2	5,607
上士幌町	1	15	486	2 (1)	160	115	1	5,289
鹿追町	1	15	357	5 (4)	220	149	1	4,827
新得町	1	10	702	2	130	95	1	8,282
清水町	1	10	927	4 (1)	330	208	1	4,691
芽室町	1	10	1,046	16 (14)	770	489	1	10,631
中札内村			274	2 (1)	150	125	1	3,233
更別村			174	1	45	63	1	1,044
大樹町	1	20	429	4	210	150	1	5,327
広尾町	1	15	560	4	240	125	1	3,027
幕別町	1	29	1,658	11 (6)	730	517	2	10,235
池田町	1	10	570	1	120	107	1	2,832
豊頃町			302	2 (1)	90	90	1	1,980
本別町	1	20	693	5 (3)	310	150	1	3,931
足寄町			589	4 (3)	310	193	1	2,727
陸別町	1	15	353	1 (1)	90	53	1	2,366
浦幌町			459	2 (1)	125	88	1	1,467
帯広市	12	133	9,841	33 (7)	2,925	2,665	6	57,388
十勝	24	317	22,528	122 (55)	8,450	6,654	28	154,454

地域活動支援センター、身体・知的障害者手帳交付状況は十勝総合振興局調べ（平成22年4月1日現在）

保育所は帯広市調べ（平成23年4月1日現在）

地域子育て支援センターは帯広市調べ（平成22年度延べ利用者数）

(3) 教育

十勝には、公民館をはじめ、図書館や博物館、生涯学習センターなど、142 の社会教育施設が設置され、また社会体育施設においても、民間を含め 491 の施設が設置されています。

これらの施設では、これまで、それぞれの地域特性を活かし、住民が生涯にわたってゆとりやうるおいを実感して生活できるよう、様々な取り組みが進められてきました。

しかしながら、近年、生涯学習に対する住民のニーズが多様化・高度化する中、それぞれの自治体で実施されている取り組みだけでは、こうしたニーズに十分な対応をすることが難しくなっています。

また、図書館など、すでに多くの市町村に設置されている施設や、明治北海道十勝オーバルや銀河の森天文台など、十勝にしか所かない特徴的な施設もあり、これらの施設の活用やサービスの均等化などが課題となっています。

このため、十勝の生涯学習施設がハード・ソフトの両面にわたって広域的な連携を強化し、地域性豊かな生涯学習の構築に向けた取り組みを進めていくことが求められています。

■社会教育施設設置状況一覧（民間施設を除く）

	公民館	図書館	博物館	生涯学習センター	青少年教育施設	女性・婦人会館	その他	合計
音更町	4	2		1	2			9
士幌町	14	1						15
上士幌町		1	1	1	1			4
鹿追町	12	1	1		1			15
新得町	2	1			2			5
清水町	2	1	2		1		2	8
芽室町	1	1	1		1		1	5
中札内村	2	1	1		1			5
更別村	1	1						2
大樹町		1		1			1	3
広尾町	2	1	2		2		2	9
幕別町	4	3	2	1	4		2	16
池田町	1	1			1			3
豊頃町		1		1			1	3
本別町	4	1	1		2		1	9
足寄町					2		9	11
陸別町	1		1					2
浦幌町	4	1	1					6
帯広市		1	2	1	3		5	12
合計	54	20	15	6	23	0	24	142

出典：社会教育調査研究事業報告書等（平成22年10月1日現在）

■社会体育関連施設設置状況一覧（民間施設を含む）

	体育館	陸上競技場	野球場	ソフトボール場	テニスコート	パークゴルフ場	ゴルフ場	ゴルフ練習場	武道場等	プール	ゲートボール〔屋内〕	スケートリンク	スキー場	キャンプ場	その他	合計
音更町	3	1	3	1	4	14	2	1	1	1	2	2			7	42
士幌町	1	1	2	1		4			1	1	1	1		2		15
上士幌町	1		2	1	1	4	1	2	1	1	1	1	1	2		19
鹿追町	1	1	1	2	1	5			1	2	3	1	1	3		22
新得町	2		1		4	5	1		1	2	3	2	2	4	7	34
清水町	1		2	1	6	4	2	1	1	2	3	2		1	5	31
芽室町	1		2		2	4	1			1	1	5	1	1	3	22
中札内村	2		1	1	2	3			2	2	1	1		1	3	19
更別村	1		1	1	1	4			1	1	1	1		1	3	16
大樹町	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1		1		11
広尾町	2	1	1	1	1	5		1		3	1		1	1		18
幕別町	3	1	4	2	5	14	2	2	2	6	2	2	2	1		48
池田町	1		1	1	1	2		1	1	1	1	2		1		13
豊頃町	1		1	1	1	1					1	1		2		9
本別町	1	1	2		2	5	1	1	1	1	4	4	1	1	3	28
足寄町	1	1	1	1	1	7			1	1	6	1	1	2		24
陸別町			1	2	1	1				1	1	1	1		1	10
浦幌町	1		1			4		1	1	1	3	1		1	2	16
帯広市	4	1	6	1	9	30	1	6	11	4	1	5		2	13	94
合計	28	8	34	18	43	117	11	17	27	32	37	34	11	27	47	491

出典：社会教育調査研究事業報告書等（平成22年10月1日現在）

（4）産業振興

① 農業

十勝は、約26万haの耕地を有し、年2,000時間を超える日照時間、良質な水資源に恵まれ、品種改良や肥培管理技術の向上、土地基盤の整備を進め、わが国を代表する食料生産基地として、大規模で生産性の高い畑作・酪農が展開されています。

十勝における1戸あたりの平均耕地面積は37.8haで、全国平均の約24倍に達し、EUの農業国であるフランスやドイツと並ぶ水準にあります。

また、販売農家総数5,978戸のうち専業農家数は4,479戸（約75%）で、家族経営を主とした専業経営の割合が非常に高く、生産性の高い畑作・酪農主体の土地利用型農業が営まれています。

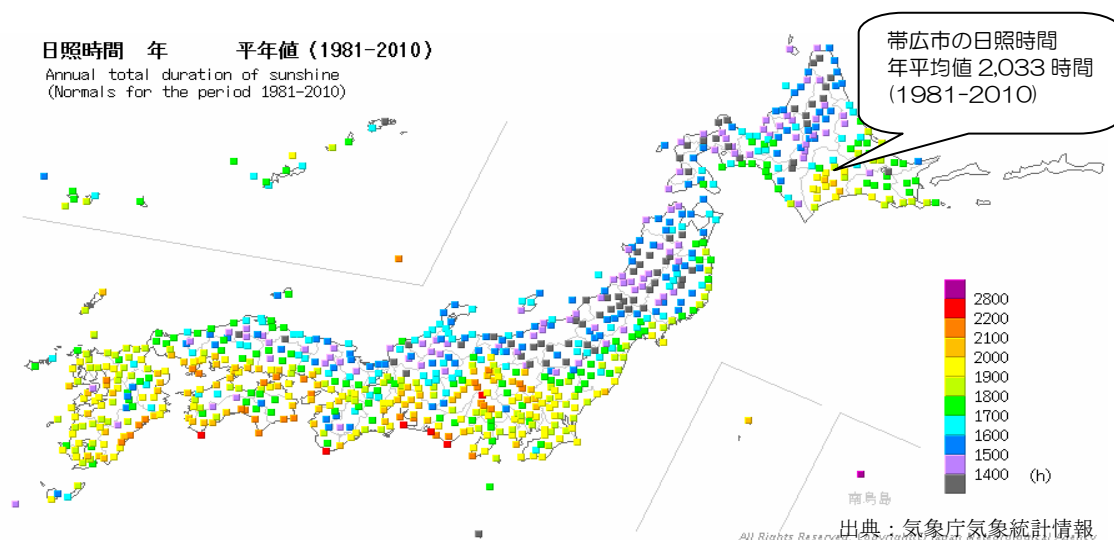
十勝農業は、恵まれた環境の中で、カロリーベースでの食料自給率が約1,100%の食料生産地帯として、約2,500億円の農畜産物を生産し、食品加工・農業機械などの関連産業が集積するなど、地域経済を支える基幹産業として重要な役割を担っています。

しかし、十勝の農業を取り巻く環境は、経済のグローバル化が進む中で、戸別所得補償制度の導入や包括的経済連携協定が議論されるなど大きく変化しており、今後、地域で連携しながら、生産基盤の整備、生産技術の向上、経営の効率化などを図っていく必要があります。

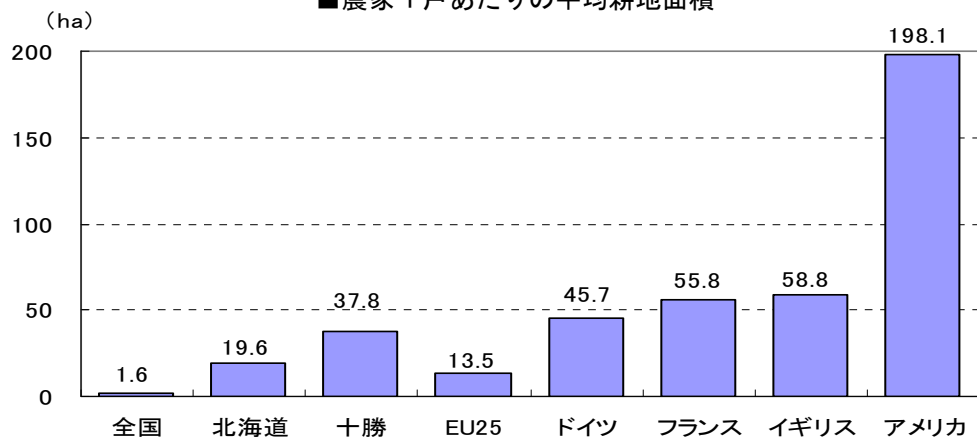
また、後継者問題や労働力不足などにより、農家戸数は、この10年間で約2割減少しており、担い手の育成支援や新規就農の促進、効率的農業経営を目指した法人化や、労働力不足への対応と機械コスト低減のためのコントラクター（農作業受委託）事業などの取り組みを進めていく必要があります。

さらに、鳥インフルエンザや口蹄疫などの疫病、エゾシカなどの野生鳥獣の食害についても、その影響が広範囲に及ぶことから、地域が連携しながら対策を進めていく必要があります。

■日照時間年平均値（1981-2010）

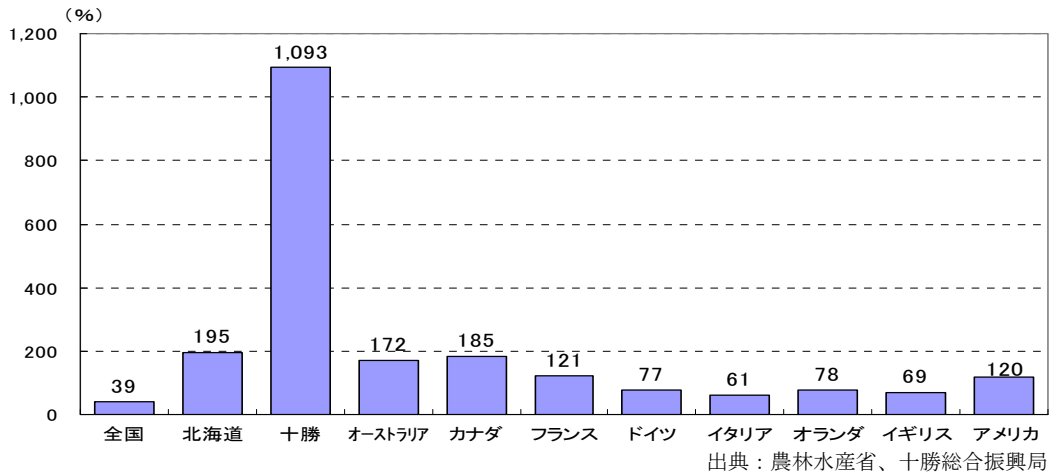


■農家1戸あたりの平均耕地面積

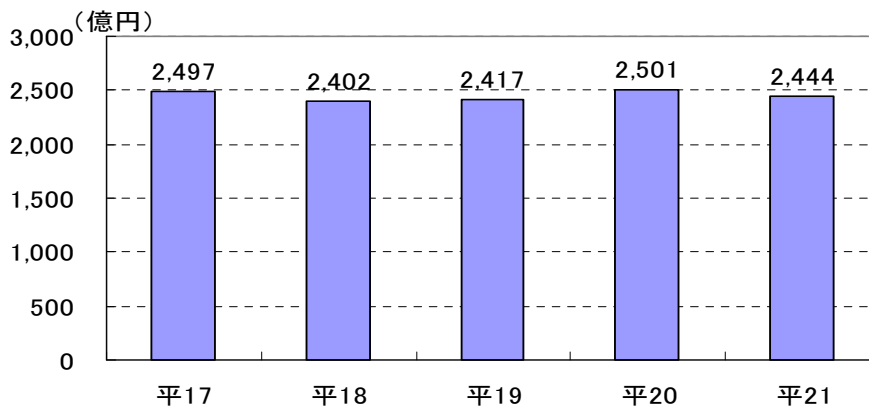


出典：農林水産統計（農林水産省）
2005 農林業センサス（農林水産省）
2008 Agricultural Statistics” (USDA)
Agriculture in the European Union Statistical and Economic Information 2008 (EU)

■食料自給率（カロリーベース、2006年値）



■十勝の農業産出額推移



出典：農林水産統計（農林水産省）
 平成19年以降は十勝地区農業協同組合長会、十勝農業協同組合連合会、
 十勝総合振興局調べによる農協取扱高

■農家戸数の推移

(単位：戸、%)

		総数	専業農家	兼業農家			規模別農家			
				総数	第1種	第2種	5ha未満	5~10	10~20	20ha以上
平成12年	十勝	7,472	5,087	2,385	2,062	323	607	439	1,139	5,287
	全道	62,611	29,051	33,560	23,652	9,908	19,938	12,872	12,764	17,037
	対全道比	11.93	17.51	7.11	8.72	3.26	3.04	3.41	8.92	31.03
平成17年	十勝	6,596	4,811	1,785	1,608	177	421	305	835	5,035
	全道	51,990	27,120	24,870	18,496	6,374	14,690	9,436	10,882	16,982
	対全道比	12.69	17.74	7.18	8.69	2.78	2.87	3.23	7.67	29.65
平成22年	十勝	5,978	4,479	1,499	1,215	284	321	177	642	4,838
	全道	44,050	26,693	17,357	11,963	5,394	11,378	6,527	9,249	16,896
	対全道比	13.57	16.78	8.64	10.16	5.27	2.82	2.71	6.94	28.63

出典：農林業センサス・農林水産統計
 注) 農家数は販売農家数で記入

■年度別エゾシカ捕獲数及び被害額

(単位:頭、百万円)

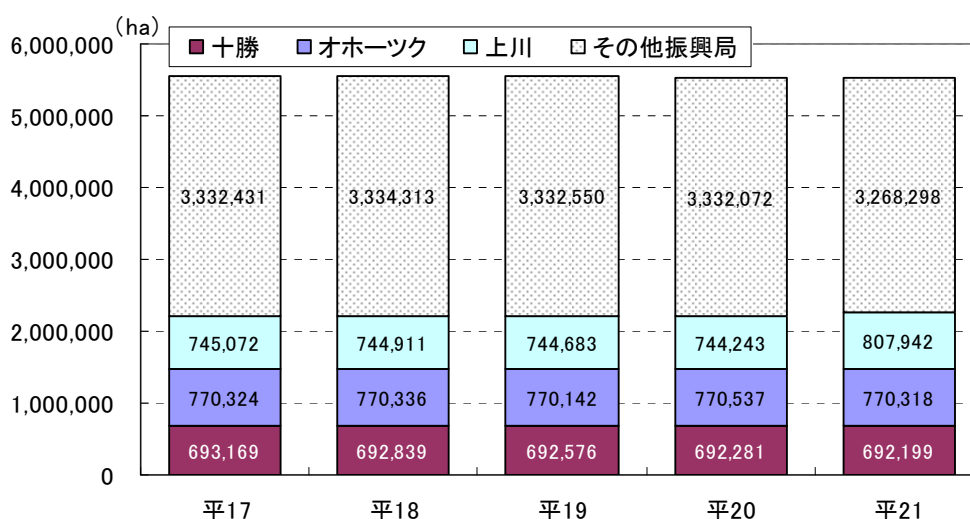
			平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
捕獲数	狩猟	十勝	5,584	6,335	6,454	5,209	6,233	6,727	9,055
		全道	37,826	45,138	49,819	42,101	42,113	49,581	56,858
		対全道比	14.8%	14.0%	13.0%	12.4%	14.8%	13.6%	15.9%
	許可捕獲	十勝	6,106	4,552	4,662	4,843	4,816	4,353	5,224
		全道	22,669	24,570	28,538	29,445	30,843	33,391	35,157
		対全道比	26.9%	18.5%	16.3%	16.4%	15.6%	13.0%	14.9%
	合計	十勝	11,690	10,887	11,116	10,052	11,049	11,080	14,279
		全道	60,495	69,708	78,357	71,546	72,956	82,972	92,015
		対全道比	19.3%	15.6%	14.2%	14.0%	15.1%	13.4%	15.5%
農林業被害額	十勝	292	293	384	448	444	555	562	
	全道	2,866	2,791	2,829	3,082	3,245	4,045	5,082	
	対全道比	10.2%	10.5%	13.6%	14.5%	13.7%	13.7%	11.1%	

十勝総合振興局環境生活課調べ

② 林業

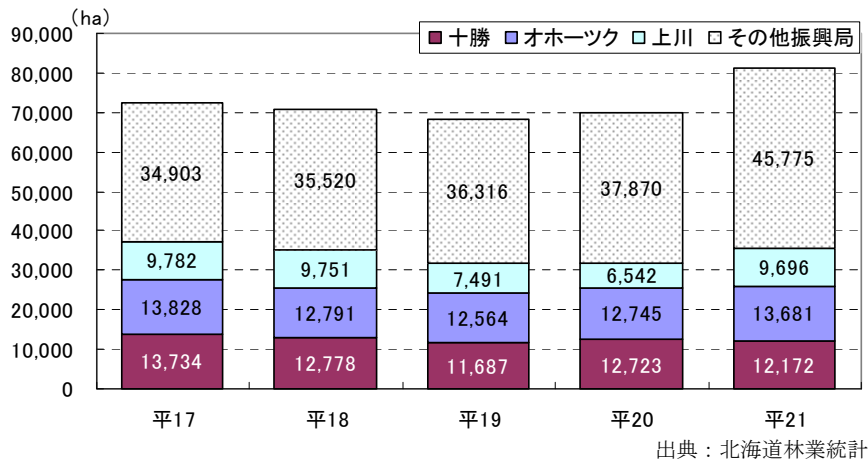
十勝の森林面積は692,199haで、その内訳は国有林415,573haと、民有林（道有林、市町村有林、私有林等）276,626haとなっています。この面積は十勝の総面積の約64%を占め、上川圏、オホーツク圏に次ぐ広さになっています。平成21年の伐採面積は12,172haであり、782千m³の木材が産出されています。

■道内及び十勝の森林面積



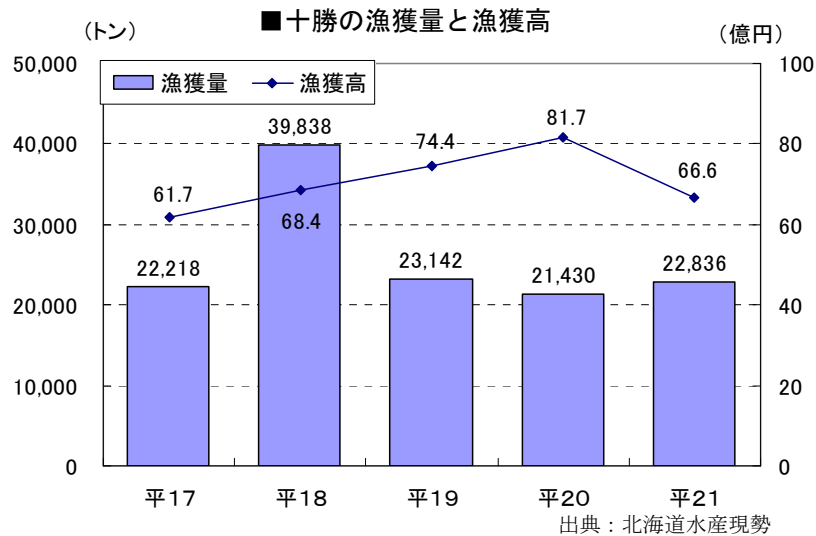
出典：北海道林業統計

■道内及び十勝の森林伐採面積



③ 水産業

十勝には、重要港湾である十勝港をはじめ、沿岸部に5つの漁港（音調津、大樹、旭浜、大津、厚内）があり、平成21年の総漁獲量は22,836トンで、漁獲高は約67億円となっています。このうち魚種別漁獲高では、さきが約36億円と全体の約半分強を占めています。



④ 工業

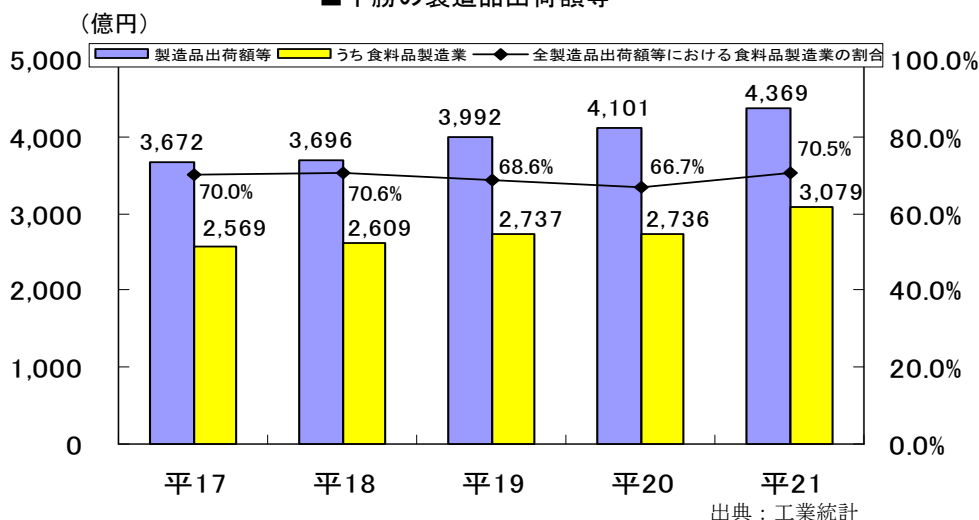
十勝の製造品出荷額等は4,369億円で、全道14の総合振興局・振興局のうち3番目に位置しています。食料品製造業は3,079億円で製造品出荷額等の70.5%を占めており、北海道の37.1%と比較して高い割合となっています。

十勝の付加価値率（※）は製造業全体で33.1%と全道平均29.2%を上回っています。また食料品製造業の付加価値率も31.5%と全道平均29.0%を上回っていますが、全国平均35.2%と比べ低くなっており、十勝の豊富な農畜産物等の原材料を地元で加工し、さらなるブランド化を図るなど、付加価値を向上する取り組みを促進する必要があります。

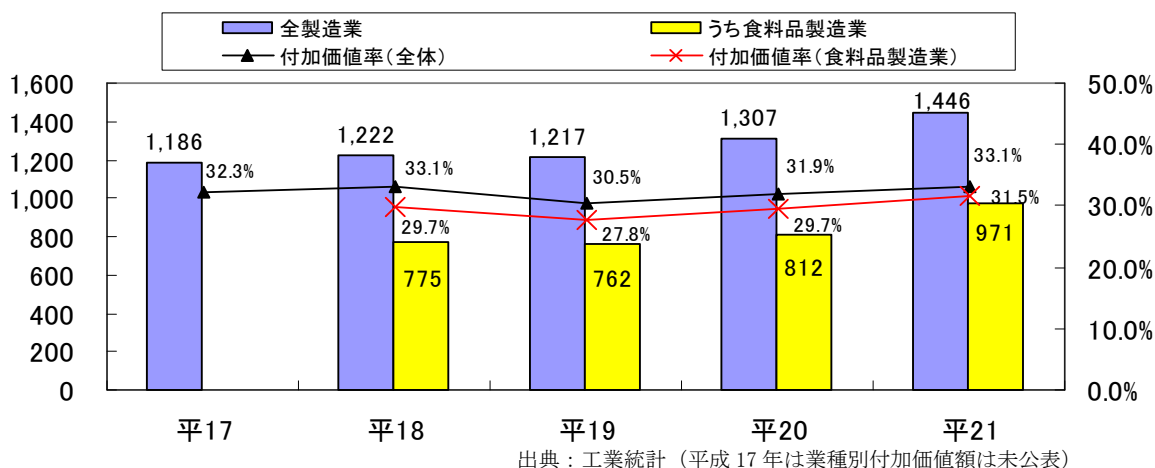
また、新たな雇用創出や地域産業の活性化を図るため、地域特性等を活かした企業立地を促進する必要があります。

※付加価値率：製造品出荷額等に占める付加価値額の比率

■十勝の製造品出荷額等



■十勝の付加価値額の推移



■地域別（振興局管内別）企業立地件数の推移

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	下期
道央	32	14	24	30	32	44	37	24	18	6	3
石狩	12	4	12	9	13	14	14	11	8	1	
後志	5	3	2	9	10	11	7	6		1	1
胆振	11	4	4	6	3	9	10	3	1	1	
日高				1			1				
空知	4	3	6	5	6	10	5	4	9	3	2
道東	12	11	11	10	12	8	21	3	10	7	1
十勝	3	4	4	5	5	1	8	1	4	3	
釧路	2	5	3	4	4	3	9		5	2	1
根室	2		1			2	1		1		
オホーツク	5	2	3	1	3	2	3	2		2	
道北	10	4	4	8	8	3	2	4	6	5	3
上川	3	3	4	5	8	2	1	4	6	5	3
留萌				1		1					
宗谷	7	1		2			1				
道南	5	6	7	3	5	7	5	4	1	2	0
渡島	5	6	6	3	5	4	5	4	1	2	
檜山			1			3					
合計	59	35	46	51	57	62	65	35	35	20	7

出典：「北海道の工場立地動向調査」（北海道経済産業局）

⑤ 商業

近年の厳しい経済状況や消費動向の低迷等により、平成19年の十勝の卸・小売業の事業所数は4,041か所、従業者数は29,608人となっており、いずれも減少傾向にあります。

また、卸・小売業の年間商品販売額も減少が続いていますが、十勝の商品販売額が北海道に占める割合は増加傾向にあります。

■卸・小売業の事業所数（法人＋個人）

（単位：か所）

	全国	北海道	十勝
平11	1,832,734	71,980	5,008
平14	1,679,606	66,506	4,677
平16	1,613,318	64,471	4,497
平19	1,472,658	58,236	4,041

出典：商業統計

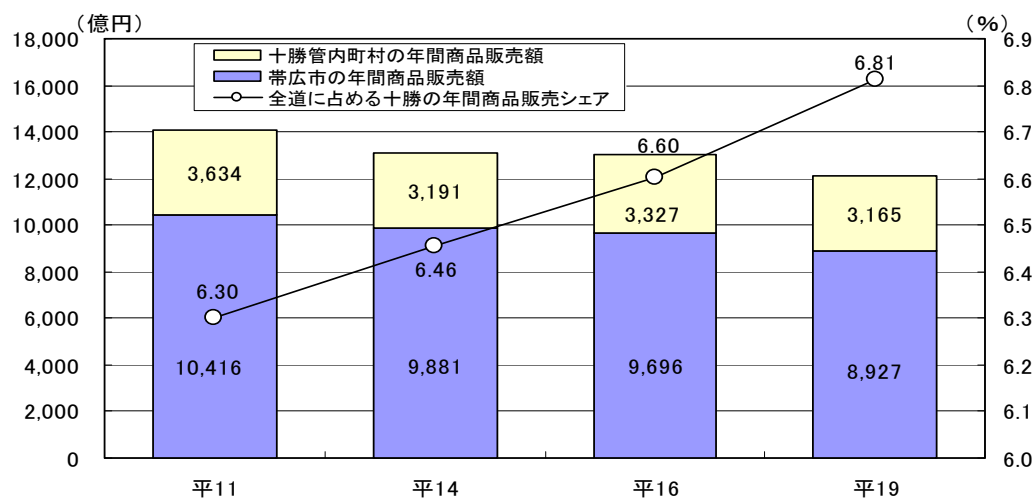
■卸・小売業の従業者数（法人＋個人）

（単位：人）

	全国	北海道	十勝
平11	12,524,768	547,802	33,957
平14	11,974,766	516,518	33,673
平16	11,565,953	502,536	31,064
平19	11,105,669	463,793	29,608

出典：商業統計

■卸・小売業における年間商品販売額及び全道に占める十勝の年間商品販売額の推移



出典：商業統計

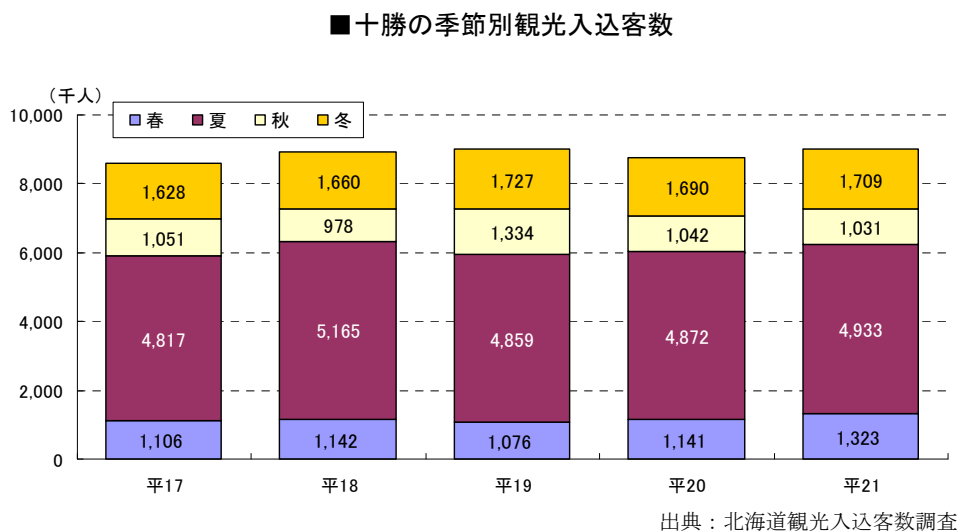
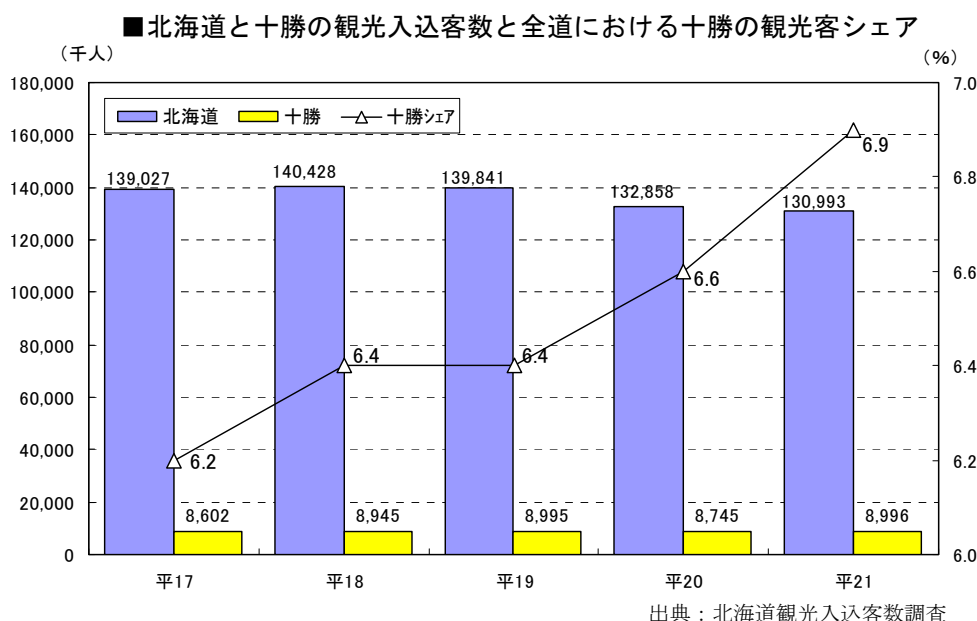
⑥ 観光

近年、北海道の観光入込客数は減少傾向にある中、十勝はほぼ横ばいで推移しており、全道に占める十勝の割合は増加傾向にあります。平成 21 年度の十勝の観光入込客数は 8,996 千人で道内 6 圏域中 4 番目に位置しています。

十勝への道外客や道内客は、いずれも横ばい傾向で、日帰り客は微増傾向にあるのに対し、宿泊客は横ばいとなっています。

十勝の観光は、広大なエリア内に観光資源が点在し、季節による入込客数の偏り、知名度の高い観光地や集客力のあるイベントが少ないことなどから、夏季中心の通過型観光となっています。

自然や景観、食や農業など十勝の豊かな観光資源や、道央圏との高速道路の開通、とち帯広空港のダブルトラッキング化など新たな状況を最大限に活用し、地域が一体となって、観光客の多様なニーズに対応した魅力ある観光振興を図る必要があります。



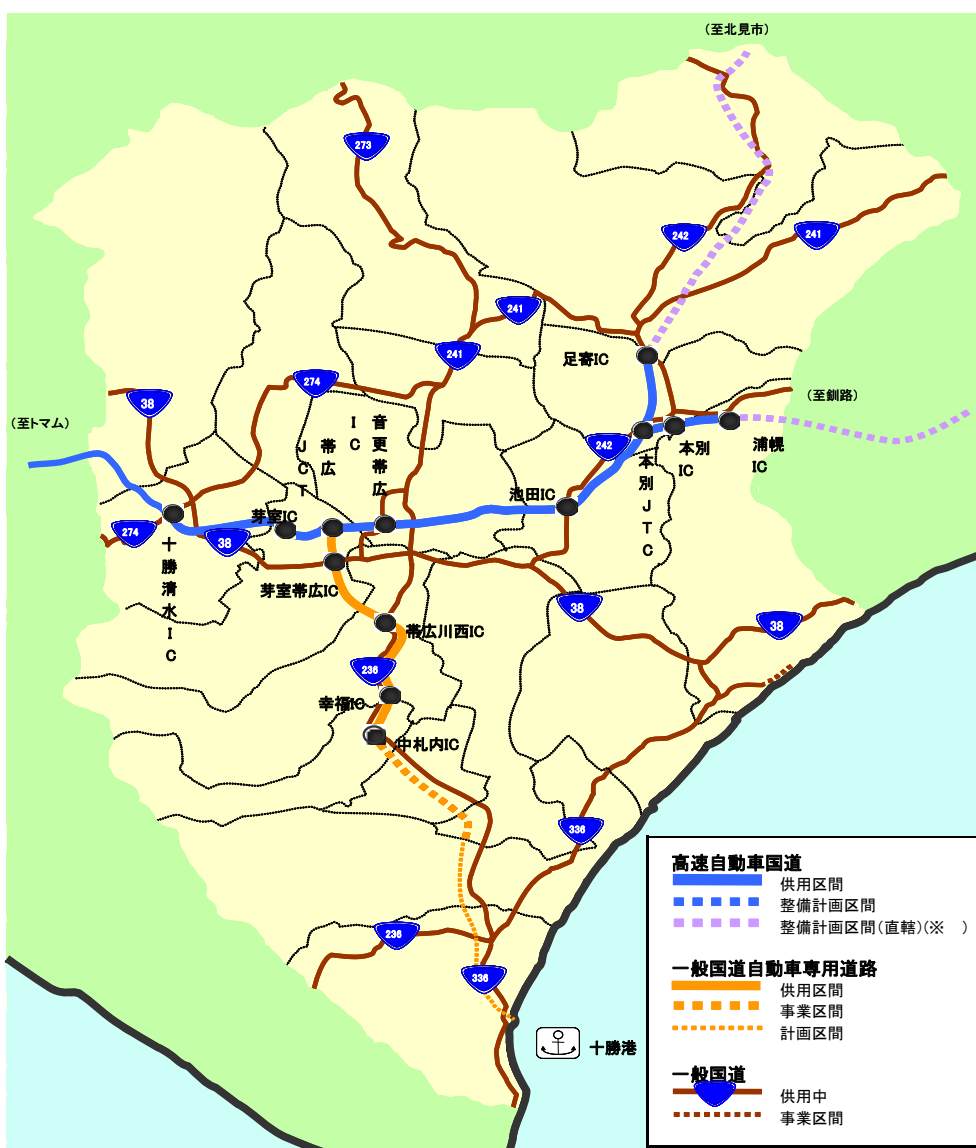
⑦ 道路

広大な面積を有する十勝は自動車交通への依存度が高く、道路網は圏域内外の物的・人的交流に重要な役割を果たしています。

高速自動車国道である北海道横断自動車道は、平成23年秋に道央圏との全線開通が予定されています。また、一般国道自動車専用道路である帯広・広尾自動車道は、帯広～中札内間が開通しており、とちり帯広空港や広尾方面とのアクセスが向上しています。

今後、道央圏に加え、釧路・オホーツク圏とのネットワーク強化に向けた道路網の一層の整備や、十勝港とのアクセス強化が望まれています。

■高規格幹線道路の整備状況



※整備計画区間（直轄）：新直轄方式（平成15年導入）
 ・新会社による整備・管理が難しいと見込まれる高速自動車国道の路線・区間の整備を国が直轄で行う区間。
 ・事業費は、国、地方公共団体が負担し、通行料は無料。

⑧ 空港

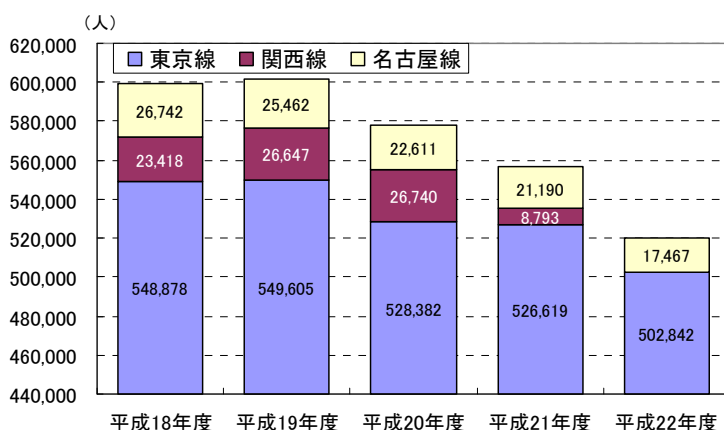
圏域唯一の空港である「とちち帯広空港」は、昭和 56 年に道内 4 番目のジェット化空港として開港しました。

国内線（東京線）は、平成 23 年 3 月から 2 社運航による 1 日 7 往復が運航され、ビジネス客のほか、観光客にも利用され、修学旅行生の誘致などを通じて地域の発展に貢献しています。

また、平成 12 年から主にアジアからの国際チャーター便が就航していますが、世界的な経済不況の影響等もあり、就航便数や利用者数は減少傾向となっています。

今後は、さらなる利便性の向上のため、関西圏や中京圏と結ぶ航空路線網の拡充や C I Q（税関、出入国管理、検疫）体制の充実などの取り組みが求められています。

■とちち帯広空港利用者数の推移



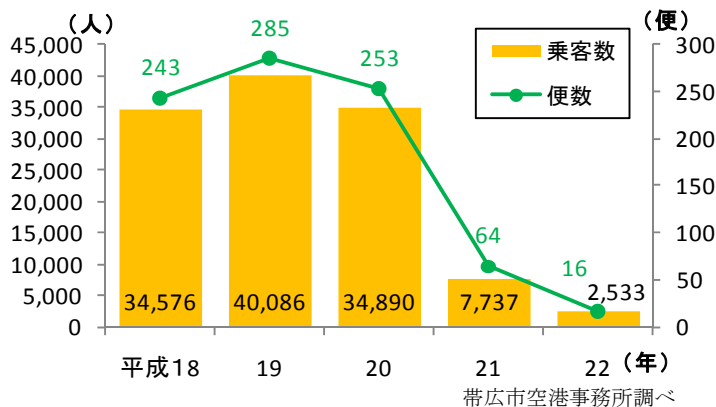
帯広市空港事務所調べ

注) 東京線（1日4往復）は平成23年3月27日から1日7往復
 関西線（夏季のみ）は平成21年9月1日、
 名古屋線（1日1往復）は平成22年10月31日から運休

■路線図



■とちち帯広空港における国際チャーター便の推移



帯広市空港事務所調べ



とちち帯広空港

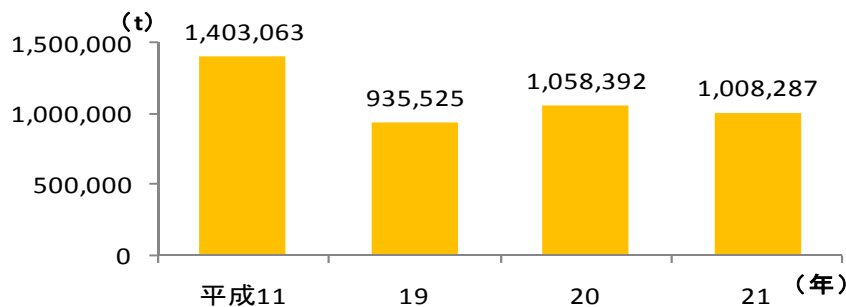
⑨ 港湾

国より重要港湾の指定を受けている十勝港は、道内の港の中で最も首都圏に近いという地理的好条件にあります。

取り扱い貨物量の約7割が農業関連品で、移出は小麦・馬鈴しょなどの農作物、移入は化学肥料・飼料・製糖工場用石炭などの農業生産資材が大半を占めています。

道東で唯一となる水深13mの岸壁の整備や道内最大級の配合飼料コンビナートの設置など、十勝港の利便性が向上しており、今後、圏域の農畜産物や農業資材などの物流拠点として、さらなる利用が期待されています。

■十勝港貨物取扱量の推移



出典：平成21年十勝港統計年報

(5) 環境

地球温暖化防止への取り組みは、世界共通の課題として、国際的な連携の下に対策が進められています。我が国においても、第3回気候変動枠組条約締約国会議において採択された京都議定書の達成に向けて、様々な温暖化対策が行われています。

一方で、大規模な畑作や酪農地帯を有し、また多くの森林に恵まれている十勝は、バイオマスが豊富に賦存するとともに、比較的少ない降雪量、寒冷な気候であり、国内有数の日照時間の長い地域が含まれていることから、これらの地域特性や資源を最大限に活かし、バイオマスや太陽光といった再生可能エネルギーの利用を一層促進するとともに、省エネルギー化を進め、低炭素社会の構築に向けた取り組みを、地域が主体的に推進していくことが求められています。

■十勝のバイオマス賦存量

	(t/年)			
	合計	未利用資源量	再資源化・堆肥化量	製品化量
木質系バイオマス	443,220	377	213,478	229,365
草本系バイオマス	1,087	497	590	0
農業残渣(圃場)	2,578,929	2,035,246	161,087	382,596
農業残渣(集荷場)	365,834	1,830	14,385	349,619
家畜糞尿	5,451,981	0	5,451,981	0
食品廃棄物	176,348	26,845	135,037	14,466
汚泥類	136,192	23,688	112,504	0
紙類	50,437	48,705	1,732	0
植物系廃油	751	129	622	0
バイオマス合計	9,204,779	2,137,317	6,091,416	976,046

(出典：帯広開発建設部 十勝圏循環型社会形成検討調査業務 平成16年1月)

(6) 防災

日本は、世界でも有数の地震多発国であり、本年3月に発生した東日本大震災をはじめ、これまで数多くの震災に見舞われています。また、近年は、地球温暖化の影響により、台風や集中豪雨などによる災害も増えてきています。

十勝においても、過去3度にわたって発生した十勝沖地震によって大きな被害を受けており、今後は、こうした災害に迅速かつ確に対応するための対策の基本となる地域防災計画の見直しや関係機関との連携強化をはじめ、災害発生当初における生活の維持、情報伝達手段の確保、初期段階において重要となる自主防災体制の構築など、被害を最小限に抑え、住民の生命や財産を守るために必要な体制の整備が求められています。

■十勝における地震の発生状況

地震名称	発生年月日	規模 (M)	被害状況
十勝沖地震	昭和27年3月4日 (1952年)	不明 (8.2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 死者28人 不明者5人 ・ 負傷者287人 ・ 全壊戸数906戸 ・ 半壊戸数1,324戸
十勝沖地震	昭和43年5月16日 (1968年)	震度5(7.9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 死者2人 ・ 負傷者133人 ・ 全壊戸数27戸 ・ 半壊戸数81戸
十勝沖地震	平成15年9月26日 (2003年)	震度5強 (8.0)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 死者1人 不明者1人 ・ 負傷者847人 ・ 全壊戸数116戸 ・ 半壊戸数368戸
東北地方太平洋沖地震	平成23年3月11日 (2011年)	震度4(帯広) (9.0)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物被害数29戸 ・ 漁船被害数165隻

出典：北海道地域防災計画等



平成15年十勝沖地震（豊頃町）



平成15年十勝沖地震（豊頃町）



平成23年東北地方太平洋沖地震（広尾町）



平成23年東北地方太平洋沖地震（広尾町）

4 結びつきやネットワーク分野

(1) 地域公共交通

鉄道や路線バスなどの公共交通は、高齢者や学生など交通弱者の生活の足として欠かせないものですが、家用乗用車の普及などにより、利用者は減少傾向にあります。

鉄道は、JR北海道が十勝圏と道央圏・釧路圏を結び、平成21年度におけるJR帯広駅の乗車人員は約77万人と、対平成11年度で約31%減（約34万人減）となっています。

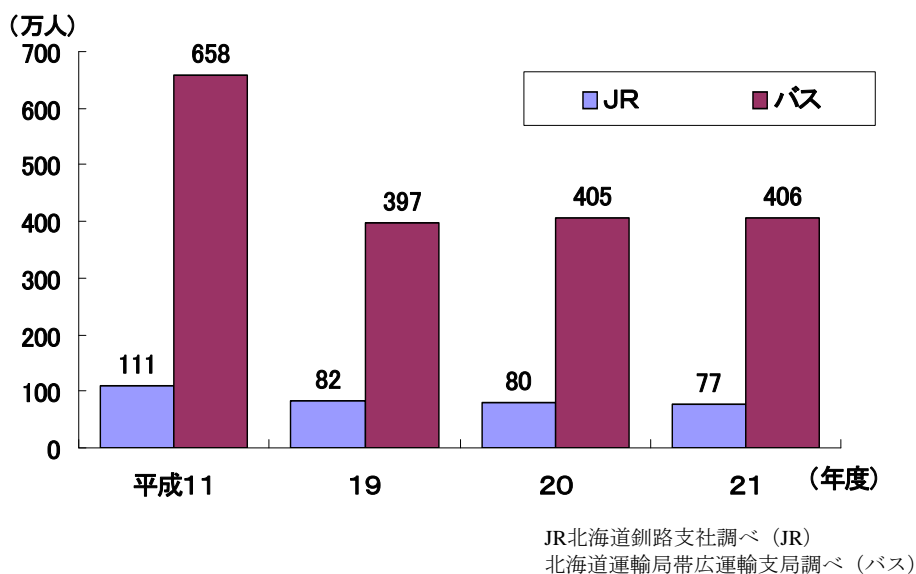
路線バスは、JR帯広駅を中心に放射状に路線網が形成されていますが、平成21年度における圏域内のバス利用者数は約406万人で、対平成11年度比で約38%減（約252万人減）となっています。

今後、さらなる高齢化の進行や、地球温暖化など環境問題への対応からも、二酸化炭素の排出量が少ない公共交通の維持や利用促進に向けた取り組みが求められています。

■鉄道・バス（幹線）の路線図



■鉄道・バス乗客数の推移



(2) 地産地消

現在、地産地消に関して、行政間の直接的な連携は行われてはいませんが、各市町村においては、道の駅や農産物直売所、朝市・夕市などを通じて、地場製品の販売を行っているほか、帯広商工会議所がオール十勝の取り組みとして、「My とかち推進会議」を設置し、「パイとかち運動」に取り組んでいます。

今後は、こうした取り組みを広く住民に周知し、地産地消の取り組みを十勝全体で推進し、消費者と生産者の交流や消費の拡大につなげることが求められています。



魅力ある十勝の「食」と「農」



My とかち推進会議ロゴマーク

(3) 移住・交流

活力ある地域づくりを推進していくためには、地域の豊かな資源や優位性など十勝の魅力積極的に発信し、交流人口の拡大や移住促進につなげていく必要があります。

十勝では、十勝圏複合事務組合や各市町村において、関係機関との連携を図りながら移住、観光など地域情報の提供をはじめ、首都圏などでのプロモーション活動や相談体制の整備などを通して、圏域外からの移住・交流の促進に取り組んでいます。



日本橋の「ふるさと情報コーナー」
(十勝の観光・移住パンフレット等の展示)



首都圏での移住フェアの様子

5 圏域マネジメント分野

(1) 人材育成

地域主権型社会の進展や少子高齢化の進行をはじめとする社会・経済情勢の急速な変化に伴い、行政が担う範囲は拡大し、質的にも複雑・多様化しています。

こうした時代背景の中で、多様な地域資源を活用した圏域のさらなる発展を図るためには、自治体職員の企画・政策立案能力の向上や職員同士の交流関係を深めることが必要です。

このような認識のもと、平成21年度より、圏域職員が参加する職員研修を試行的にスタートしました。今後は、研修内容をより充実・発展させ、圏域全体のマネジメント能力を強化していくことが求められています。

■ 十勝圏における合同研修の取組（平成22年度）

研修名	実施方法	参加人数		
		町村	帯広市	合計
新規採用職員基礎研修	十勝町村会と帯広市の合同実施	87	58	145
モデル研修（4研修）	帯広市の研修に町村職員が参加	51	85	136

帯広市調べ



モデル研修



新規採用職員基礎研修



新規採用職員基礎研修（懇親会）

第3章 定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像

我が国を取り巻く社会経済環境は、人口減少社会の到来、少子高齢化の進行、経済のグローバル化、温暖化をはじめとする地球環境問題への意識など大きく変化しています。さらに、核家族化の進展やライフスタイルの変化など、住民の価値観が多様化する中、これまで地域を支えてきたコミュニティ機能の低下が懸念されています。

また、地域の自主性や自立性を高めるための改革が国において進められており、これからの自治体は、地域の様々な課題解決に向けて、自らの意思と責任で、住民と行政の協働により、地域の特色を活かした活力あるまちづくりを進めていくことが求められています。

こうした中、複雑多様化する課題に対応しながら、十勝が持続的に発展していくため、帯広市と十勝 18 町村は、それぞれ 1 対 1 で協定を締結し、十勝定住自立圏を形成しました。

今後は、この協定のもと、中心市である帯広市は、圏域全体の暮らしを視野に入れて必要な都市機能の整備を進め、各町村は、それぞれが有する資源や特性、産業、文化などの保持・向上を図るなど、19 市町村が役割を分担しながら相互に連携し、十勝の魅力を国内外に発信していく必要があります。

十勝は、北を大雪山系、西を日高山脈、東を白糠丘陵と三方を山に囲まれ、南は太平洋に面し、内陸部には十勝川水系などの清流や広大で肥沃な十勝平野が広がり、四季折々の美しい風景と美味しい水や空気に恵まれています。この多様で豊かな自然環境を基盤として農林水産業が発展し、特に農業は、関連産業などの集積により、日本最大の食料基地としてゆるぎない地位を確立しています。

また、この地域には、開拓以来、先人から受け継がれてきた不屈のフロンティア精神と社会的経済的に深い結びつきのもとに一体的に発展してきた歴史があります。

この十勝の「強み」を最大限に活かし、19 市町村が農畜産物の高付加価値化や自然エネルギーの活用、観光の広域化などをすすめることで、十勝のさらなる発展と魅力の向上を図るとともに、保健・医療、福祉、教育、地域公共交通など様々な分野で連携することにより、子どもからお年寄りまで、安全で安心して豊かに暮らせる社会を築きあげ、誰もが住みたい、住み続けたいと思える十勝を目指します。



第4章 協定に基づき推進する具体的取組

1 取組項目一覧

分野	分類	取組項目
1 生活機能の強化に係る政策分野		
	1. 医療	(1) 救急医療体制の確保
		(2) 地域医療体制の充実
	2. 福祉	(1) 地域活動支援センターの広域利用の促進
		(2) 保育所の広域入所の充実
	3. 教育	(1) 図書館の広域利用の促進
		(2) 生涯学習の推進
	4. 産業振興	(1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進
		(2) フードバレーとかちの推進
		(3) 企業誘致の推進
		(4) 中小企業勤労者の福祉向上
		(5) 広域観光の推進
		(6) 農業振興と担い手の育成
		(7) 鳥獣害防止対策の推進
	5. 環境	(1) 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築
	6. 防災	(1) 地域防災体制の構築
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野		
	1. 地域公共交通	(1) 地域公共交通の維持確保と利用促進
	2. 地産地消の推進	(1) 地産地消の推進
	3. 移住・交流の促進	(1) 移住・交流の促進
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		
	1. 人材育成	(1) 職員研修及び圏域内人事交流

2 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

① 救急医療体制の確保

【形成協定の内容】

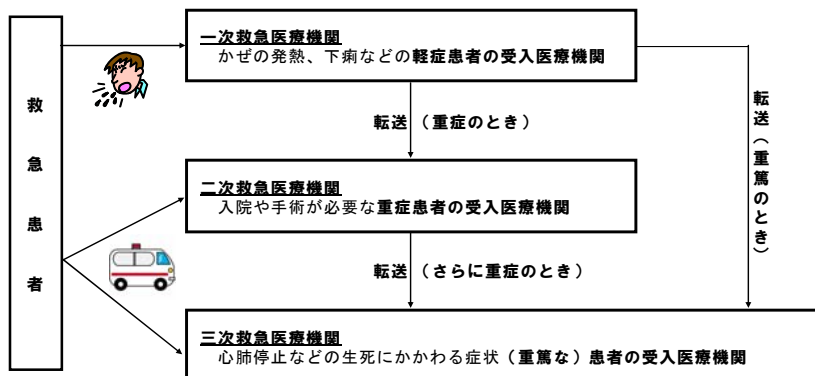
圏域の救急医療体制を確保するため、圏域唯一の三次救急医療機関である救命救急センターの維持・充実を図るとともに、患者の症状に応じた適切な医療機関の利用の啓発に努めます。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<p>●救命救急センターの維持・充実 重症救急患者や複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対する救急医療を提供する救命救急センターの維持・充実に必要な協力や支援を行います。</p> <p>●救急医療に関する普及・啓発 患者の症状に応じた適切な医療機関の利用や応急措置の方法などについて、住民への啓発を行います。</p>					
取組効果	<p>○圏域唯一の三次救急医療機関である救命救急センターの安定的な運営により、重症患者などに対する医療体制が確保されます。</p> <p>○適切な救急医療機関の利用により、圏域内の二次・三次救急医療機関の負担軽減が図られます。</p>					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターに対して、必要な協力及び支援を行います。 適切な救急医療機関の利用について、住民への啓発を行います。 				
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターに対して、必要な協力及び支援を行います。 適切な救急医療機関の利用について、住民への啓発を行います。 				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	12,900	12,896	12,896	12,896	12,896	64,484

○救急医療体制の流れ

救急医療体制は、患者さんの症状などにより次のような流れになっています。



② 地域医療体制の充実

【形成協定の内容】

圏域の地域医療体制の充実を図るため、圏域内における医療従事者の確保に努めるとともに、圏域が抱える地域医療の課題解決に向けた検討を進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<p>●帯広高等看護学院の広域運営 圏域内における看護師を確保するため、帯広高等看護学院の広域連携による運営を継続するとともに、必要な協力を行います。</p> <p>●地域医療の課題解決に向けた検討 医師や看護師不足など圏域が抱える地域医療の課題解決に向けた検討を進めるため、検討会議を開催します。</p>					
取組効果		<p>○自治体の広域連携による看護師の養成により、圏域内に必要な看護師の確保につながります。</p> <p>○圏域が抱える様々な地域医療課題に対して、地域一丸となって取り組むことにより、課題の解決が促進されます。</p>					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広高等看護学院に対する運営費の負担や必要な協力を行います。 ・検討会議を主催し、地域医療の課題解決に向け、関係町村と連携して検討を進めます。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広高等看護学院に対する運営費の負担や必要な協力を行います。 ・地域医療の課題解決に向け、帯広市と連携して検討を進めます。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		71,000	84,439	84,439	84,439	84,439	408,756



帯広高等看護学院の実習の様子



帯広高等看護学院の戴帽式の様子

(2) 福祉

① 地域活動支援センターの広域利用の促進

【形成協定の内容】

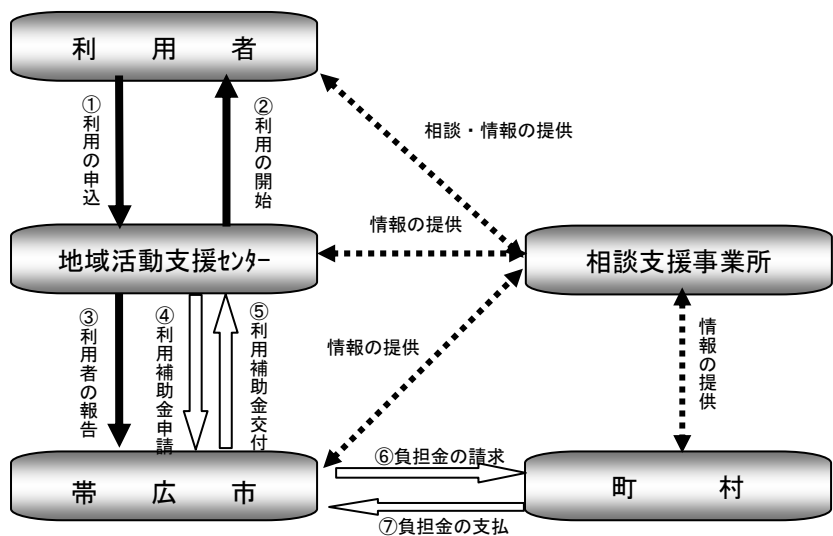
障害者の自立と社会参加の促進を図るため、地域活動支援センターの広域利用を進めます。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<p>●地域活動支援センターの広域利用</p> <p>各市町村に設置されている様々な特色を持つ地域活動支援センターの情報を提供し、施設の広域的な利用を促進します。</p>					
取組効果	<p>○施設の広域利用により、障害者等に多様な活動の場（創作的活動、生産活動等）を提供することが可能になるとともに、生活圏の拡大や地域社会とのさらなる交流が促進されます。</p>					
役割分担	帯広市	<p>・地域活動支援センターの広域利用に関する情報提供を行うとともに、広域利用に関する助言や調整等を行います。</p>				
	関係町村	<p>・地域活動支援センターの広域利用に関する情報提供を行います。</p>				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	17,720	16,988	16,988	16,988	16,988	85,672

地域活動支援センター利用の流れ

○町村の障害者が帯広市の地域活動支援センターを利用する場合



※ 帯広市の障害者が町村の地域活動支援センターを利用する場合は、「帯広市」と「町村」が逆になります。

② 保育所の広域入所の充実

【形成協定の内容】

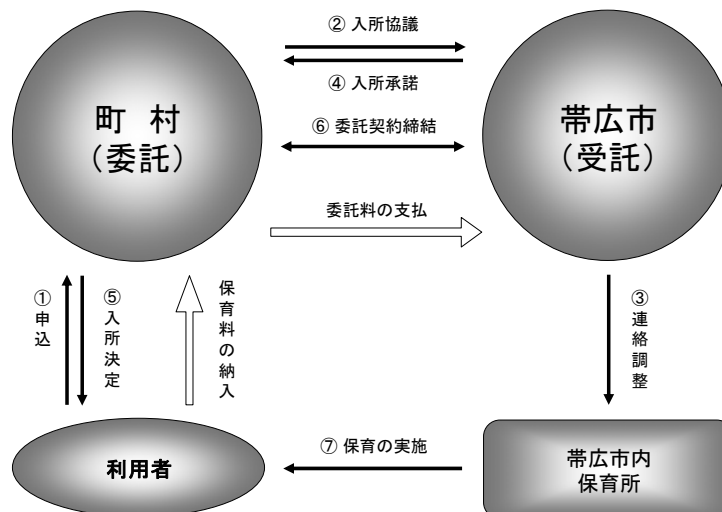
日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応した保育所の広域入所など圏域の子育て支援の取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	●保育所の広域入所の充実 市町村相互の広域入所に関する連携に努めるとともに、子育て支援センターなどによる子育て支援の取り組みを進めます。					
取組効果	○日常生活圏の拡大や多様化する住民ニーズに対応することにより、子育てに対する不安の解消や育児と仕事の両立が図られます。					
役割分担	帯広市	・関係町村との協議により、要保育児童の相互受入を行います。				
	関係町村	・帯広市と協議により、要保育児童の相互受入を行います。				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度 4,923	H24年度 5,103	H25年度 4,656	H26年度 4,656	H27年度 4,656	合計 23,994

広域入所の手続の流れ

○町村の児童が帯広市の保育所に入所する場合



※他町村に帯広市の児童の入所を依頼する場合は、委託と受託が逆になります。

(3) 教育

① 図書館の広域利用の促進

【形成協定の内容】

図書館の広域利用を促進するため、図書館相互の連携を強化します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ●図書館の相互連携の強化 圏域の郷土資料や行事情報などの図書館情報を集約して住民に提供するほか、統一キャンペーンなどを行います。 ●合同研修会等の開催 合同研修会を開催するなど、図書館職員の交流や能力向上の取組みを促進します。 					
取組効果		<ul style="list-style-type: none"> ○住民が情報を取得する機会や選択肢が増えることにより、利用者の利便性が向上します。 ○圏域の図書館全体のサービス向上が図られます。 					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の連携強化に関する総合的な調整を行います。 ・圏域の図書館情報を住民に提供します。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市と連携して、図書館の連携強化に取り組みます。 ・圏域の図書館情報を住民に提供します。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		818	813	813	813	813	4,070



広域キャンペーンの実施



サービス向上のための研修会の開催



図書館情報の集約と提供

② 生涯学習の推進

【形成協定の内容】

圏域住民の生涯学習を推進するため、生涯学習施設の利用を促進します。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的な施設情報の提供 生涯学習施設の利用案内や催事、講演会等の総合的な情報を共有し、ホームページなどを通じて住民に提供します。 ●圏域住民を対象とした事業の実施 圏域住民を対象としたスポーツや文化活動などの教室、講座等を開催します。 					
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ○住民が生涯学習施設の情報を取得する機会や催事等へ参加する機会が拡大されます。 ○圏域の生涯学習施設の利用が促進されます。 					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の生涯学習施設の情報を住民に提供します。 ・圏域住民を対象にした教室、講座等の開催や情報提供について、関係町村と連携して取り組みます。 				
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の生涯学習施設の情報を関係町村の住民に提供します。 ・圏域住民を対象にした教室、講座等の開催や情報提供について、帯広市と連携して取り組みます。 				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	119,376	113,314	112,061	109,111	112,061	565,923



圏域住民を対象にしたスポーツ教室の開催



特徴的な施設の広域利用
(陸別町の銀河の森天文台)

圏域住民を対象にした講座の開催



(4) 産業振興

① 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進

【形成協定の内容】

財団法人十勝圏振興機構や関係機関と連携して、農商工・産学官連携事業を推進するとともに、十勝圏域における地域ブランド（十勝ブランド）確立のため、PR事業などの取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<p>●農商工・産学官連携の推進</p> <p>財団法人十勝圏振興機構（とち財団）や関係機関と連携して、十勝に優位性がある農畜産物などの地域資源を活用した農商工・産学官連携事業（新商品・新技術開発、人材育成事業、異業種交流事業など）を推進します。</p> <p>●十勝ブランドの確立</p> <p>十勝圏域における地域ブランド（十勝ブランド）の確立に向けて、PR事業などの取り組みを行います。</p>					
取組効果		<p>○オール十勝が関与するととち財団との連携をより強化した「地域ブランドづくり」を行うことにより、農畜産物などの付加価値の向上が図られます。</p> <p>○市町村毎に特色のある一次産品等を「十勝」の統一名で連携することにより、訴求力がより高まることが期待されます。</p>					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・とち財団など関係機関との連絡調整を図るとともに、農商工・産学官連携事業を推進します。 ・地域ブランドの確立に向けた取り組みを関係町村と連携して行います。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・とち財団など関係機関と連携し、農商工・産学官連携事業を推進します。 ・地域ブランドの確立に向けた取り組みを帯広市と連携して行います。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		216,535	214,097	203,348	202,974	202,901	1,039,855



「とち財団」が担う役割



乳製品のブランドイメージの強い「十勝」ではナチュラルチーズづくり講習会の開催も盛ん

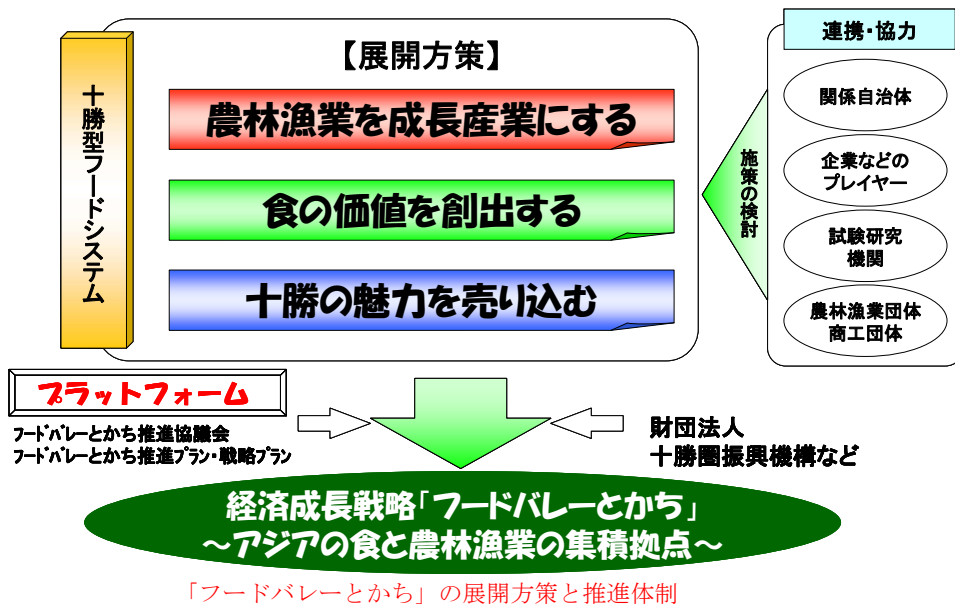
② フードバレーとかちの推進

【形成協定の内容】

農林水産業や食を柱とする地域産業政策「フードバレーとかち」を、圏域全体で推進します。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<p>●「フードバレーとかち」の推進</p> <p>1, 100%の食料自給率や農業関連試験研究機関の集積など、十勝が開拓以来培ってきた地域特性を活かして、「農林水産業」や「食」を柱とした地域産業政策である「フードバレーとかち」をオール十勝で推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フードバレーとかち」を推進する協議会の設置・運営 <u>(地元企業や金融機関等との連携促進など)</u> ・基本方向や展開方策を定めた「推進プラン」の策定・<u>推進</u> ・具体的な考え方や主な取り組みを例示する「戦略プラン」の策定・<u>推進</u> 					
取組効果	○「フードバレーとかち」の推進により、十勝の特性を活かした産業振興をオール十勝で連携して進める環境が整い、地域産業の活性化に貢献します。					
役割分担	帯広市	・協議会を設置・運営するとともに、「フードバレーとかち」に関する取り組みを関係町村と連携して推進します。				
	関係町村	・協議会に参画するとともに、「フードバレーとかち」に関する取り組みを帯広市と連携して推進します。				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	4,093	4,093	4,093	4,093	4,093	20,465



③ 企業誘致の推進

【形成協定の内容】

首都圏などの企業への発信力を高めるため、圏域が一体となった企業立地PRを行うとともに、圏域への誘致を実現するための連携体制を構築します。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域が一体となった誘致活動の実施 圏域全域を対象としたパンフレットや連携事業などにより、首都圏などの企業に対する誘致活動を行います。 ●連携体制の構築に向けた検討 十勝に2つある地域活性化協議会の連携体制構築に向けた検討を進めます。 					
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ○農業や食に優位性のある「十勝」の圏域性をアピールすることにより、特に食関連企業などの誘致につながります。 ○連携体制の構築により、単独では実施が難しい事業実施が可能になるとともに、「圏域内競争」ではなく「圏域間競争」といった視点で自立した地域づくりにつながることを期待されます。 					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の集約や連絡調整を行います。 ・連携体制の構築に向けた圏域全体の調整を行います。 				
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の集約等に協力します。 ・連携体制の構築に向け、帯広市と連携して取り組みます。 				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	3,740	3,521	3,565	—	—	10,826



帯広十勝地域産業活性化協議会、とちかち田園活性化協議会合同で「十勝」の魅力をアピール
(2010年企業誘致フェア)



企業誘致の商談中

④ 中小企業勤労者の福祉向上

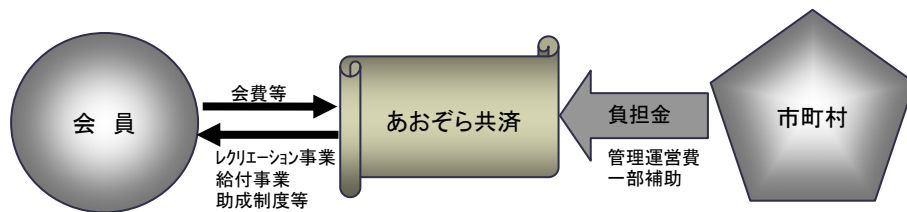
【形成協定の内容】

とち勤労者共済センターが実施する福利厚生事業の実施に対する必要な支援を行うとともに、中小企業の加入促進に向けた取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<p>●とち勤労者共済センターへの支援と加入促進</p> <p>中小企業者の福利厚生事業を行う「とち勤労者共済センター」に対して、当該市町村の企業加入実態等に応じた必要な負担を行うとともに、中小企業の加入促進に向けた取り組みを進めます。</p>					
取組効果	○地域の雇用の受け皿となっている中小企業における労働環境の改善により、雇用の定着が図られ、地域の経済振興が図られます。					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村で構成する連絡協議会を主催するとともに、必要な費用負担を行います。 ・企業に対して加入を促進します。 				
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会に参加するとともに、必要な費用負担を行います。 ・企業に対して加入を促進します。 				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	64,493	47,580	47,593	47,593	47,593	254,852

とち勤労者共済センターのしくみ



⑤ 広域観光の推進

【形成協定の内容】

十勝観光連盟をはじめとする観光関連団体と連携してイベントなどを行うとともに、観光案内所やコンベンション施設、体験観光など広域観光に関する情報の共有や取り組みの充実を図ります。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ● イベント等の実施 十勝観光連盟など観光関連団体と連携して、イベントや観光PRなどを行います。 ● 観光情報の発信 観光案内所やコンベンション施設、体験観光など広域観光に関する情報を集約して、十勝の観光情報を一体的に発信します。 ● 観光客が周遊しやすい環境の構築 観光案内所の充実を図るなど観光客が周遊しやすい環境づくりを進めます。 					
取組効果		○広域観光の推進により、効率的な事業の実施や情報発信が可能となります。また、情報の共有により新たな観光資源の開発や周遊ルートの造成を推進することができます。					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広観光コンベンション協会と十勝観光連盟の連携を強化します。 ・連携事業の企画や各種イベント情報などの集約や調整を行います。 ・観光客が周遊しやすい環境づくりを進めるとともに、周遊ルートの開発や圏域の観光情報を周知します。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝観光連盟の事業に参画します。 ・連携事業の提案や各種イベント情報の集約に協力します。 ・観光客が周遊しやすい環境づくりを進めるとともに、観光資源の開発や圏域の観光情報を周知します。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		300,799	316,422	302,535	296,535	291,935	1,508,226



秋のワイン祭り（池田町）



しかりべつ湖コタン（鹿追町）

⑥ 農業振興と担い手の育成

【形成協定の内容】

営農技術の向上や防疫対策など農業振興に関する広域的な取り組みを進めるとともに、地域の担い手を育成するため、合同研修会などを開催します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ● 農業振興に関する広域的な取り組みの実施 営農技術の向上、防疫対策など農畜産業の課題に関する情報を集約し、農業者への普及や啓発を行います。 ● 地域の担い手の育成 地域の担い手を育成するため、圏域内の農業者による合同研修会を開催します。 					
取組効果		○広域的な取り組みにより、農業者の技術向上などの機会の拡大や相互交流が促進され、農業の振興や担い手の育成が図られます。					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興に関する情報を集約し、関係機関との連絡調整を図るとともに、農業者に対する普及、啓発を行います。 ・ 合同研修会の開催に関する総合調整を行います。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興に関する情報を帯広市に提供するとともに、農業者に対する普及、啓発を行います。 ・ 合同研修会の開催に関して、帯広市と連携して取り組みます。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		153,805	166,570	138,589	134,419	130,809	724,192



小麦の収穫



牧場の風景

⑦ 鳥獣害防止対策の推進

【形成協定の内容】

被害情報や出没情報など、圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を行い、効率的・効果的な駆除を推進します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<p>●鳥獣の駆除 鳥獣被害や出没情報などをメールやファックスを活用し、市町村や関係機関が共有できる仕組みを構築するとともに、共有情報を活用した駆除を行います。<u>また、有害鳥獣の越境捕獲を可能とする承諾等の締結を進めます。</u></p> <p>●捕獲個体の適切な処理の検討 エゾシカやヒグマなど捕獲個体の効率的な処理方法について、検討を行います。</p>					
取組効果		○鳥獣被害や出没情報の共有化や処理方法の検討により、効率的・効果的な駆除が可能となります。					
役割分担	帯広市	・鳥獣害防止対策などに関する情報交換や検討を行い、関係町村と調整を図るとともに、対象鳥獣の駆除を行います。					
	関係町村	・鳥獣害防止対策などに関する情報交換や検討を行い、対象鳥獣の駆除を行います。					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		127,062	112,022	93,932	89,932	89,932	512,880



ヒグマによる農作物被害



エゾシカ

(5) 環境

① 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築

【形成協定の内容】

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減や吸収に寄与する地域の特色を活かした様々な取り組みを行い、圏域全体で地球温暖化対策を推進し、低炭素社会の構築を目指します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<p>●環境意識の啓発 圏域における住民の環境意識や環境行動につなげるため、講演会やパネル展の実施、環境家計簿の普及、マイカーの利用削減などの啓発事業を行います。</p> <p>●再生可能エネルギー利用促進・省エネルギー機器の導入促進 圏域内における太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への太陽光発電システム等の率先的な導入 ・一般住宅等への太陽光発電システム等の導入支援 ・道路照明灯等への省エネ機器の導入促進 					
取組効果		<p>○圏域住民の環境問題に対する意識の向上と共有を図ることにより、ライフスタイルの転換など環境行動を促し、家庭部門からの二酸化炭素排出量の減少につなげます。</p> <p>○地域資源を活用した再生可能なエネルギーの導入や、省エネ化を進めることにより、圏域における温室効果ガスの削減が図られます。</p>					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・関係町村から提供された情報や帯広市の先駆的な取り組みについて、圏域内に情報発信します。 ・低炭素社会の構築に向けた取り組みを関係町村と連携して行います。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・関係町村における取り組み情報を帯広市に提供します。 ・低炭素社会の構築に向けた取り組みを帯広市と連携して行います。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		376,209	364,954	364,337	295,662	280,441	1,681,603



公共施設への太陽光パネルの設置



街路灯の省エネ化

(6) 防災

① 地域防災体制の構築

【形成協定の内容】

圏域の防災力の向上を図るため、大規模災害発生時における相互応援体制を構築します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<p>●市町村の相互応援体制の整備 圏域内において、市町村単独では対応することのできない大規模災害が発生した場合に、相互応援協定に基づき、災害備蓄品や避難施設の提供、職員の派遣など相互応援を行います。</p> <p>●防災体制の充実 災害に備え、各市町村における防災体制の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡系統図の整備 ・災害備蓄品の整備・確保 ・災害・緊急時の広報・通信体制の充実 ・自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成 ・避難場所として指定されている施設の耐震化の推進 ・災害時の連携・支援活動の円滑な実施に向けた研究・検討 					
取組効果		○市町村単独では対応できない大規模災害に対して、相互の応援により、被害を最小限に食い止めることができるなど圏域全体の防災力の向上が図られます。					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時における相互応援体制を整備します。 ・防災体制の充実に努めます。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時における相互応援体制を整備します。 ・防災体制の充実に努めます。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		35,514	402,592	98,921	95,392	94,792	727,211

《参考》 現在の締結協定

災害時等における北海道及び市町村相互の応援に関する協定(平成20年6月10日締結)

～趣旨～

北海道と各市町村の長から協定の締結について委任を受けた北海道市長会長及び北海道町村会長は、災害時等における北海道及び市町村相互の応援に関し、協定したものであり、道内において災害等が発生し、被災市町村のみでは十分な応急措置を実施できない場合において、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第67条第1項及び第68条第1項の規定に基づく道及び市町村相互の応援を円滑に遂行するために必要な事項を定めている。

3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通の維持確保と利用促進

【形成協定の内容】

圏域住民の移動手段の確保や利便性の向上を図るため、生活交通路線の維持確保と利用促進の取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<p>●生活交通路線の維持確保と利用促進</p> <p>バス交通の維持・確保を図るための協議・協力体制を継続し、乗降調査やアンケート調査などにより利用実態の把握や分析を行うとともに、モビリティ・マネジメント（※）の推進や観光資源の活用など利用促進策を検討し、必要な事業を実施します。</p>					
取組効果		<p>○生活交通路線の維持により、高齢者や学生など自動車を運転することのできない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保されます。</p> <p>○交通ネットワークの維持により、帯広市の病院、学校、商業施設など都市機能を広域的に利用することができます。</p>					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> 関係町村の住民の利用が多く見込まれる帯広市内の病院、高校などへの路線や市内バス路線網の利便性の向上を図ります。 バス路線の維持・確保を図るため、各町村と連携し、バスの利用実態の把握・分析やバス運行について協議を行います。 バス路線毎に実施する利用促進策を各町村と連携し推進するとともに、住民への利用促進の啓発活動などを行います。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> バス路線の維持・確保を図るため、各市町村と連携し、バスの利用実態の把握・分析やバス運行について協議を行います。 バス路線毎に実施する利用促進策を各市町村と連携し推進するとともに、住民への利用促進の啓発活動などを行います。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		256,489	253,320	275,820	279,813	281,689	1,347,131

(※) 地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み（国土交通省）



環境に優しいBDFバス



利用促進の取組事例（帯広市 環境問題教室）

(2) 地産地消の推進

① 地産地消の推進

【形成協定の内容】

消費者が圏域の地産地消情報を入手できる環境を整備するとともに、関係機関と連携した取り組みを展開し、地産地消を推進します。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	●地産地消の推進 圏域の地産地消に関するイベントや生産者の情報を消費者に提供するとともに、イベントなどを連携して行います。					
取組効果	○消費者に地産地消に関する取り組みやイベント情報を発信することにより、消費者と生産者の交流促進や食の安全・安心、消費拡大につながり、地産地消の推進が図られます。					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消情報の集約や関係機関などとの総合調整を行うとともに、住民への情報提供を行います。 地産地消に関するイベントなどを関係町村と連携して取り組みます。 				
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消情報を帯広市に提供するとともに、圏域の地産地消情報を住民に提供します。 地産地消に関するイベントなどを帯広市と連携して取り組みます。 				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	201,183	130,956	2,772,988	2,282,278	37,278	5,424,683



おはよう朝市

(3) 移住・交流の促進

① 移住・交流の促進

【形成協定の内容】

圏域の移住関連情報を一体的に発信し、移住・交流を促進します。

【具体的な取組】

関係市町村	全市町村					
取組概要	<p>●移住関連情報の一体的な発信</p> <p>帯広市東京事務所、とから帯広空港、ばんえい競馬場などに関係町村が作成した移住パンフレットを設置し、圏域の移住関連情報を一体的に発信します。</p>					
取組効果	<p>○圏域の魅力や移住関連情報を一体的に発信することにより、十勝を効果的にPRできるほか、移住希望者などが圏域の移住情報等を幅広く入手できるようになり、移住・交流の促進が期待できます。</p>					
役割分担	帯広市	・帯広市東京事務所など帯広市の都市機能を活用し、圏域の移住関連情報を一体的に発信します。				
	関係町村	・帯広市の都市機能の活用や各種事業などを通して、関係町村の移住関連情報を発信します。				
事業費見込 (単位：千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	121,885	149,457	147,714	147,204	99,603	665,863



帯広市東京事務所の
パンフレットコーナー



J R帯広駅の観光情報センター

4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

① 職員研修及び圏域内人事交流

【形成協定の内容】

圏域内市町村職員の資質向上や人的ネットワークの構築を図るため、職員研修を合同で実施するとともに、圏域内人事交流を行います。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村					
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ●職員研修の合同実施 圏域内の職員研修を帯広市と関係町村が合同で実施します。 ●圏域内人事交流 帯広市と関係町村間で人事交流を行います。 					
取組効果		○圏域内の職員との合同研修や人事交流を通じて、職員の能力向上はもとより、人的ネットワークの構築や地域の連帯・連携が図られます。					
役割分担	帯広市	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の企画立案を担うほか、関係町村に対して研修への参加機会を提供します。 ・圏域内人事交流の実施に関して、関係町村との調整を行います。 					
	関係町村	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修に職員を参加させるとともに、費用の一部を負担します。 ・圏域内人事交流に関して、帯広市との調整を行います。 					
事業費見込 (単位：千円)		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
		7,924	16,825	16,825	16,825	16,825	75,224



職員研修の合同実施風景

附 属 資 料

- 1 共生ビジョン策定に当たっての意見
～共生ビジョン懇談会、パブリックコメント～
- 2 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
- 3 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿
- 4 共生ビジョン事業費一覧

1 共生ビジョン策定に当たっての意見 ～共生ビジョン懇談会、パブリックコメント～

本ビジョンの策定に当たり、十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会やパブリックコメントを通じて、多くの貴重なご意見をいただきました。

ご意見につきましては、関係市町村で協議の上、「修正」「既記載」「参考」「その他」の4区分に考え方を整理しました。このうち、「参考」とした意見につきましては、今後も関係市町村で検討を行い、定住自立圏の取り組みとして協議が整った場合には、共生ビジョンの見直しや協定事項の追加をするなど、取り組みをすすめていきたいと考えています。

【共生ビジョン懇談会委員意見】

共生ビジョン懇談会	第1回会議	平成23年7月13日（水）	
	第2回会議	平成23年7月28日（木）	
	第3回会議	平成23年9月 8日（木）	
意見の件数	49件		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	5件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	12件
	参考	今後の参考とするもの	16件
	その他	意見として伺ったもの	16件

【パブリックコメント意見】

案 件 名	十勝定住自立圏共生ビジョン（原案）		
募 集 期 間	平成23年8月3日（水）～平成23年9月2日（金）		
意見の件数 （意見提出者数）	8件（4人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	6件
意見の受け取り	電子メール		人
	郵送		1人
	ファクシミリ		1人
	直接持参		2人

1. 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員からの意見

意見の概要	意見に対する考え方
<p>1【1-1 医療】 救急医療や検診など帯広市に患者が流入している現状を踏まえて、周辺町村だけでも構わないので、連携関係の構築をすすめるべきではないか。</p>	<p>【既記載】 圏域が抱える地域医療の課題については、検討会議を開催して解決に向けた検討を行うこととしており、ご意見の趣旨を踏まえて、この会議の中で検討をすすめます。</p>
<p>2【1-1 医療】 地域医療支援センターの機能が効果的に発揮されるような運営の検討が必要ではないか。</p>	<p>【その他】 地域医療支援センターは、現在、特定の医療機関の連携により家庭医療、総合診療医、へき地医療などを目指す医師に対する研修を行い、幅広い技量を持つ総合診療医の育成を目的として運営されていることから、当該センターの運営に関する検討を行うことは難しいと考えます。 なお、圏域が抱える地域医療の課題については、検討会議を開催して解決に向けた検討を行うこととしています。</p>
<p>3【1-1-1 救急医療体制の確保】 救急搬送について、現場への到着時間やドクターとのホットラインなど、現状がどうなっていて、今後どのような展開を考えているのか。救急医療ではそこが一番重要なポイントではないか。</p>	<p>【その他】 救急搬送については、管内の各消防本部、医療機関、医師会、十勝総合振興局で組織する「十勝圏メディカルコントロール協議会」のもとで、ドクターとのオンラインによる指示体制や円滑に搬送できる体制づくりなどを構築しています。 なお、管内における現場への到着時間の平均は、全国平均（平成21年統計値）よりも早いものとなっており、今後も搬送体制の充実に努めます。</p>
<p>4【1-1-2 地域医療体制の充実】 医療スタッフ不足、特に町村では看護師不足が課題となっている。看護系大学も含め、その課題の解決に向けた検討が必要ではないか。</p>	<p>【既記載】 医師や看護師不足など圏域が抱える地域医療の課題については、検討会議を開催して解決に向けた検討を行うこととしています。</p>
<p>5【1-2 福祉】 地域活動支援センターやグループホームの設置など障害福祉について、市町村間で情報交換や職員の交流を行う協議・検討の場を設けてはどうか。</p>	<p>【その他】 障害福祉については、障害福祉サービス事業所をはじめとする各関係機関、市町村職員、十勝総合振興局などで構成する十勝生活支援ネットワーク会議などを開催し、様々な問題について情報交換を行っています。</p>
<p>6【1-2 福祉】 障害者が自立するためには、雇用の確保が重要であるが、小さな町村では企業が少なく困難である。企業が集積している帯広圏と連携した取り組みができないか。</p>	<p>【その他】 直接的な雇用先の紹介については、ハローワークの業務となっており、各自治体では、制度の説明や相談支援のほか、企業や住民に対する啓発などを行っています。 なお、障害福祉サービス事業所をはじめとする各関係機関、市町村職員、十勝総合振興局などで構成する十勝生活支援ネットワーク会議などを開催し、障害者の雇用に関しても情報交換を行っています。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>7【1-2 福祉】</p> <p>障害者の能力や適正を活かして地域で暮らすためには、利用可能な福祉サービスを提案し、事業者間の調整を行う相談支援事業の充実が不可欠である。「相談支援事業の広域実施」に取り組んではどうか。</p>	<p>【その他】</p> <p>平成24年度から、障害福祉に関する制度が改正され、「障害福祉サービス利用計画」の策定対象者が一部の障害者（児）から全障害者（児）に拡大されるとともに、計画策定後のモニタリング（評価）についても制度化される予定です。</p> <p>こうした制度の拡充により、今後は、全ての障害者（児）に対する障害福祉サービスの利用の提案からその後のモニタリングまで一連の流れとなり、広域的なものを含め、事業者間の調整もよりスムーズに行われることになると考えています。</p>
<p>8【1-2 福祉】</p> <p>帯広市は米国マディソン市との姉妹提携しており、その提携の中の大きな目的の一つが、広域のオープンな形の子育て支援のシステムを作っていく「マディソンモデル」を学ぶということがあり、少しずつ機能している。広域的な子育て支援のシステムとして取り組んではどうか。</p>	<p>【その他】</p> <p>現在、国で平成25年8月を目標にした新たな障害福祉制度の検討を行っており、精神障害分野における地域移行の促進についても協議されています。</p> <p>こうした制度改正の動きも注視しつつ、十勝生活支援ネットワーク会議などを活用し、マディソンモデルの仕組みや様々なケースなどの情報共有を図り、精神障害者の地域生活への移行をすすめていきたいと考えています。</p>
<p>9【1-2-2 保育所の広域入所の充実】</p> <p>卒園間近の時期に近隣の市町村に転居した場合、せめて卒園まではこれまで通っていた保育園に通わせたいのが保護者の願いである。児童福祉の観点から弾力的な運用ができないか。</p>	<p>【既記載】</p> <p>子育て支援の取り組みをすすめるため、市町村相互の広域入所に関する連携に努めることとしています。</p> <p>なお、実際の制度運用にあたっては、その都度、市町村間で協議を行います。</p>
<p>10【1-3-2 生涯学習の推進】</p> <p>国、道の施設を含め、各市町村にどのような施設があり、どのような役割を果たしているのかを検証して、どのような連携ができるのかを考えていく必要があるのではないか。</p>	<p>【参考】</p> <p>生涯学習施設は、市町村をはじめ、国・道・民間など様々な団体により設置されています。</p> <p>これらの施設設置者と連携して総合的な情報を圏域住民に提供することは、生涯学習を推進する上で有効であると考えており、今後、情報の共有や提供などについて検討をすすめます。</p>
<p>11【1-3 教育】</p> <p>社会教育に関する連携も必要だが、学校教育に関して十勝独自の取り組みが必要ではないか。</p>	<p>【その他】</p> <p>学校教育に関わる広域連携については、教員研修などをすすめており、これまでの枠組みにおいて取り組みを継続・充実していきたいと考えています。</p>
<p>12【1-4-1 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】</p> <p>十勝ブランドを世界に通用するブランドとするためには、高付加価値、高品質であることの証明が求められる。認証機構の整備などブランドの確立に向けた仕組みづくりが必要ではないか。</p>	<p>【参考】</p> <p>十勝のブランドに関する認証機構は、既に財団法人十勝圏振興機構を事務局とした「十勝ブランド認証機構」が整備されていますが、「ブランド」には多様な側面があり、同機構以外にも、様々なブランド確立の取り組みが行われています。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、ブランド形成に関する取り組みの参考とします。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>13【1-4-1 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】</p> <p>十勝には、力のある商品が数多くあるのにPRが下手である。それは、19市町村がバラバラにやっているため、十勝ブランドの確立に向けては、十勝が一体となって取り組むことが必要ではないか。</p>	<p>【既記載】</p> <p>地域ブランド(十勝ブランド)の確立に向けては、オール十勝で取り組みをすすめることとしています。</p>
<p>14【1-4-1 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】</p> <p>農商工・産学官連携に消費者ニーズを生かす視点を明確にして、売れるものをつくる原点を起点とする取り組みが必要ではないか。</p>	<p>【参 考】</p> <p>商品の販路拡大には、消費者ニーズに基づくものづくりが最も必要な視点と考えています。事業者においてはそうした取り組みをすすめており、ご意見の趣旨は、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>15【1-4-1 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】</p> <p>【1-4-2 フードバレーとかちの推進】</p> <p>農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進とフードバレーとかちの推進は、同じ括りでも良いのではないか。取り組みが類似し、方向も同じと思われる。</p>	<p>【その他】</p> <p>「フードバレーとかち」は、協議組織を設置して、推進プラン・戦略プランを策定しながら、地域の産業政策として農業、商業、工業、観光の横断的な連携をすすめることを予定していることから、別の項目にしています。</p>
<p>16【1-4-3 企業誘致の推進】</p> <p>企業誘致は、取り組みがマンネリ、モノづくりと食産業化のリンク誘致活動などのニーズの把握と実行性ある誘致活動へすすめる段階ではないか。</p>	<p>【既記載】</p> <p>オール十勝での取り組みをすすめる上では、十勝の優位性である「農業」「食」がキーワードになると考えており、こうした圏域性をアピールして、特に食関連企業などの誘致につなげることとしています。</p>
<p>17【1-4-3 企業誘致の推進】</p> <p>企業誘致のために、インキュベート機能を備えた産業振興センターの設置を提案したい。</p>	<p>【参 考】</p> <p>十勝産業振興センターへのインキュベート機能の整備については、過去にも検討された経緯もあり、ご意見の趣旨は、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>18【1-4-4 中小企業勤労者の福祉向上】</p> <p>中小企業勤労者の福祉向上を産業振興へ位置づけることに違和感がある。基本的には雇用・福祉として整理するのが良いのではないか。</p>	<p>【その他】</p> <p>勤労者の福祉向上の取り組みは、地域の雇用の受け皿となっている中小企業における労働環境が改善され、雇用の定着につながり、地域経済の発展や産業の振興に寄与するものであるとの考えから、産業振興の一環として整理しています。</p>
<p>19【1-4-5 広域観光の推進】</p> <p>十勝らしい自然を活かした景観づくり、特に川と植樹を活かした景観づくりに十勝をあげて取り組んではどうか。</p>	<p>【参 考】</p> <p>十勝の雄大な自然や景観は、他地域にはない観光資源の一つであり、管内のビューポイントなどの情報を集約し、観光情報を一体的に発信することとしています。ご意見の趣旨は、今後の取り組みの参考とします。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>20【1-4-5 広域観光の推進】 農業体験や牧場体験など十勝ならではのメニューを売りにして、教育旅行、修学旅行の誘致に向けたPRに取り組んではどうか。</p>	<p>【既記載】 農業体験や牧場体験などの体験観光については、情報収集や発信を行うこととしており、修学旅行の誘致などについてもこうした取り組みの一環として行います。</p>
<p>21【1-4-5 広域観光の推進】 東十勝でホーストレッキング（ロングトレイル）の事業を推進してきている。この事業を共生ビジョンに掲載できないか。</p>	<p>【既記載】 広域観光に関しては、十勝観光連盟など観光関連団体と連携して、様々なイベントや観光PRを行うこととしており、ホーストレッキングについても、こうした取り組みの一環として行います。</p>
<p>22【1-4-5 広域観光の推進】 管内イベントを把握し、重複しない開催調整が必要である。</p>	<p>【既記載】 広域観光に関しては、情報を集約して十勝の観光情報を一体的に発信することとしており、ご意見の趣旨は、こうした取り組みの中で検討していきます。</p>
<p>23【1-4-5 広域観光の推進】 ツアー誘致のためエクスカージョンの展開と十勝を一元化したコンベンションセンターの設置を図り、十勝の観光拠点に誘致した客を周遊させる戦略が必要である。</p>	<p>【既記載】 広域観光に関しては、観光案内所の充実を図るなど、観光客が周遊しやすい環境づくりをすすめることとしており、ご意見の趣旨は、こうした取り組みの中で検討していきます。</p>
<p>24【1-4-6 農業振興と担い手の育成】 農業の担い手の育成には、農業者だけでなく、他の産業などもっと幅広い交流が必要ではないか。また、消費者重視の視点を取り入れた育成カリキュラムを作る必要があるのではないか。</p>	<p>【参考】 地域の担い手を育成するため、圏域内の農業者による合同研修会を開催することとしており、ご意見の趣旨は、この研修カリキュラムを作成する際の参考とします。</p>
<p>25【1-4-6 農業振興と担い手の育成】 新規参入者の誘発も必要で、そのためのシミュレーション農場（自立研修）や住居・農業技術・資金制度など支援機能の充実を図るべきではないか。</p>	<p>【参考】 農業へ新規参入者に対しては、各市町村において様々な支援制度を行っており、ご意見の趣旨と方向性は同じものと考えています。 市町村間の連携については、経費負担など条件整備が必要なことから、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>26【1-4-6 農業振興と担い手の育成】 付加価値のある新規作物への取り組み支援や広域での作物ブランド化により質・量で市場形成を図り、輸出できるブランド化をすすめるべきではないか。</p>	<p>【参考】 新規作物については、各市町村や各JAがそれぞれ取り組みをすすめており、これらを統一することについては様々な課題があることから、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>27【1-4-7 鳥獣害防止対策の推進】 捕獲個体が食用流通にのる付加価値づくりを併せて取り組みをすすめるべきではないか。</p>	<p>【参考】 捕獲個体を食肉として有効活用することは、個体数調整に結びつくことから重要な取り組みであると考えますが、食肉処理場への搬入などの課題もあり、今後の取り組みの参考とします。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>28【1-4 産業振興（雇用）】</p> <p>十勝型の高齢者構想を持つべき。高齢化が進む中で、生産人口の確保や健康増進の観点から、高齢者の雇用の場をつくる必要があるのではないか。</p>	<p>【参 考】</p> <p>雇用に関する市町村間の連携・協力については、継続的に協議することとしており、ご意見の趣旨は、今後の協議の参考とします。</p>
<p>29【1-4 産業振興（雇用）】</p> <p>雇用促進策として、雇用の受け皿の創出、職業訓練機能の充実、高等教育機関（大学、高等技専など）や職業高校の卒業生の地元就業確保対策など具体的な取り組みが必要ではないか。</p>	<p>【参 考】</p> <p>雇用に関する市町村間の連携・協力については、継続的に協議することとしており、ご意見の趣旨は、今後の協議の参考とします。</p>
<p>30【1-5-1 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】</p> <p>十勝の中でも、地域によって環境への意識に差があるのが現状である。地域間の交流を深めながら、人的環境をつくり上げていくことが必要ではないか。</p>	<p>【既記載】</p> <p>環境に関する意識の向上や地域間の温度差の解消を図るためには、環境意識の普及啓発が重要であると考えます。市町村相互の情報交換や情報発信をすすめ、個人の行動にもつなげていきたいと考えています。</p>
<p>31【1-5-1 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】</p> <p>再生可能エネルギーや省エネ機器の促進には民間の力を借りた宣伝PR活動を大々的に行うべきである。また、家庭での省エネの取り組みをPRするために学習会などをおこなってはどうか。低炭素社会の構築には、民間の力と家庭の力を借りることが必要である。</p> <p>これら環境イベントを十勝全域で展開する推進組織を立上げ、施策の企画立案や事業展開をすすめていくべきではないか。</p>	<p>【既記載】</p> <p>低炭素社会の構築をすすめるためには、民間事業者や一般家庭を巻き込んだ幅広い取り組みが必要です。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、意識啓発の取り組みや相互の情報交換の取り組みをすすめ、民間事業者や一般家庭の行動につなげていきたいと考えています。</p>
<p>32【1-5-1 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】</p> <p>再生可能エネルギーは実用化したものだけでなく、実用研究機能を十勝圏振興機構に付与し、産学官の試験研究の英知を結集する取り組みをすすめるべき。</p>	<p>【参 考】</p> <p>ご意見にあるような取り組みは、地域産業の振興にも寄与するものと想定され、重要な視点の一つであると考えます。ご意見の趣旨は、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>33【1-5-1 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】</p> <p>地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築に関する共生ビジョンの取組概要の記載は、ハード的な整備よりも環境意識の啓発の方が優先されるべきではないか。</p> <p>啓発活動の中には環境家計簿、ノーマイカーデー、公共交通の利用、自転車利用、節電、節水、クールビズ、ウォームビズなどたくさんの考えがあり、それらを記載した方が住民に意味が伝わるのではないか。</p>	<p>【修 正】</p> <p>省エネ活動などによる削減を行った上で、施設整備を行なうという考え方はご意見のとおりです。取組概要における記載順を入れ替え、その点をより明確にします。</p> <p>また、普及啓発に関しては、様々な取り組みがあり、住民への理解の浸透を図ることは重要であると考えます。ご意見の趣旨を踏まえ、普及啓発に係る事業の事例の一部を加筆します。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>34【1-5-1 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】</p> <p>交通負荷の軽減を図るため、官民一体となってノーマイカーデーを推進すべきではないか。</p>	<p>【修正】</p> <p>マイカーの使用に伴う二酸化炭素の排出抑制は、十勝における重要な課題と認識しており、ご意見の趣旨を踏まえ、普及啓発に係る事業の事例として加筆します。</p>
<p>35【1-5-1 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】</p> <p>大規模太陽光発電のために、農地を潰すのは、いかがなものか。</p>	<p>【その他】</p> <p>大規模太陽光発電の建設地は、未利用地での実施を検討しています。</p>
<p>36【1-6-1 地域防災体制の構築】</p> <p>十勝は広く、内陸の市町村には関係ないかもしれないが、太平洋側の4町村にとっては、地震が起きれば津波が来る。十勝全体の防災を考えるならば太平洋側のことも考慮すべきではないか。</p>	<p>【修正】</p> <p>大規模な災害に対応するためには、災害時の様々な状況を想定した支援・協力や各市町村の具体的な役割、図上訓練の実施などについて、平時から準備をすすめておく必要があります。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、災害時の連携・支援活動の実施に向けた研究・検討について加筆します。</p>
<p>37【1-6-1 地域防災体制の構築】</p> <p>実際に災害が発生した場合に、市町村がどのように連携し、支援をしていくのかについて、シミュレーションをすべきではないか。</p>	<p>【修正】</p> <p>大規模な災害に対応するためには、災害時の様々な状況を想定した支援・協力や各市町村の具体的な役割、図上訓練の実施などについて、平時から準備をすすめておく必要があります。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、災害時の連携・支援活動の実施に向けた研究・検討について加筆します。</p>
<p>38【1-6-1 地域防災体制の構築】</p> <p>災害時の医療体制について、特に町村において医師の確保が難しいことから、電話一本で対応できるような窓口が必要ではないか。</p> <p>また、災害の項目の中に、何らかの形で「医療」が入るべきではないか。</p>	<p>【参考】</p> <p>災害時における医療体制は、負傷者等への支援など住民の安心安全の確保につながることから、大変重要であると考えています。</p> <p>現在、災害時における医療支援については、道の防災計画や医療計画などに基づいて、救護所の設置や災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣など、関係機関が連携して対応することとなっています。また、十勝圏では、帯広厚生病院が災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院である「災害拠点病院」に指定されています。</p> <p>今後、定住自立圏として、災害時における医療支援について、どのような取り組みが考えられるのかについて、検討していきます。</p>
<p>39【1-6-1 地域防災体制の構築】</p> <p>防災については、十勝圏全体に連動する問題であり、連携が強く望まれる。十勝全体の民間団体を対象とした防災会議、研修会、自主防災会の連携会議など行政が企画してはどうか。</p>	<p>【参考】</p> <p>地域防災体制の構築に向け、十勝全体で取り組みをすすめることとしています。ご意見の趣旨を踏まえ、市町村間の連携づくりとして、研修会など取り組めるものからすすめていきたいと考えています。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>40【2-1-1 地域公共交通の維持確保と利用促進】 バス利用を促進する取り組みとして、圏域外の住民が気軽に路線バスを利用できるような観光の視点を入れた取り組みが必要ではないか。</p>	<p>【修正】 バス交通の維持確保や利用促進を図るためには、交通弱者の通院、通学、買い物のための移動手段としてだけではなく、圏域外の住民も対象とした観光の視点も取り入れ、利用促進策を推進する必要があるものと考えます。 ご意見の趣旨を踏まえ、観光資源を活用した利用促進について加筆します。</p>
<p>41【2-2-1 地産地消の推進】 生産者情報や消費者ニーズの対応関係が個対個の域を出ていないため、芽室の「愛菜屋」に代表されるように、生産者などの供給側が十勝集団として取り組める環境整備や支援が必要、情報を一元化しネット情報として生かしながら、消費者団体も地産地消の受け皿を整備し情報交流発信のシステム化が必要ではないか。</p>	<p>【参考】 地産地消については、圏域内の地産地消に関するイベントや生産者の情報を提供するとともに、イベントなどを連携して行うこととしています。 こうした取り組みをすすめながら情報交流の環境整備を行うことが必要であると考えており、ご意見の趣旨は、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>42【2-3-1 移住・交流の促進】 若い世代の移住を促進するため、ハローワークと連携を図っていくべきではないか。</p>	<p>【その他】 ハローワーク等との連携は、若年世代の移住促進に有用であると考えており、既に各市町村においてハローワークや帯広地域雇用創出促進協議会との連携を行っています。今後もこうした関係機関と連携を密にしながら移住を促進していきます。</p>
<p>43【2-3-1 移住・交流の促進】 移住した人の交流ネットワークを作り、移住情報の発信をしてもらってはどうか。</p>	<p>【参考】 移住の体験談を含め、移住者からの情報発信は、移住の促進に有用であると考えており、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>44【2-3-1 移住・交流の促進】 移住の促進には、移住者への支援制度や体験移住制度が有効なことから、そのような情報を一元化し、十勝として発信していくべきではないか。</p>	<p>【既記載】 移住を促進するため、圏域の移住情報を一体的に発信することとしており、移住情報には、各自治体を実施している移住者への支援制度や体験移住制度も含まれています。</p>
<p>45【2-3-1 移住・交流の促進】 移住の促進には、移住者への支援制度や体験移住制度が有効なことから、制度の差別化を図るべきではないか。</p>	<p>【その他】 移住の促進については、各市町村において様々な取り組みが行われています。ご意見の趣旨を踏まえ、今後もより効果的な制度について検討していきます。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>46【3-1-1 職員研修及び圏域内人事交流】</p> <p>現状の自治体間での交流や大企業への派遣では育成にならないと考えている。畜大で行っていた人材育成事業の内容が濃く非常にうまくいったが、自治体の職員が一人も参加していない。</p> <p>この後継的な事業については、自治体職員も参加し、官民の枠にとらわれずに一緒に勉強・交流し、十勝の人材を育成していくことが必要ではないか。</p>	<p>【その他】</p> <p>職員の合同研修については、自治体職員が身につけるべき基本的なスキルである接遇や法務のほか、職員の能力の開発を目的としたコーチングや政策形成について実施する予定です。</p> <p>ご提案のような官民が一体となった人材育成事業に参加することは、職員のスキルアップには大変有意義であると考えますが、専門分野に特化した研修内容や長期間に及ぶ研修期間など、各市町村の職員が合同で参加することは難しいと考えます。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、各市町村の判断において、職員に周知を図り、自主的な参加を促していきたいと考えています。</p>
<p>47【その他】</p> <p>地域活性化、地域づくりと唱えているが、それには地域の担い手となる人材が必要である。そのためには、特に若い人を中心に人材育成に取り組む必要があるのではないか。</p>	<p>【その他】</p> <p>地域の発展や活性化には、そのまちづくりを支える地域の担い手が必要です。今回の協定では、生涯学習の推進などに十勝全体で取り組んでいますが、今後も各市町村がそれぞれの地域の次代を担う人材の育成に取り組む中で、必要に応じて、市町村間で連携・協力をしていきたいと考えています。</p>
<p>48【その他】</p> <p>生涯学習に関しても、一番根底にあるのは地域のコミュニケーションである。コミュニケーションが無いと地域連携はできないと考える。</p>	<p>【その他】</p> <p>地域の様々な課題の解決や多様化する住民ニーズへの対応を図るためには、町内会をはじめとする身近な地域コミュニティの活性化を図り、多様な住民の力を地域づくりにつなげていくことが必要です。</p> <p>コミュニティの活性化については、地域によって状況に温度差があり、また、居住地の身近な問題でもあることから、基本的には各市町村がそれぞれの地域で取り組みをすすめていくべきものと考えますが、必要に応じて、市町村間で情報の共有などの連携を図ります。</p>
<p>49【その他】</p> <p>住民と行政が連携し、地域の細かな問題について協議してまちづくりをすすめていく。町村でも市でも各地域ごとにプロジェクトを立ち上げて推進して欲しい。</p>	<p>【その他】</p> <p>地方分権の進展に伴い、地域が自らの意思と責任に基づき自主・自立のまちづくりをすすめていくことが求められています。そのためには、住民と行政が力を合わせて、協働によるまちづくりをすすめていくことが重要です。</p> <p>今後も各市町村において、様々な手法を用いながら住民との協働によるまちづくりをすすめていきたいと考えています。</p>

2. パブリックコメントの意見

意見の概要	件数	意見に対する考え方
<p>1【1-3 教育】 学校教育の質の向上が必要と考える。学校教育を良くするよう、まだまだ改善できることが多くあるので、その努力をしていきたい。</p>	1	<p>【その他】 各学校及び教育委員会においては、今後とも、よりよい学校教育を目指して取り組んでいく考えです。 なお、学校教育に関わる広域連携については、教員研修などをすすめており、これまでの枠組みにおいて取り組みを継続・充実していきたいと考えています。</p>
<p>2【1-3-2 生涯学習の推進】 子ども・青少年の健全な育成を助ける取り組みが必要である。</p>	1	<p>【既記載】 圏域内の生涯学習施設で実施される子どもや青少年を対象にした様々な取り組みについても、ホームページなどで圏域住民にお知らせすることとしています。 こうした取り組みによって、情報の取得や催事などへ参加する機会が拡大され、子どもや青少年の健全な育成を促していくことができるものと考えています。</p>
<p>3【1-4-2 フードバレーとかちの推進】 食・農・健康は人間が生きるための基本的な要素である。 フードバレーとかちについても「農林水産業」と「食」というキーワードに「健康」も加えて欲しい。</p>	1	<p>【その他】 「フードバレーとかち」は、「農林水産業」や「食」を柱とした地域の経済政策であり、十勝の「地域力」を結集して取り組んでいくものです。 「フードバレーとかち」では、安全で良質な一次製品の生産や加工をはじめ、食の持つ健康機能性に着目した試験研究などを関係機関と連携して取り組んでいく考えであり、ご意見の趣旨を踏まえすすめていきたいと考えています。</p>
<p>4【1-5 環境】 十勝の定住化には、地域が魅力ある街である事が必要不可欠である事から、電気自動車（EV）を活用したまちづくりを提案する。 排気ガスを出さないEVを全国に先駆けて、広域での利用推進を宣言し、活動を行なう事で、十勝のブランドをより強固なものにするとともに、住民が利便性の高い新たな街づくりを創造できる環境を築く事が可能になると考える。 ぜひ、十勝19自治体が一体となり、全国に先駆けた広域でのEV推進活動の旗揚げを検討いただきたい。</p>	1	<p>【その他】 電気自動車（EV）は排気ガスを排出しないクリーンな乗り物であり、マイカーに依存する現在の十勝の生活形態においては、今後、非常に有望な技術であると考えています。 しかしながら、走行距離や価格など、様々な課題があると認識しており、今後のEVに関わる技術開発や国の施策の動向などについて、情報収集に努めていきます。</p>

意見の概要	件数	意見に対する考え方
<p>5【2-1-1 地域公共交通の維持確保と利用促進】</p> <p>定住自立圏構想の公共交通政策の一つとして、低額運賃バスの導入を検討できないか。</p> <p>青森県八戸圏域の定住自立圏構想では「圏域公共交通計画」を策定して、平成23年10月1日より、定住自立圏内の路線バスの運賃を上限300円にするという実験が行われる予定であり、この計画の取り組みの方向性は帯広市においても当てはまると考える。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>現行のバス運行を維持しながら、低額運賃バスを導入するには、低額化による運賃収入の減少を利用者数の増加によって補う必要があります。</p> <p>しかしながら、人口増が期待できないことや、自動車の利用率が極めて高い地域性、過去に帯広市内で実施した路線バス導入実証実験における運賃の低額化の結果などから、利用者の大幅な増加は見込みづらく、ご提案のような制度を導入することは難しいと考えます。</p> <p>なお、今後もバス路線の維持や利用促進のため、他圏域の事例などの情報収集・研究に努めたいと考えています。</p>
<p>6【2-3-1 移住・交流の促進】</p> <p>管内の全ての市町村の役場で、管内全市町村の移住関連情報を見られるようにできないか。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>移住の促進については、帯広市の都市機能等を活用して移住情報を発信することとしており、JR帯広駅やとから帯広空港など圏外の方が多く訪れる場所に資料を設置する考えです。</p> <p>また、十勝圏複合事務組合のホームページを通じて、管内全市町村の移住関連情報が見られるようになっています。</p>
<p>7【2-3-1 移住・交流の促進】</p> <p>移住情報を発信する場所には、各市町村の移住担当部署、補助制度、公営住宅、移住実績などの資料のほか、移住関連書籍も設置して欲しい。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>移住情報の充実は、移住を促進するためには大事な視点であると考えており、ご意見の趣旨は、今後の取り組みの参考とします。</p>
<p>8【2-3-1 移住・交流の促進】</p> <p>JR帯広駅のエスタには、各種行政機関等が入居しているが、そこでは移住相談ができないのか。もし、できないのであれば、そうした場所を設置して欲しい。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>移住相談については、各市町村の相談窓口において対応することとしています。</p> <p>なお、JR帯広駅の各種行政機関等で移住関連の相談があった場合は、それぞれの相談窓口の紹介をしています。</p>

2 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(制定年月日 平成23年6月27日)

(設置)

第1条 十勝における定住自立圏形成協定(以下「協定」という。)により形成された圏域全体を対象として、圏域の将来像や協定に基づき推進する具体的な取組などを記載する定住自立圏共生ビジョン(以下「ビジョン」という。)の策定に関して、関係者の意見を幅広く反映させるため、十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) ビジョンの策定または変更に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、懇談会の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 懇談会は、概ね30人程度の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が依頼する。

- (1) 学識経験者
- (2) 協定の取組に関連する分野の関係者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認めるもの

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長等)

第5条 懇談会に、座長及び副座長を各1名置く。

2 座長は、委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。

3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集し、その議長となる。

2 懇談会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を懇談会の会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(事務局)

第7条 懇談会の事務局は、帯広市政策推進部政策室に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成23年7月7日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行後、最初に依頼される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、当該委嘱の日から平成25年5月31日までとする。

3 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

(平成24年7月13日現在)

■ 懇談会委員

関連分野	氏名	所属等	市町村
学識経験者	辻 修 【座長】	帯広畜産大学 教授 (地域連携推進センター社会貢献室長)	帯広市
医療	堀 修司	帯広市医師会 会長	帯広市
〃	丸山 信之	十勝医師会 副会長	音更町
〃	鳥本 ヒサ子	公立芽室病院運営委員会 会長	芽室町
〃	山下 孔三	介護老人保健施設アメリティ本別 施設長	本別町
福祉	中岡 星子	帯広市健康生活支援審議会 児童育成部会専門委員	帯広市
〃	廣瀬 裕鴻	帯広市健康生活支援審議会 障害者支援部会委員	帯広市
〃	白石 馨	NPO法人サポートセンター白樺 理事	上士幌町
〃	高橋 和夫	NPO法人「の一まひろお」事務局長	広尾町
〃	宮澤 恵子	社会福祉法人ひまわり 理事長	幕別町
教育	飛岡 抗	帯広市社会教育委員会 委員長	帯広市
〃	吉田 静二	士幌町社会教育委員会 委員長	士幌町
〃	砂田 仁司	中札内村社会教育委員 副委員長 中札内村文化連盟 事務局長	中札内村
産業振興	橋枝 篤志 【副座長】	帯広商工会議所 専務理事	帯広市
〃	吉田 伸行	帯広大正農業協同組合 専務理事	帯広市
〃	笠井 安弘	音更町農業協同組合 代表理事専務	音更町
〃	宮嶋 望	共働学舎新得農場 代表	新得町
〃	紺野 宏	紺野建設株式会社 代表取締役	清水町
〃	細矢 芳己	更別村農業協同組合 代表理事組合長	更別村
〃	神山 久典	大樹漁業協同組合 代表理事組合長	大樹町
〃	沼田 利幸	前 十勝高島農業協同組合 参事	池田町
〃	鈴木 茂	豊頃町商工会 事務局長	豊頃町
〃	新沼 靖典	足寄町商工会 元会長	足寄町
環境	大西 正和	社団法人帯広消費者協会 専務理事	帯広市
〃	福原 尋義	鹿追町環境推進協力会 会長	鹿追町
防災	斉田 英輝	帯広市町内会連合会 副会長(事業防災委員会担当)	帯広市
〃	池田 昌策	浦幌町連合行政区長会 会長	浦幌町
地域公共交通	長澤 敏彦	十勝バス株式会社 旅客事業本部長	帯広市
〃	小田 均	陸別町商工会 専務理事	陸別町

■ オブザーバー

音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、十勝町村会、十勝圏複合事務組合、十勝総合振興局、各作業部会

■ 事務局

帯広市政策推進部政策室

4. 共生ビジョン事業費一覧

1. 生活機能の強化に係る生活分野

1. 医療 (1) 救急医療体制の確保 【取組概要：◎救命救急センターの維持・充実 ◎救急医療に関する普及・啓発】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					合 計	備 考
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		
帯広市	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	8,600	8,600	8,600	8,600	8,600	43,000	
音更町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	828	831	831	831	831	4,152	
士幌町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	181	181	181	181	181	905	
上士幌町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	157	157	157	157	157	785	
鹿追町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	165	164	164	164	164	821	
新得町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	182	182	182	182	182	910	
清水町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	242	241	241	241	241	1,206	
芽室町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	393	394	394	394	394	1,969	
中札内村	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	139	139	139	139	139	695	
更別村	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	129	128	128	128	128	641	
大樹町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	172	171	171	171	171	856	
広尾町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	206	206	206	206	206	1,030	
幕別町	帯広厚生病院救命救急センター運営費負担金	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	524	524	524	524	524	2,620	
池田町	帯広厚生病院救命救急センター運営費負担金	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	200	199	199	199	199	996	
豊頃町	帯広厚生病院救命救急センター運営費負担金	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	131	131	131	131	131	655	
本別町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	211	209	209	209	209	1,047	
足寄町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	202	202	202	202	202	1,010	
陸別町	帯広厚生病院救命救急センター運営費負担金	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	72	72	72	72	72	360	
浦幌町	帯広厚生病院救命救急センター運営費補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費の助成	166	165	165	165	165	826	
合 計			12,900	12,896	12,896	12,896	12,896	64,484	

1. 医療 (2) 地域医療体制の充実 【取組概要：◎帯広高等看護学院の広域運営 ◎地域医療の課題解決に向けた検討】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					合 計	備 考
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		
帯広市	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	49,700	59,378	59,378	59,378	59,378	287,212	
音更町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	3,990	5,121	5,121	5,121	5,121	24,474	
士幌町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	883	1,032	1,032	1,032	1,032	5,011	
上士幌町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	751	890	890	890	890	4,311	
鹿追町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	808	956	956	956	956	4,632	
新得町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	926	1,057	1,057	1,057	1,057	5,154	
清水町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,206	1,162	1,162	1,162	1,162	5,854	
芽室町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,888	2,352	2,352	2,352	2,352	11,296	
中札内村	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	643	777	777	777	777	3,751	
更別村	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	586	712	712	712	712	3,434	
大樹町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	853	985	985	985	985	4,793	
広尾町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,020	1,186	1,186	1,186	1,186	5,764	
幕別町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	2,634	3,161	3,161	3,161	3,161	15,278	
池田町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,009	1,149	1,149	1,149	1,149	5,605	
豊頃町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	621	712	712	712	712	3,469	
本別町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,086	1,086	1,086	1,086	1,086	5,430	
足寄町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,019	1,160	1,160	1,160	1,160	5,659	
陸別町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	553	633	633	633	633	3,085	
浦幌町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	824	930	930	930	930	4,544	
合 計			71,000	84,439	84,439	84,439	84,439	408,756	

2. 福祉 (1) 地域活動支援センターの広域利用の促進 【取組概要：◎地域活動支援センターの広域利用】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	63	63	63	63	63	315	
音更町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	5,880	5,880	5,880	5,880	5,880	29,400	
士幌町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	569	285	285	285	285	1,709	
上士幌町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	700	720	720	720	720	3,580	
鹿追町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	322	681	681	681	681	3,046	
新得町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進			未定	未定	未定	0	
清水町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	602	741	741	741	741	3,566	
芽室町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,283	860	860	860	860	4,723	
中札内村	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	330	440	440	440	440	2,090	
更別村	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	160	140	140	140	140	720	
大樹町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進		100	100	100	100	400	
広尾町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	170	170	170	170	170	850	
幕別町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	4,050	3,300	3,300	3,300	3,300	17,250	
池田町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	400	441	441	441	441	2,164	
豊頃町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	801	791	791	791	791	3,965	
本別町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	390	350	350	350	350	1,790	
足寄町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	32	35	35	35	35	172	
陸別町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進			未定	未定	未定	0	
浦幌町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,968	1,991	1,991	1,991	1,991	9,932	
合 計			17,720	16,988	16,988	16,988	16,988	85,672	

2. 福祉 (2) 保育所の広域入所の充実 【取組概要：◎保育所の広域入所の充実】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					合 計	備 考
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		
帯広市	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,097	2,340	2,340	2,340	2,340	10,457	
音更町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,814	2,316	2,316	2,316	2,316	11,078	
士幌町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
上士幌町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
鹿追町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
新得町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
清水町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,004	0	未定	未定	未定	1,004	
芽室町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
中札内村	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
更別村	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
大樹町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
広尾町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
幕別町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,008	447	未定	未定	未定	1,455	
池田町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
豊頃町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
本別町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
足寄町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
陸別町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施			未定	未定	未定	0	
浦幌町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	0	0	未定	未定	未定	0	
合 計			4,923	5,103	4,656	4,656	4,656	23,994	

3. 教育 (1) 図書館の広域利用の促進 【取組概要：◎図書館の相互連携の強化 ◎合同研修会等の開催】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	十勝管内図書館の広域利用事業	図書館の広域利用を促進する ・図書相互貸借運搬 ・図書館利用カード作成 (広域利用) など	390	390	390	390	390	1,950	
帯広市	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	18	18	18	18	18	90	
音更町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
士幌町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
上士幌町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
鹿追町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
新得町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
清水町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
芽室町	十勝管内図書館の広域利用事業	図書館の広域利用を促進する ・案内リーフレット作成 ・図書館利用カード作成 (広域利用) など	54	54	54	54	54	270	
芽室町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
中札内村	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	5	5	5	5	5	25	
更別村	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	51	46	46	46	46	235	
大樹町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
広尾町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
幕別町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
池田町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
豊頃町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
本別町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
足寄町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
陸別町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
浦幌町	十勝管内図書館の広域利用事業	図書館の広域利用を促進する ・広報誌への掲載 ・図書館利用カード作成 (広域利用) など	156	156	156	156	156	780	
浦幌町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	9	45	
合 計			818	813	813	813	813	4,070	

3. 教育 (2) 生涯学習の推進 【取組概要：◎総合的な施設情報の提供 ◎圏域住民を対象とした事業の実施】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	生涯学習フェスティバル	自主学習活動の普及啓発などを目的として、毎年9月から10月を生涯学習月間と定め、とかちプラザをはじめとした教育施設などで開催	1,660	0	0	0	0	1,660	
帯広市	プラザ・エンジョイスクール	趣味、教養講座を開講し、誰もが気軽に学べる機会を提供するとともに市民の生きがいを促進						0	
帯広市	市民大学講座	成人対象で、「帯広・十勝」という地域にあらためて目を向け、地域の優位性や問題点を理解し、さらに地域社会で活躍するための理論や技法を習得するための講座を開催	900	900	900	900	900	4,500	
帯広市	放送大学	放送大学と提携し、とかちプラザ内に放送大学帯広学習室を設置して学位取得のための環境を提供	16	16	16	16	16	80	
帯広市	文化活動発表会開催事業	地域住民の文化活動や日頃の研鑽の成果を発表する場を提供し、地域の文化を支える人材を育成	1,360	500	1,000	500	1,000	4,360	
帯広市	市民文化活動促進事業	地域住民の創作活動などの担い手の育成	3,000	5,500	3,000	3,000	3,000	17,500	
帯広市	芸術文化鑑賞会開催事業	優れた芸術文化に親しむことにより、心豊かで潤いのある生活を楽しみ、芸術文化活動を始めるきっかけとなる事業を提供	6,300	6,500	6,500	6,500	6,500	32,300	
帯広市	こどもの芸術文化鑑賞会開催事業	子どもや青少年が様々な文化に接し、感動する機会を得ることで、豊かな人間性や多様な個性を育むとともに、将来の文化の担い手を育成	1,100	1,000	1,100	1,100	1,100	5,400	
帯広市	虹コン（レインボーホールオリジナルコンサート）	十勝管内の演奏者に発表の場を提供し、人材の活用、発掘、育成など地域に根ざした音楽活動を支援	0	0	0	0	0	0	
帯広市	情報センターの有効活用	住民の自主活動の場、フードバレー関連などの行政情報を提供	1,099	0	0	0	0	1,099	
帯広市	ほっとドリームプロジェクト	スケートの振興を目的に、応援体制の確立、底辺の拡大及び競技者を育成	6,000	5,611	5,611	5,611	5,611	28,444	
音更町	生涯学習フェスティバル	生涯学習の実践者・団体・関係機関が一堂に会し、交流を深め、生涯学習の意義とまちづくりについて考察	300	300	300	300	300	1,500	
音更町	スポーツ教室等の開催	体力の向上や健康増進を図るため、各種教室やセミナー等を開催	406	406	406	406	406	2,030	
音更町	芸術文化鑑賞会開催事業	中学生が、優れた芸術文化に親しみ、豊かな人間性や多様な個性を育むための芸術鑑賞会を開催	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360	16,800	
士幌町	生涯学習講座開催事業	生涯学習講座を年4回開催	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	5,500	
上士幌町	生涯学習フェスティバル	町内各団体がそれぞれ実施している生涯学習に関する様々なイベントを、各団体が連携をもって体系的に整備・提供	800	800	800	800	800	4,000	
上士幌町	芸術鑑賞会助成事業	芸術愛好者の拡大と地域文化の発展向上を目的に、芸術鑑賞を広く町民に提供	1,212	1,212	1,212	1,212	1,212	6,060	
上士幌町	スポーツ教室及び講習会開催事業	町民の体位の向上と、健康の増進を目指して町民ひとりひとりが何かのスポーツに親しめることを目的に、各種教室の開催や講習会を実施	154	154	154	154	154	770	
上士幌町	スポーツ大会開催事業	町内各スポーツ団体が日常的な練習の成果を発揮する場やスポーツ振興を図るため、町民スポーツ祭や各種大会を開催	653	653	653	653	653	3,265	
鹿追町	鹿追町民ホール事業	圏域住民に対し、良質な芸術鑑賞の機会を提供	5,000	4,000	4,000	4,000	4,000	21,000	
鹿追町	第17回馬の絵作品展	馬をテーマとした絵画を全国に募集し、その作品展等を開催	1,200	1,196	1,200	1,200	1,200	5,996	
鹿追町	馬耕忌・生誕祭事業	神田日勝をテーマに講演会等の開催	270	270	270	270	270	1,350	
鹿追町	蕪惣祭事業	神田日勝の命日に美術館において、演奏会等を開催	250	250	250	250	250	1,250	

幕別町	生涯学習講座	文化芸術のすばらしさ、楽しさを体験し、興味や関心に応じて学ぶことができる講座を開催	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000	
幕別町	燦燦ミュージック	十勝管内で音楽活動をする演奏家の発表の場の提供と住民への芸術鑑賞機会の提供を目的に毎月1回連続開催	720	720	720	720	720	3,600	
幕別町	チロット音楽祭	地域に良質のクラシック音楽を提供するとともに、音楽を通じた地域の活性化を目的に毎年7月に連続公演を行う音楽祭を開催	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	47,500	
幕別町	サマー 盆踊り	札内地区の盆踊りの復活と盆踊りを中心に縁日やミニコンサート、全員参加の大抽選会で賑わいのある地域の活性化を求めて開催	560	560	560	560	560	2,800	
池田町	芸術文化公演事務事業	子ども夢基金を活用した小中学生への芸術鑑賞機会の提供	2,600	1,500	1,500	1,500	1,500	8,600	
池田町	芸術文化公演事務事業	池田町芸術文化事業協会への補助を通して、町民もしくは圏域住民へ芸術鑑賞機会を提供	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
豊頃町	芸術文化講演（公演）開催事業	圏域住民の豊かな感性の育みに寄与するとともに、芸術文化団体の育成・発展を図るために、文化講演会やコンサートなどの芸術を鑑賞する機会を提供	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
本別町	文化講演会 スポーツ講演会	文化・スポーツ講演会を隔年で開催	400	100	300	100	300	1,200	
足寄町	ロビーコンサート	優れた音楽鑑賞の機会を提供するとともに日常生活の中で生の音楽に触れ、音楽の素晴らしさを知ってもらうことを目的とする。	150	150	150	150	150	750	
足寄町	女性のつどい	町内外の女性が一堂に会し、女性を取り巻く様々な問題を考えるとともに、豊かなまちづくりを進めることを目的とする。	700	700	700	700	700	3,500	
浦幌町	公共施設の共同利用促進事業	市の生涯学習施設利用案内や各種事業情報を町民へ提供	985	985	985	985	985	4,925	
合 計			119,376	113,314	112,061	109,111	112,061	565,923	

4. 産業振興 (1) 農工商・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進 【取組概要：◎農工商・産学官連携の推進 ◎十勝ブランドの確立】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	109,272	109,272	109,272	109,272	109,272	546,360	
帯広市	十勝産業振興センター整備補助事業費	十勝産業振興センターの建設に際して、とちか財団が借り入れた資金の償還費補助金	46,541	46,466	46,393	46,319	46,246	231,965	
帯広市	産学官連携促進費	地域にある研究資源を活用し新事業・新産業を創出し、その成果を新たな研究資源の創造につなげる産学官連携システムを構築することにより、持続的な地域の活性化、地域産業の振興を図る事業のうち地域イノベーション戦略支援プログラム、産学官連携システム推進事業負担金分	4,550	4,550	4,550	4,550	4,550	22,750	
帯広市	技術活用促進事業	新品種の農産物や、食と農業に関連する新技術に関するフォーラムの開催	1,500	346	未定	未定	未定	1,846	
帯広市	ベーカリーキャンプの開催	十勝産小麦の高付加価値化及び十勝産小麦を中心とした食観光の推進を図るためのパン講習会等のイベント開催	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
帯広市	十勝産小麦を使った商品を中心とした地域ブランド販路拡大支援	十勝産小麦を使った商品の販路拡大に関する取組への支援	1,000					1,000	
帯広市	6次産業化促進事業	生産から流通にいたるまでの、企業等の連携機会提供や加工品作りなどの支援	2,000	750	未定	未定	未定	2,750	
帯広市	フードバレーとちか人材連携強化事業	生産者と商工業者が調査活動等の取組と一緒に進めることにより、将来の農工商連携の素地を創出	0	3,800	未定	未定	未定	3,800	
音更町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	2,739	2,739	2,739	2,739	2,739	13,695	
音更町	特産品研究開発補助	地場農畜産物を原料として付加価値をつけた特産品の音更ブランド開発研究(音更農協、木野農協との共同事業)	300	300	300			900	
音更町	農と交流連携事業	新規販路の開拓や地場産品の高付加価値化を促すセミナーや企業情報交換会等の開催		1,000	未定	未定	未定	1,000	
士幌町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	372	372	372	372	372	1,860	
士幌町	しほろ収穫祭事業	食関連イベント「しほろ収穫祭」の開催	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
上士幌町	農林工商等連携促進事業	農林工商等連携による新たな商品やサービスづくり及び新分野の進出に取り組む個人・団体等に対する補助制度	2,000	5,000	5,000	5,000	5,000	22,000	
上士幌町	農林工商連携によるビジネス創出事業	インターネットを活用した商品販売や商品開発のコーディネートなどの業務を商工会に委託(専門員の雇用含む)	7,205					7,205	
上士幌町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	315	315	315	315	315	1,575	
鹿追町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	322	322	322	322	322	1,610	
鹿追町	鹿追町観光協会特産品部会活動	地元の特産品の販売を通じた町村PR事業	1,600	1,500	1,300	1,300	1,300	7,000	
新得町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	415	415	415	415	415	2,075	
新得町	地場産品PR事業	新得の観光と物産展実行委員会委託料	836	1,150	1,150	1,150	1,150	5,436	
新得町	新そば祭り事業	しんとく新そば祭りに対する補助金	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	8,500	
清水町	清水産業クラスター研究会助成金	清水産業クラスター研究会の加工開発に対する支援	70	70	70	70	70	350	
清水町	清水町新キャラクター製作実行委員会補助金	地元中学生からの提案による町、JA、商工会、観光協会並びに町内事業者で構成された製作実行委員会での新キャラクター作り及び特産品の開発	1,000					1,000	

清水町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	600	600	600	600	600	3,000	
芽室町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	792	792	792	792	792	3,960	
芽室町	地場産業支援センター参画事業	各種技術力向上や人材育成等の事業を実施することにより、産業振興に寄与し、活力あるまちづくりにつなげる	767	767	767	767	767	3,835	
芽室町	町観光・特産品普及事業	農業者、商工業者等で構成された団体が行う、長期の地域経済効果が期待できる新商品開発事業、PR事業に対する助成	1,169	1,169	1,169	1,169	1,169	5,845	
中札内村	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	229	229	229	229	229	1,145	
更別村	どんぐり推進部会助成金	団体活動に対する運営助成金	300	500	300	300	300	1,700	
更別村	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	178	178	178	178	178	890	
大樹町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	375	375	375	375	375	1,875	
大樹町	地場産品研究センター事業	町内に設置した地場産品研究センターでの農水産物の付加価値向上の取り組みに対する支援	5,309	4,904	4,904	4,904	4,904	24,925	
広尾町	おいしい町づくりの会委託事業	広尾町で生産される特産品の品質向上と食の安全性向上を目指し、「食」を中心とした活動を通じた地域ブランドの開発を行う会に対する支援	1,500	1,500				3,000	
幕別町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	9,360	
池田町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	482	482	482	482	482	2,410	
豊頃町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	239	239	239	239	239	1,195	
豊頃町	産業振興事業補助金	地域ブランドの確立に向け、農・林・水産業事業者や商工業事業者、新規起業家、異業種進出者、新製品を開発しようとする者などへ支援を行い、町内産業基盤の強化発展と活性化を図る	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	
本別町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	547	547	547	547	547	2,735	
本別町	ブランド化推進事業	町特産の「中生光黒大豆」を原料とした加工品のブランド化をめざした農業者や企業、行政が連携した新商品の開発や販路拡大	1,681	1,366	1,366	1,366	1,366	7,145	
本別町	キレイマメ生産原料確保事業	ブランド化を進めている「キレイマメ」の原料である中生光黒大豆の作付奨励	500	500	500	500	500	2,500	
本別町	本別町農産物ブランドづくり推進事業	地場の農産物を活用した商品開発など、ものづくりと人材育成並びにマーケティング活動	5,260	2,880				8,140	
足寄町	商工振興対策事業補助金	足寄町商工会が中心となった、関係団体間の連携促進事業への補助	100	100	100	100	100	500	
足寄町	さっぽろオータムフェスト出店事業	さっぽろオータムフェストに出店し、町の特産品や加工製品をPR	306	306	306	306	306	1,530	
足寄町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	505	505	505	505	505	2,525	
陸別町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	182	182	182	182	182	910	
陸別町	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	地元食材を使い地元の加工グループによる製品開発及び販売を促進		4132	4132	4132	4132	16,528	
浦幌町		十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(財)十勝圏振興機構に対する支援	405	405	405	405	405	2,025	
合計			216,535	214,097	203,348	202,974	202,901	1,039,855	

4. 産業振興 (2) フードバレーとかちの推進 【取組概要：◎「フードバレーとかち」の推進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	オール十勝でのプラットフォーム構築	十勝管内の市町村や関係団体が集まりフードバレーとかち推進協議会を設置し、オール十勝で「フードバレーとかち」を推進する	3,295	2,872	2,872	2,872	2,872	14,783	
帯広市	フードバレーとかち講演会の開催	フードバレーとかちに関する講演会の開催	498	386	386	386	386	2,042	
帯広市	フードバレーとかちの情報発信	各種イベントでの活用を見据えた、フードバレーとかち PR パネルの作成	300	835	835	835	835	3,640	
音更町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
士幌町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
上士幌町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
鹿追町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
新得町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
清水町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
芽室町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
中札内村	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
更別村	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
大樹町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
広尾町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
幕別町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
池田町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
豊頃町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
本別町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
足寄町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
陸別町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
浦幌町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	—	—	—	—	—	—	事業費は帯広市で計上
合 計			4,093	4,093	4,093	4,093	4,093	20,465	

4. 産業振興 (3) 企業誘致の推進 【取組概要：◎圏域が一体となった誘致活動の実施 ◎連携体制の構築に向けた検討】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	559	559	559	未定	未定	1,677	
音更町	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	205	206	250	未定	未定	661	
士幌町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
上士幌町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
鹿追町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
新得町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
清水町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
芽室町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
中札内村	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
更別村	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
大樹町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	292	185	185	未定	未定	662	
広尾町	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	97	97	97	未定	未定	291	
幕別町	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	154	154	154	未定	未定	462	
池田町	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	97	97	97	未定	未定	291	
豊頃町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
本別町	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	98	98	98	未定	未定	294	
足寄町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	185	185	185	未定	未定	555	
陸別町	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	管内12町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	297	185	185	未定	未定	667	
清幌町	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	1市6町で構成する協議会が実施する事業の負担金	91	90	90	未定	未定	271	
合 計			3,740	3,521	3,565	—	—	10,826	

4. 産業振興 (4) 中小企業勤労者の福祉向上 【取組概要：◎とちか勤労者共済センターへの支援と加入促進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	2,723	2,681	2,681	2,681	2,681	13,447	
帯広市	労働者貸付金	市内労働者への労働者貸付金の低利融資	20,000	3,000	3,000	3,000	3,000	32,000	
音更町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	555	587	600	600	600	2,942	
士幌町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	94	91	91	91	91	458	
士幌町	退職金共済制度加入促進事業	退職金共済制度加入の事業主に対する助成	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
上士幌町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	75	73	73	73	73	367	
上士幌町	労働者生活資金原資預託金	町内労働者への生活資金貸付金の低利融資	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
鹿追町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	74	74	74	74	74	370	
鹿追町	労働者貸付金	町内労働者への生活資金貸付金の低利融資	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
新得町	(財)とちか勤労者共済センター事業	道事業への協力	0	96	96	96	96	384	
新得町	労働者融資	町内労働者への生活資金貸付金の低利融資	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
清水町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	154	154	154	154	154	770	
清水町	ハーモニープラザ担い手交流センター借上料	町内企業等の労働者が加盟する連合組織の活動拠点として、ハーモニープラザ担い手交流センターの借上料等で支援	100	100	100	100	100	500	
芽室町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	285	285	285	285	285	1,425	
中札内村	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	64	71	71	71	71	348	
中札内村	労働者貸付金事業	村内労働者への生活資金貸付金の低利融資	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
更別村	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	42	42	42	42	42	210	
大樹町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	87	87	87	87	87	435	
広尾町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	117	117	117	117	117	585	
広尾町	中小企業従業員福祉増進事業	中小企業に就業する従業員の福祉の増進を図るため、退職金共済制度の掛金の一部を助成する。	3,900	4,000	4,000	4,000	4,000	19,900	
幕別町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	355	355	355	355	355	1,775	
幕別町	幕別町労働者福祉資金貸付	町内労働者への生活資金貸付金の低利融資	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
池田町	とちか勤労者共済センター負担金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	106	95	95	95	95	486	
池田町	労働者貸付金	とちか勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	200	200	200	200	200	1,000	

豊頃町	とち勤労者共済センター負担金	とち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	49	49	49	49	49	245	
本別町	とち勤労者共済センター負担金	とち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	122	110	110	110	110	562	
本別町	十勝地方職業病防止対策連絡協議会負担金等	十勝地方における中小企業労働者の健康を保持するため、労働者の職業病の防止対策	57					57	
足寄町	とち勤労者共済センター負担金	とち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	117	117	117	117	117	585	
足寄町	足寄町中小企業勤労者福祉加入奨励補助金	あおぞら共済加入事業所への補助	59	59	59	59	59	295	
陸別町	とち勤労者共済センター負担金	とち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	40	37	37	37	37	188	
陸別町	とち勤労者共済センター事業加入企業者に対する助成	新規加入者に対し、3ヶ年、掛金に2分の1を助成	34	24	24	24	24	130	
浦幌町	とち勤労者共済センター負担金	とち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	84	76	76	76	76	388	
合 計			64,493	47,580	47,593	47,593	47,593	254,852	

4. 産業振興 (5) 広域観光の推進 【取組概要：◎イベント等の実施 ◎観光情報の発信 ◎観光客が周遊しやすい環境の構築】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	29,000	
帯広市	観光案内所運営事業	とちか観光情報センターやとちか帯広空港観光案内所の運営支援	24,656	26,231	26,231	26,231	26,231	129,580	
帯広市	観光推進団体支援事業	各種観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・帯広観光コンベンション協会 ・とちか帯広空港利用促進協議会 など	116,331	119,425	112,225	112,225	112,225	572,431	
音更町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	750	750	750	750	750	3,750	
音更町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 (※2次交通対策支援補助金) ・音更町十勝川温泉観光協会	24,920	29,298	28,150	22,150	22,150	126,668	
音更町	グリーンツーリズム事業	大型宿泊施設利用型(音更型)農業体験受入農家支援 (仮設トイレ臨時設置)	200	200	200	200	200	1,000	
音更町	北十勝4町広域観光振興事業	北十勝4町による広域観光PR事業	600	600	600	600	未定	2,400	
士幌町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	495	495	495	495	495	2,475	
士幌町	北十勝4町広域観光振興事業	北十勝4町による広域観光PR事業	600	600	600	600	600	3,000	
士幌町	観光案内所運営事業	道の駅ピア21しほろや道の駅しほろ温泉での観光案内支援	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	事業費は各施設の運営管理委託料の内数
上士幌町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	704	704	704	704	704	3,520	
上士幌町	北十勝4町広域観光振興事業	道の駅ピア21しほろや道の駅しほろ温泉での観光案内支援	600	600	600	600	600	3,000	
鹿追町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	758	758	758	758	758	3,790	
鹿追町	観光案内所運営事業	道の駅「しかおい」での観光案内実施支援	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000	
鹿追町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・鹿追町観光協会 ・北十勝4町広域観光振興連絡協議会	17,871	17,871	17,871	17,871	17,871	89,355	
新得町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	1,068	1,068	1,068	1,068	1,068	5,340	
新得町	観光案内所運営事業	JR新得駅での観光案内実施支援	829	830	830	830	830	4,149	
新得町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・新得町観光協会	11,699	12,791	12,791	12,791	12,791	62,863	
清水町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	630	641	641	641	641	3,194	
清水町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・清水町観光協会	1,740	3,150	1,371	1,371	1,371	9,003	
芽室町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 (十勝観光連盟負担金含む)	4,009	4,009	4,009	4,009	4,009	20,045	
中札内村	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・中札内村観光協会	8,164	5,542	5,542	5,542	5,542	30,332	
更別村	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	420	420	420	420	420	2,100	
更別村	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・更別村観光協会	3,116	3,116	3,116	3,116	3,116	15,580	

大樹町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	515	485	485	485	485	2,455	
大樹町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・大樹町観光協会	12,000	11,000	11,000	11,000	11,000	56,000	
広尾町	広域観光の推進	㈱北海道観光振興機構や十勝観光連盟、南十勝夢街道（シーニックバイウエイ）、えりも、浦河、様似との広域宣伝協議会との連携	1,787	1,700	1,700	1,700	1,700	8,587	
広尾町	観光案内施設、情報発信の充実	観光案内所の未設置により大丸山森林公園で代替実施	3,040	3,000	3,000	3,000	3,000	15,040	
幕別町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・幕別町観光物産協会 ・十勝観光連盟	8,807	8,807	8,807	8,807	8,807	44,035	
幕別町	幕別町魅力発信・観光プロモーション事業	幕別町魅力発信 ・観光プロモーション実行委員会への支援 ・第30回忠類全道ナウマンソリ大会記念事業		2,000				2,000	
池田町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	785	785	785	785	785	3,925	
池田町	観光ルート企画・観光プロモーション運営委託事業	観光協会に対し、観光ルート企画・観光プロモーション運営を委託し、情報発信を行う	5,400	6,857	0	0	0	12,257	H24 滞留型観光事業委託事業
池田町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・池田町観光協会	3,300	6,288	12,000	12,000	8,000	41,588	
豊頃町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	423	423	423	423	423	2,115	
豊頃町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・豊頃町観光協会	777	777	777	777	777	3,885	
本別町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	607	547	547	547	547	2,795	
本別町	観光団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・本別町観光協会	3,106	3,106	3,106	3,106	3,106	15,530	
本別町	十勝広域観光番組制作委員会	十勝の雄大な自然や食、観光情報のPR番組の制作	315	315	未定	未定	未定	630	
本別町	観光交流事業	各種イベントに対する助成（きらめきタウンフェスティバル）	4,881	5,181	4,881	4,881	4,881	24,705	
足寄町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	265	265	265	265	265	1,325	
足寄町	観光推進団体支援事業	本町の観光振興事業を展開しているNP0法人あしよる観光協会への補助金	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	47,500	
陸別町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	452	427	427	427	427	2,160	
陸別町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・陸別町観光協会	2,454	3,580	3,580	3,580	3,580	16,774	
陸別町	観光交流事業	各種イベントに対する助成（しばれフェスティバル、オフロードレース大会、サマーインリくべつ）	9,145	9,200	9,200	9,200	9,200	45,945	
浦幌町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・浦幌町観光協会	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
浦幌町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	480	480	480	480	480	2,400	
合 計			300,799	316,422	302,535	296,535	291,935	1,508,226	

4. 産業振興 (6) 農業振興と担い手の育成 【取組概要：◎農業振興に関する広域的な取り組みの実施 ◎地域の担い手の育成】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	担い手育成支援事業	新規就農者、農家後継者に対する農業技術や経営能力向上等に係る各種研修の実施	300	300	300	300	300	1,500	
帯広市	家畜衛生対策事業	家畜伝染病の発生を予防するための、予防接種の補助や防疫資材の備蓄	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	12,170	
帯広市	十勝型生産技術基盤形成事業	オール十勝での展開を見据えた、農産物の安全安心スタンダード生産モデルの構築や新規作物の栽培試験を実施	4,000	2,691	2,691	2,691	2,691	14,764	
帯広市	土壌分析・飼料分析促進事業	土壌分析に基づく効率的な施肥管理による減化学肥料栽培の促進及び、自給粗飼料の調査分析による生産力向上の促進	13,150	7,835	7,835	7,835	7,835	44,490	
帯広市	営農技術向上対策事業	生産技術向上のための新技術研究促進支援	450	450	450	450	450	2,250	
帯広市	有機循環システムの構築	良質堆肥製造・施用効果試験の実施、土づくりと堆肥活用研修の実施		5,670	5,670	5,670	5,670	22,680	
帯広市	環境保全型農業の拡充	化学肥料・農薬の5割低減や有機農業に取り組む農家への支援		15,102	15,102	15,102	15,102	60,408	
帯広市	飼料自給率向上対策事業	コントラクターの育成支援		10,000				10,000	
帯広市	IT農業の推進	農業分野へのIT導入の普及促進						0	
帯広市	黒毛和牛生産振興事業	「十勝和牛業牛」の生産技術の普及		5,102	5,102	5,102	5,102	20,408	
音更町	担い手育成支援事業	音更町農業年輪塾の実施 ・1期2年 ・2年目に海外研修補助	400	3,400	400	3,400	400	8,000	
士幌町	農業振興事業	農業者・農業団体の育成や指導体制の整備強化などによる農業振興	24,060	19,179	19,179	19,179	19,179	100,776	
士幌町	農業振興人材育成事業	人材育成や農業振興にかかわる研究・開発に対する助成や優良事例等の顕彰	3,669	4,598	4,598	4,598	4,598	22,061	
上士幌町	農業振興事業	就農者に対する支援や人材育成に対する補助の実施	3,822	3,050	4,490	4,490	4,490	20,342	
鹿追町	営農技術向上対策	試験圃場における品種比較試験、新規作物栽培試験や肥料・農薬試験の実施	180	180	180	180	180	900	
鹿追町	担い手育成支援事業	新規農業後継者のための農業塾の開催	850	850	850	850	850	4,250	
鹿追町	家畜伝染病自衛防疫事業	家畜伝染病の予防、ワクチン接種の補助	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
鹿追町	畜産振興事業	乳牛の経済検定事業の実施	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000	
鹿追町	専任酪農ヘルパー事業	酪農ヘルパーへの運営補助	3,042	3,042	3,042	3,042	3,042	15,210	
新得町	冬期営農講座の実施	人材育成のための合同講習会等の実施	30	30	30	30	30	150	
新得町	レディースファームスクール事業	女性の農業担い手育成を目的とした農業研修の実施	12,497	13,225	13,225	13,225	13,225	65,397	
清水町	畑作総合振興事業	病害虫・残留農薬対策、新規作物栽培支援やブランド化対策など畑作物に対する総合的な支援	9,730	10,536	480	480	480	21,706	
清水町	土壌分析・飼料分析促進事業	土壌分析に基づく効率的な施肥管理による減化学肥料栽培の促進	350	350	350	350	350	1,750	
清水町	清水営農対策協議会負担金	農業関係機関による技術向上対策、合同作況調査、良質堆肥事業、安全安心生産モデルの構築等の実施支援	150	224	224	224	224	1,046	

清水町	清水町農業振興公社運営負担金	担い手育成研修会、技術講習会、親子ふれあい農園(ファームスクール)の実施支援	2,950	—	—	—	—	2,950	
清水町	地域農業再生協議会負担金	担い手育成研修会、技術講習会、親子ふれあい農園(ファームスクール)の実施支援	—	1,829	1,829	1,829	1,829	7,316	
茅室町	家畜衛生管理事業	家畜衛生検査や防疫施設への補助を実施	20,293	7,037	7,037	537	537	35,441	
茅室町	酪農ヘルパー支援事業	傷病時の酪農ヘルパー利用に対する補助	240	240	240	240	240	1,200	
茅室町	農業担い手育成事業	後継者育成事業に対する補助や生産者グループ活動支援の実施	3,651	4,651	4,651	4,651	4,651	22,255	
中札内村	担い手育成支援事業	新規就農者、農業後継者に対する各種研修と経営改善・能力向上支援活動を実施する施設及び団体に対する支援	4,500	3,000	3,000	3,000	3,000	16,500	
中札内村	家畜衛生対策事業	家畜の疾病発生予防に関する事業実施団体である家畜自衛防疫組合の支援及び牛サルモネラ病予防接種費用の一部補助	6,150	5,150	5,150	5,150	5,150	26,750	
更別村	農業経営・生産対策推進会議負担金	団体活動に対する運営負担金	386	1,200	500	500	500	3,086	
更別村	農業担い手育成センター負担金	団体活動に対する運営負担金	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	5,345	
更別村	地域農業再生協議会負担金	団体活動に対する運営補助金	100	3,119	1,000	1,000	1,000	6,219	
大樹町	担い手育成支援事業	新規就農者、農業後継者に対する農業技術や経営能力向上等に係る各種研修の実施	6,182	3,686	670	670	670	11,878	
大樹町	家畜衛生対策事業	畜舎等防疫車の運航	4,967	5,013	5,013	5,013	5,013	25,019	
大樹町	営農技術向上対策	生産技術の向上を図るための新技術に関する支援や土壌分析に基づく効率的な施肥管理による減化学肥料栽培の促進	4,640	4,500	4,500	4,500	4,500	22,640	
大樹町	酪農経営支援向上対策	酪農ヘルパー事業による酪農家の経営向上支援	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	14,000	
幕別町	農業振興公社運営費補助金	新規就農者、中堅後継者等を対象とした農業技術・経営等の研修を行う「まぐべつ農村アカデミー」を実施する農業振興公社の運営費補助	1,213	1,146	1,146	1,146	1,146	5,797	
池田町	農業団体各種補助金	農業構造政策推進協議会及び十勝東部地区農業改良推進協議会に対する補助	332	332	332	332	332	1,660	
池田町	新規就農者支援育成事業	新規就農者の初期投資負担軽減のための支援	348	930	900	1,330	720	4,228	
豊頃町	家畜衛生対策事業	口蹄疫の防疫徹底と防疫資材の備蓄	1,000	1,000	1,000			3,000	
豊頃町	元気な土づくり対策事業	土壌分析等機器の購入費や土壌分析費に対する助成	2,800	700				3,500	
豊頃町	担い手育成支援事業	新規就農者、農業後継者に対する各種研修や配偶者対策の実施	500	500	500	500	500	2,500	
豊頃町	営農技術向上対策事業	営農技術の向上を図るため研修支援(広域研修)	70	70	70	70	70	350	
本別町	新規参入者確保連携強化事業	新規参入者に対する農業技術・経営研修や新規受入情報の提供・就農マッチング等の実施	300	300	500	500	500	2,100	
本別町	管内公共牧場相互利用情報対策	管内公共牧場同士の情報交換等を通じた管内における効率的・効果的な公共牧場の利用運営を推進	100	0	0	0	0	100	
本別町	家畜衛生対策事業	町家畜自衛防疫組合の運営助成	50	50	50	50	50	250	
本別町	グリーンサポートセンター運営事業	農業後継者の花嫁対策支援	400	400	400	400	400	2,000	

本別町	農業振興人材育成事業	農業後継者等の技術習得を図るための研修会経費等補助		760	760	760	760	3,040	
足寄町	耕畜連携地力増進事業	家畜排せつ物堆肥の効能・特性等の分析・調査・普及の推進	100	100	100			300	
陸別町	陸別町農林推進協議会事業	農業後継者・新規就農者等を対象とした営農基本技術講習会開催	1,720	1,770	1,770	1,770	1,770	8,800	
陸別町	陸別町家畜伝染病自衛防疫組合事業	家畜伝染病予防等に対する講習会開催	139	139	139	139	139	695	
陸別町	牛乳消費拡大事業	公的会議等における市販牛乳の使用促進と助成		100	100	100	100	400	
浦幌町	新規就農者営農促進対策事業	就農時の設備等の負担軽減を目的とした奨励金等による新規就農者支援	2,691	1,731	1,731	1,731	1,731	9,615	
合 計			153,805	166,570	138,589	134,419	130,809	724,192	

4. 産業振興 (7) 鳥獣害防止対策の推進 【取組概要：◎鳥獣の駆除 ◎捕獲個体の適切な処理の検討】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	2,020	3,576	3,576	3,576	3,576	16,324	
音更町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,974	4,195	4,195	4,195	4,195	20,754	
士幌町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,421	3,860	3,860	3,860	3,860	18,861	
上士幌町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	1,732	3,279	3,279	3,279	3,279	14,848	
鹿追町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	2,665	765	765	765	765	5,725	
新得町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	4,403	8,012	8,012	8,012	8,012	36,451	
清水町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進（電気柵設置補助、ワナ猟免許取得補助などの駆除支援含む）	4,354	3,975	3,975	3,975	3,975	20,254	
芽室町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進（有害鳥獣駆除員の設置含む）	6,492	6,942	4,241	4,241	4,241	26,157	
中札内村	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,156	4,587	4,587	4,587	4,587	21,504	
更別村	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,128	3,412	3,412	3,412	3,412	16,776	
大樹町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	7,204	7,307	7,307	7,307	7,307	36,432	
広尾町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進（エンジン力等有害駆除奨励金等の駆除支援含む）	2,761	3,630	3,630	3,630	3,630	17,281	
幕別町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	2,139	3,176	3,176	3,176	3,176	14,843	
池田町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	11,774	8,492	9,000	9,000	9,000	47,266	
豊頃町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進（有害鳥獣駆除補助金、狩猟免許・銃取得助成等の駆除支援含む）	2,465	2,465	2,465	2,465	2,465	12,325	
豊頃町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進また、鹿電柵購入助成等駆除に対する支援を行う。	2,000	4,000	4,000			10,000	
本別町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	12,740	2,069	1,319	1,319	1,319	18,766	
足寄町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	11,231	11,230	11,230	11,230	11,230	56,151	
足寄町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	24,723	15,147				39,870	
陸別町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	4,355	7,403	7,403	7,403	7,403	33,967	
陸別町	有害鳥獣駆除・生息調査事業	失業中の狩猟従事者による有害鳥獣の駆除・生息調査等の実施	5,947					5,947	
浦幌町	鳥獣害防止総合対策	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	4,378	4,500	4,500	4,500	4,500	22,378	
合 計			127,062	112,022	93,932	89,932	89,932	512,880	

5. 環境 (1) 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築 【取組概要：◎環境意識の啓発 ◎再生可能エネルギーの利用促進・省エネルギー機器の導入促進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					合 計	備 考
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		
帯広市	市民との連携促進事業	環境関連イベントや環境学習会を開催	417	367	367	367	367	1,885	
帯広市	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	33,900	37,500	37,500	37,500	37,500	183,900	
帯広市	木質ペレットストーブ導入補助事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	500	500	500	500	500	2,500	
帯広市	道路照明灯省エネ化事業	既存の水銀灯を高圧ナトリウム灯（一部 LED 灯）に交換	8,000	15,000	15,000	15,000	15,000	68,000	
帯広市	防犯灯省エネ化事業	町内会管理の防犯灯の水銀灯について、LED 等の省エネ型に更新する費用を助成	18,900	24,660	24,660	24,660	24,660	117,540	
音更町	環境行動への啓発活動及び環境行動事業	講演会やパネル展の実施、啓発パンフレット作成等を実施	251	251	300	300	300	1,402	
音更町	太陽光発電システム導入促進事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	24,000	15,000	9,000	9,000	9,000	66,000	
音更町	木質ペレットストーブ導入促進事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	500	200	200	200	200	1,300	
音更町	街路灯・防犯灯省エネ化推進事業	街路灯・防犯灯を LED やナトリウム灯などに交換	8,645	9,308	15,400	15,400	15,400	64,153	
士幌町	住宅用太陽光発電システム導入事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,400	1,400	840	840	840	5,320	
士幌町	環境マネジメントシステム運営支援事業	環境施策の監視や町の事務事業活動での環境配慮に取り組み、PDCA サイクルに基づき、運営状況の把握・改善を実施	651	651	651	651	651	3,255	
上士幌町	住宅用太陽光発電システム導入支援事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,913	2,000	2,000	2,000	2,000	9,913	
上士幌町	街路灯、防犯灯 LED 化事業	既設の街路灯、防犯灯を LED 照明に交換		7,000	7,000	7,000	7,000	28,000	
鹿追町	モニター制による省エネ推進事業	省エネセミナーの開催、省エネナビ体感モニター、子供環境家計簿の作成を実施	1,180					1,180	
鹿追町	住宅用太陽光発電設置助成事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,600	4,000	2,000	2,000	2,000	12,600	
鹿追町	小中学校太陽光発電設置	小中学校に太陽光発電システムを導入	0	0	15,000	15,000	15,000	45,000	
鹿追町	街路灯 LED 化事業	既設の街路灯を LED 照明に交換	1,300	1,200	1,000	1,000	1,000	5,500	
新得町	町民との連携促進事業	環境関連イベントや環境学習会を開催		100	100	100	100	400	
新得町	住宅用太陽光発電システム導入支援事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,778	2,500	2,500	2,500	2,500	12,778	
新得町	ペレットストーブ普及事業	公共施設に設置した木質ペレットストーブの維持費	370	150	150	150	150	970	
新得町	街路灯の省エネ化	修繕に伴い、水銀灯をナトリウム灯に交換	670	1,625	300	300	300	3,195	
清水町	植樹祭の継続実施による町民の連携啓発事業	植樹祭を継続実施し、地球温暖化防止の啓蒙を実施	680	450	450	450	450	2,480	
清水町	道路照明省エネ化事業	既設の街路灯を LED 灯に交換	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	13,000	
芽室町	町民との連携促進事業	再生可能エネルギーの調査研究や普及啓発を実施	432	301	394	315	394	1,836	

茅室町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	10,825	14,400	9,600	9,600	9,600	54,025	
茅室町	ソーラー式長いもプランター導入補助事業	ソーラー式長いもプランター導入費の一部を助成	420					420	
茅室町	公共施設再生可能エネルギー導入事業	公共施設に太陽光発電システムやヒートポンプを導入	45,333	43,488	65,118	25,323	25,323	204,585	
茅室町	木質ペレット製造事業	剪定枝及び支障木等から木質ペレットを製造	15,830	2,280	2,478	2,478	2,478	25,544	
茅室町	省エネ街灯整備工事	街灯を省エネ型に更新	31,239	32,356	27,871	27,871	27,871	147,208	
中札内村	住宅用太陽光発電システム導入助成事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,980	1,680				4,660	
中札内村	街路・防犯灯取替事業	既設の水銀灯を省エネタイプの照明灯に交換	9,240	7,500	7,500	5,000		29,240	
更別村	太陽光発電システム設置事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	3,900	3,000	3,000	3,000	3,000	15,900	
更別村	公共施設太陽光発電導入事業	小中学校や幼稚園、下水道処理施設などの公共施設に太陽光発電システムを導入	58,465		13,500	29,500		101,465	
更別村	街路灯補修事業	既設の水銀灯をLEDに交換	3,573	14,000	7,700	7,700	7,700	40,673	
大樹町	住宅用太陽光発電システム導入補助金交付事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	3,824	4,000	2,500	2,500	2,500	15,324	
大樹町	住宅用内窓サッシ設置補助金交付事業	住宅用内窓サッシを設置する住民に対し、地域商品券を交付	200	900	2,400	2,400	2,400	8,300	
広尾町	街路灯新設事業	平成23年度新設が無電極放電灯で設置、平成24年度からはLED灯を設置	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
広尾町	街路灯改修事業	既設の街路灯、防犯灯をLED灯に交換		50,000	20,000	15,800	15,000	100,800	
広尾町	公共施設外灯改修事業	公共施設内の構内外灯をLED灯に交換		13,000				13,000	
幕別町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	21,000	
幕別町	木質ペレットストーブ導入補助事業	住宅及び事業所に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	750	750	750	750	750	3,750	
幕別町	防犯灯省エネ化事業	LED灯等の省エネ型の防犯灯を設置	17,850	4,975	2,850	2,850	2,850	31,375	
幕別町	省エネ・新エネビジョン実施状況検証事業	省エネビジョン及び新エネビジョンの目標の達成度を検証し、今後の施策の方向性を検証	3,405					3,405	
池田町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,000	1,000	2,000	2,000	2,000	9,000	
池田町	防犯灯省エネ化事業	既設防犯灯の水銀灯をLED、ナトリウム灯に交換（H24以降は交換済防犯灯の修繕）	867	867	867	867	867	4,335	
豊頃町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	840	840	840	840	840	4,200	
豊頃町	公共施設バイオマスエネルギー等導入事業	はるにれ友遊館へのペレットストーブ設置	500	300				800	
本別町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	3,351	3,600	3,600	3,600	3,600	17,751	
本別町	公共施設への新エネ・省エネ設備先導導入	公共施設の新築・改修時に太陽光発電・ヒートポンプ等の新エネ設備及び室内照明のLED等の省エネ設備を導入			20,000		20,000	40,000	

本別町	街路灯及び防犯灯整備事業	道路照明灯・防犯灯の省エネ化を実施	35,638	21,987	20,801			78,426	
足寄町	住宅用太陽光発電システム導入事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
足寄町	木質ペレット燃焼機器導入事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
足寄町	防犯灯LED化事業	既設防犯灯の水銀灯について、LED灯等の省エネ型に交換	1,134	1,113	1,000	1,000	1,000	5,247	
陸別町	太陽光発電普及事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成		1,000	1,500	1,500	1,500	5,500	
陸別町	街路灯及び防犯灯省エネ化事業	LED導入に向けて試験導入を実施		2,405	1,800	4,500	4,500	13,205	
浦幌町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,972	2,000	1,000	1,000	1,000	6,972	
浦幌町	木質ペレットストーブ購入費補助事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	386	750	750	750	750	3,386	
合 計			376,209	364,954	364,337	295,662	280,441	1,681,603	

6. 防災 (1) 地域防災体制の構築 【取組概要：◎市町村の相互応援体制の整備 ◎防災体制の充実】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)						備 考
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	合 計	
帯広市	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	2,000	7,826	2,000	2,000	2,000	15,826	
音更町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	4,880	5,000	5,000	5,000	5,000	24,880	
音更町	自主防災組織活動用品整備事業	備蓄倉庫、レスキューセット、単価、リヤカー、工具を購入し、各自主防災組織に設置	347	1,600	1,600	1,600	1,600	6,747	
音更町	避難所備蓄倉庫整備事業	指定した収容避難所に備蓄庫の整備を推進し、年次計画で進めている非常食をはじめ、マット、毛布等避難生活に必要な物資類の備蓄をすすめる	2,300	2,500	2,500	2,500	2,500	12,300	
音更町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,430				2,430	
士幌町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	182	300	300	300	300	1,382	
士幌町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,325				2,325	
上士幌町	災害対策費	災害発生時用消耗品、食糧費、手数料、車両借り上げ、応急対策資材	416	459	459	459	459	2,252	
鹿追町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	100	2,119	100	100	100	2,519	
鹿追町	防災無線の充実	街頭放送難聴地区の解消 無線受信機の購入助成	300	50	300	300	300	1,250	
鹿追町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
鹿追町	防災事務経費	防災のしおり作成		500				500	
新得町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	1,000	188	200	200	200	1,788	
新得町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
新得町	防災のしおり	平成 17 年に配布した防災のしおり改訂版を全戸配布						0	
新得町	デジタル携帯用簡易無線機整備	災害時の通信体制の整備		1,354				1,354	
清水町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	1,722	856	147	147	147	3,019	
清水町	防災事務経費	防災行政無線保守点検委託業務	378	378	378	378	378	1,890	
清水町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
芽室町	地域防災対策事業	・自主防災組織の育成 ・備蓄用食糧品購入 ・防災倉庫の設置 (自主防災組織用)	1,569	320,473	82,227	78,412	78,412	561,093	
芽室町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
中札内村	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	932	247	300	300	300	2,079	
更別村	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	152	262	150	150	150	864	
更別村	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
更別村	防災事務経費	現在配布している防災のしおり (H21) の内容を修正し、全戸に配布				700		700	
大樹町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	3,028	437	437	437	437	4,776	

大樹町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
広尾町	災害備蓄事業・災害対策費	災害時に備え、防災資機材や非常食等備蓄品の充実を図る	669	600	600	600	600	3,069	
広尾町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
幕別町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	3,491	360	360	360	360	4,931	
幕別町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
池田町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	5,232	15,556	316	102	102	21,308	
池田町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
豊頃町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	100	100	100	100	100	500	
豊頃町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る工事		2,429				2,429	
本別町	防災事務経費	防災ハザードマップ作成委託及びソフト導入（更新事業）		899				899	
本別町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,325				2,325	
本別町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る		86	50	50	50	236	
本別町	防災対策費	5年に1度「防災総合訓練」を実施（平成23年度実施） 毎年、2自治会において「避難訓練」を実施	250	50	50	50	50	450	
足寄町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	606	597	597	597	597	2,994	
足寄町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,325				2,325	
陸別町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る		100	100	100	100	400	
陸別町	防災啓発事業	防災ハザードマップの作成及び更新			200		100	300	
陸別町	防災事務経費	防災行政無線保守点検業務委託	350	1,042	350	350	350	2,442	
陸別町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
浦幌町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	5,510	100	100	100	100	5,910	
浦幌町	北海道総合行政情報ネットワーク更新事業	北海道総合行政情報ネットワークの老朽更新に係る市町村負担金		2,429				2,429	
合 計			35,514	402,592	98,921	95,392	94,792	727,211	

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1. 地域公共交通 (1) 地域公共交通の維持確保と利用促進 【取組概要：◎生活交通路線の維持確保と利用促進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					合 計	備 考
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		
帯広市	地方路線バス維持対策事業	市内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	72,907	72,907	72,907	72,907	72,907	364,535	
帯広市	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	4,000					4,000	
帯広市	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	21,195	24,308	24,308	24,308	24,308	118,427	
帯広市	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	2,373	3,223	2,373	2,373	2,373	12,715	
音更町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	13,500	15,000	15,000	15,000	15,000	73,500	
音更町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	9,925	11,310	11,310	11,310	11,310	55,165	
士幌町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000	
士幌町	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	338	338	338	338	338	1,690	
上士幌町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	7,381	7,883	7,883	7,883	7,883	38,913	
上士幌町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	5,412	5,412	5,412	5,412	5,412	27,060	
鹿追町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	2,824	3,340	3,340	3,340	3,340	16,184	
鹿追町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	7,960	7,960	7,960	7,960	7,960	39,800	
鹿追町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	304	300	300	300	300	1,504	
新得町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	3,207	2,972	2,972	2,972	2,972	15,095	
新得町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行		2,830	8,000	8,000	8,000	26,830	
清水町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	258	162	162	162	162	906	
清水町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	4,156	4,112	4,112	4,112	4,112	20,604	
芽室町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	579	659	659	659	659	3,215	
芽室町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	26,371	8,418	8,418	8,418	8,418	60,043	
中札内村	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	2,240	2,243	2,243	2,243	2,243	11,212	
中札内村	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	75	65	65	65	65	335	
中札内村	地方路線バス維持対策事業	村内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	411	1,081	1,081	1,081	1,081	4,735	
更別村	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	570	560	560	560	560	2,810	

更別村	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	4,440	4,440	4,440	4,440	4,440	22,200	
更別村	地方路線バス維持対策事業	村内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	2,652	1,810	3,465	4,344	4,773	17,044	
大樹町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	1,796	1,226	2,713	2,942	3,232	11,909	
広尾町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	6,686	6,988	6,988	6,988	6,988	34,638	
幕別町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	6,700	6,945	6,945	6,945	6,945	34,480	
幕別町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	358	4,400	4,400	4,400	4,400	17,958	
池田町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	2,996	2,813	6,130	6,123	6,486	24,548	
池田町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	185	249	249	249	249	1,181	
池田町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行		2,100	10,000	10,000	10,000	32,100	
豊頃町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	4,479	4,783	4,300	4,300	4,300	22,162	
豊頃町	タクシー乗車券交付事業	町内高齢者に福祉タクシーの乗車券を交付し、通院等に係る運賃負担を軽減	2,725	2,850	3,000	3,000	3,000	14,575	
本別町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	2,399	2,967	3,164	6,064	6,424	21,018	
本別町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	5,250	
本別町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	3,755	4,311	4,311	4,311	4,311	20,999	
足寄町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	3,575	3,357	7,314	7,306	7,740	29,292	
足寄町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	82	287	287	287	287	1,230	
足寄町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	1,426	1,707	1,707	1,707	1,707	8,254	
陸別町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	6,831	9,727	9,727	9,727	9,727	45,739	
陸別町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	1,249	1,366	1,366	1,366	1,366	6,713	
陸別町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	1,100	1,361	1,361	1,361	1,361	6,544	
浦幌町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	205					205	
浦幌町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	10,814	8,500	8,500	8,500	8,500	44,814	
合 計			256,489	253,320	275,820	279,813	281,689	1,347,131	

2. 地産地消の推進 (1) 地産地消の推進 【取組概要：◎地産地消の推進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	とから大平原交流センター市開催事業	生産者による農畜産物の販売イベントの実施	100	100	100	100	100	500	
帯広市	食育推進事業費	講習会やイベント等を通じた食や健康への意識向上啓発	787	737	737	737	737	3,735	
帯広市	学校給食食育推進事業	学校給食や教科を通じた食育の推進	1,359	1,403	1,403	1,403	1,403	6,971	
帯広市	農畜産物消費拡大事業	牛乳消費拡大 PR イベントの実施	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
帯広市	農業理解促進事業	地場農畜産物の消費拡大及び地域内消費者への農業理解促進事業 (八千代牧場まつり、帯広大正メウウまつり)	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	17,250	
帯広市	とからまるごと PR 事業費	首都圏、関西圏への農畜産物の販路拡大事業の実施	2,500	1,908	1,908	1,908	1,908	10,132	
帯広市	フードバレーとかち食・農活性化事業	生産者、加工業者等のプレーヤー発掘及び需用調査並びにそれらを取りまとめた農畜産物・加工品情報紹介冊子の製作	12,905					12,905	
帯広市	新たな学校給食調理場整備事業	地産地消、食育機能を備える学校給食調理場の整備		62,209	2,091,000	2,223,000		4,376,209	
音更町	地場産品消費拡大推進事業	自校給食方式を活用した地場産品の学校給食への利用及び関係団体と連携した地産地消や食育の推進	500	500	500	500	500	2,500	
音更町	調理加工講座	ふれあい交流館加工室での地場食材料理加工講習会等を通じた食や健康に対する意識向上啓発	200	200	200	200	200	1,000	
音更町	首都圏子供イベント参加交流事業	首都圏や関西圏の子供達との物販交流を通じた十勝の農業や農畜産物に対する PR 及び販路拡大の促進	1,000	670	1,000	1,000	1,000	4,670	
士幌町	青空市開催事業	地場産農畜産物の販売イベントの実施	100	100	100	100	100	500	
士幌町	牛乳消費拡大事業	牛乳の消費拡大事業	177	150	150	150	150	777	
上士幌町	十勝ナイタイと牛ブランド化肥育促進事業	黒毛和牛肥育に対する助成	4,891	8,010	7,460			20,361	
上士幌町	地産地消推進事業	地産地消推進のため、外部アドバイザーを招聘し、既存特産品等の販売拡大及び新商品の開発等を推進する		3,500	2,100			5,600	
鹿追町	ふるさと産業まつり事業	地元の農畜産物 PR イベントの実施	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
鹿追町	鹿追そばまつり事業	町の特産品であるそばの PR イベントの実施	700	700	700	700	700	3,500	
鹿追町	農畜産物加工施設管理運営事業	地元農畜産物を活用した特産品の開発及び町民対象の研修会の開催	2,940	2,940	2,940	2,940	2,940	14,700	
新得町	地場産品奨励対策事業	各種懇親会やお土産として地場産品の使用を奨励することによる PR を実施	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
新得町	新得オリジナルメニュー提供事業	町内小中学校、幼稚園、保育所などで新得産食材を利用した給食を提供	427	433	433	433	433	2,159	
清水町	食の安全安心推進事業	まるごとしみず食の祭典の開催、ふれあいテーブル(地元食材を使ったアイデア料理など)の開催	200	200	200	200	200	1,000	
清水町	牛乳消費拡大事業	牛乳の消費拡大事業	50	50	50	50	50	250	
芽室町	地産地消協働推進事業	地元食材の地産地消や消費拡大を図るため、地場産食材を使ったメニューの提供イベントを実施	221	221				442	
中札内村	地産地消推奨事業	地元農畜産物の消費拡大を目的とした、中札内村産原材料を使用した飲食店等への支援事業	250	243	243	243	243	1,222	

中札内村	豆資料館企画事業	豆への興味・関心を高めてもらうための事業実施	250	252	252	252	252	1,258	
中札内村	学校給食食育推進事業	中札内村産の食材からなる「ふるさと味覚給食」の実施及び事業を通じた生産者との交流	61	93	93	93	93	433	
更別村	農業経営・生産対策推進会議助成金	団体活動に対する運営助成金	386					386	
大樹町	町民物産感謝祭事業	イベント等を通じた地元農畜水産物の消費拡大促進及び地域内の消費者への農畜水産業への理解促進	364	300	300	300	300	1,564	
広尾町	地元農水産物普及拡大事業	地元イベントでの地元農水産物の販売による地域内消費者への地元農水産物の普及拡大促進	9,495	9,500	9,500	9,500	9,500	47,495	
幕別町	学校給食における地場産食材活用事業	町内ＪＡと協力した学校給食での地場産食材導入及び農業に関する情報ペーパーの定期配布	1,783	1,774	1,774	1,774	1,774	8,879	
幕別町	和牛消費拡大実行委員会補助	町と町内ＪＡで組織する和牛消費拡大実行委員会が、町内主要イベントで町内産和牛肉のPRを目的とした試食販売及び精肉の低価格販売を行う事業に対する補助	150	150	150			450	
豊頃町	牛乳消費拡大推進事業	牛乳の消費拡大事業	100	100	100	100	100	500	
豊頃町	なたね油消費拡大推進事業	なたね油の消費拡大を目的とした会合やイベント等でのPRに対する助成	450	450	450	450	450	2,250	
豊頃町	ふるさと給食材料推進事業	地元食材を学校給食の食材として利用	410	410	410	410	410	2,050	
本別町	農産物加工施設の整備	地元農畜産物を活用した特産品開発と食育の推進を図るための施設整備	127,153	500	500	500	500	129,153	
本別町	農産物加工施設の運営管理費	地元農畜産物を活用した特産品開発と食育の推進を図るための管理運営費	2,732	4,525	4,525	4,525	4,525	20,832	
本別町	学校給食共同調理場の整備	施設老朽化による改築と合わせ、学校給食や教科を通じた食育、地産地消を推進		19,720	635,000	22,000		676,720	
足寄町	(仮称) 地域交流物産館整備事業	農産物直売所の整備	20,027					20,027	
陸別町	農産物加工施設の運営管理費	地元農畜産物を活用した特産品開発と食育の推進を図るための管理運営費	5	398	200	200	200	1,003	
浦幌町	食育セミナー開催事業	町内の活動団体との共催による食育セミナーの開催	60	60	60	60	60	300	
合 計			201,183	130,956	2,772,988	2,282,278	37,278	5,424,683	

3. 移住・交流の促進 (1) 移住・交流の促進 【取組概要：◎移住関連情報の一体的な発信】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	移住情報発信事業	帯広市東京事務所などを活用し、圏域の移住情報を一体的に発信 また、PRリーフレットの作成や、大都市圏での移住フェア出展などにより、 移住情報を発信	320	503	503	503	503	2,332	
帯広市	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	50	50	50	50	250	
音更町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	50	50	50	50	250	
士幌町	移住促進事業	移住希望者への町内及び管内の情報発信と移住相談への対応、及び定住雇用 促進用賃貸住宅建設事業助成により移住を促進	10,500	10,000	10,000	10,000	10,000	50,500	
上士幌町	移住促進事業	北海道移住促進協議会や NPO 法人住んでみたい北海道推進会議と連携したプロ モーションのほか、上士幌町交流と居住を促進する会が実施する都市と農 山村の交流に関する事業への補助	3,162	2,431	2,431	2,431	2,431	12,886	
上士幌町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	50	50	50	50	250	
上士幌町	新しい公共担い手育成事業	生活体験モニター実施に係るモニター参加者の対応やモデルハウスの管理の 外部委託	4,002	4,395	4,395	4,395	4,395	21,582	
鹿追町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	50	50	50	50	250	
鹿追町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	253	320	320	320	320	1,533	
鹿追町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促 進	17,340	13,320	13,320	13,320	13,320	70,620	
鹿追町	民間賃貸住宅家賃助成事業	町内民間賃貸住宅に入居する町民に対し、家賃の一部を助成	0	5,940	5,940	5,940	5,940	23,760	
新得町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	50	50	50	50	250	
新得町	移住情報発信事業	大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	0	150	150	150	150	600	
新得町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	728	696	696	696	696	3,512	
新得町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促 進	10,735	6,628	6,628	6,628	6,628	37,247	
清水町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	200	200	200	200	850	
清水町	移住情報発信事業	地域おこし協力隊による移住・交流の推進や、首都圏等での移住フェア出展 などにより、移住情報を発信	2,575	4,211	4,211	4,211	3,100	18,308	
芽室町	移住情報発信事業	「移住ガイド」の更新などにより、移住情報を発信	0	0	0	0	0	0	
中札内村	定住住宅促進事業	村内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促 進	24,822	26,565	26,565	26,565	26,565	131,082	
中札内村	移住情報発信事業	宅地分譲地 PR や移住啓発情報に係る広告の掲載などにより、移住情報を発信	714	126	126	126	126	1,218	
中札内村	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、 移住を促進	50	50	50	50	50	250	
更別村	移住情報発信事業	村の生活環境等を掲載したガイドブックを隔年で作成するとともに、東京都 や札幌市の観光案内所等に送付し、移住情報を発信	210	0	210	0	210	630	
更別村	移住体験事業	村内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	124	92	92	92	92	492	

大樹町	移住情報発信事業	大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	233	220	220	220	220	1,113	
大樹町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	298	320	320	320	320	1,578	
大樹町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
広尾町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	670	471	600	300	600	2,641	
広尾町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
幕別町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
幕別町	移住情報発信事業	大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	147	247	247	247	247	1,135	
幕別町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等の交付及び定住雇用促進用賃貸住宅建設事業助成により、定住・移住を促進	0	47,000	47,000	47,000	0	141,000	
池田町	移住情報発信事業	移住定住促進パンフレットの作成や、大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	41	431	431	431	431	1,765	
池田町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	152	189	189	189	189	908	
池田町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
豊頃町	移住情報発信事業	首都圏等向けのPRリーフレット作成などにより、移住啓発情報を発信	0	300	300	300	300	1,200	
豊頃町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら移住を促進	0	50	50	50	50	200	
本別町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
足寄町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
陸別町	移住促進事業	「陸別移住を応援する会」が行う移住促進事業に係る活動に対する助成	500	800	800	800	800	3,700	
陸別町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
陸別町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	0	2,370	2,370	2,370	2,370	9,480	
浦幌町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	50	250	
浦幌町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	24,609	3,782	1,700	1,700	1,700	33,491	
浦幌町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促進	19,000	17,000	17,000	17,000	17,000	87,000	
合計			121,885	149,457	147,714	147,204	99,603	665,863	

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1. 人材育成 (1) 職員研修及び圏域内人事交流 【取組概要：◎職員研修の合同実施 ◎圏域内人事交流】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考	
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度		合 計
帯広市	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修	7,924	10,786	10,786	10,786	10,786	51,068	H23 は、試行実施 H24 以降は、町村からの負担金を含む。
音更町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		648	648	648	648	2,592	
士幌町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		150	150	150	150	600	
上士幌町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		229	229	229	229	916	
鹿追町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		242	242	242	242	968	
新得町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		419	419	419	419	1,676	
清水町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		367	367	367	367	1,468	
芽室町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		416	416	416	416	1,664	
中札内村	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		281	281	281	281	1,124	
更別村	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		293	293	293	293	1,172	
大樹町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		350	350	350	350	1,400	
広尾町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		482	482	482	482	1,928	
幕別町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		301	301	301	301	1,204	
池田町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		249	249	249	249	996	
豊頃町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		158	158	158	158	632	
本別町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		438	438	438	438	1,752	
足寄町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		390	390	390	390	1,560	
陸別町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		274	274	274	274	1,096	
浦幌町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・ 職階別研修 ・ 能力開発系研修 ・ 実務系研修		352	352	352	352	1,408	
合 計			7,924	16,825	16,825	16,825	16,825	75,224	

十勝定住自立圏共生ビジョン

(平成23年度～平成27年度)

発行 平成23年9月(初版)

平成24年 月(第1回変更)

編集 帯広市 政策推進部 政策室

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4104 FAX 0155-23-0151

E-mail : policy@city.obihiro.hokkaido.jp